新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(8)三三二〇 營業局專用(8)三〇二五
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

西部戰線に激戰展開

獨の猛攻に佛後退

獨、工業地帶奪還を企圖

【パリ十八日發國通】當地に達した情報に依ば十八日リユクサンブール國境よりのモーゼル河岸及びザールブリユツケン、ブリマーゼンス中間地區に於て激戰が展開せられ、ザールブリユツケン東南の森林地帶に設けられてゐたフランス軍機關銃陣地は殺到したドイツ軍をよく反撃し得たが、ボルク森及びベルルにあつたフランス軍はドイツ軍の猛攻に堪へかね遂に陣地を放棄後退した、ドイツ軍の攻撃はこの三日來猛烈を極めそれだけ犧牲も相當ある模樣であるが、フランス側消息筋ではドイツ軍の戰死は五千を下るまいと推定してゐる、今回のドイツ軍の猛攻は戰爭開始以來フランス軍のため約十一キロも浸入せられたザールの工業地帶奪還を企圖してゐるものとみられるが、フランス軍はこれに對し一應後方の既設陣に退いて防禦態勢をとり數週間後に來らんとする多がドイツ軍の攻擊企圖を挫折せしめるのを待つものと思はれる

トルコ緊張に包る

ソ土交渉決裂に英佛活躍開始

【イスタンブール十八日發國通】ソ聯、トルコ交渉決裂と共にトルコにおいては萬一の場合を豫想して俄に諸般の大戰準備を開始し多數の大型自動車が徴發されてトルコ全土は物々しい緊張感に包まれてゐる、これと時を同じくしてフランスの軍事特使ウエーガン將軍は幕僚と共に十八日首都アンカラに到着、トルコ政府並に軍首腦部と協議を開始した、傳へられるところによるとウエーガン將軍はフランス、トルコ相互援助條約にフランス代表として調印した後同條約の規定に基き共同作戰に關しトルコ軍最高首腦と協議する豫定である、また之と共に英國、トルコ條約も近日中に締結せられる筈である

ソ聯、ラ國 通商協定調印

【モスクワ十八日發國通】モスクワに於て進行中のソ聯、ラトヴイア通商協定交渉は十八日ミコヤン・ソ聯外國貿易人民委員、ラトヴイア公使コツチンス氏との間に正式調印を了した、同協定は一九三九年一九四〇年の兩國貿易の總額を六百オラットと定め、更にソ聯はラトヴイアに對し鐵道及び白海のムルマンスク、スロカ兩港向け航路ならびに黒海諸港向けの連絡輸送の便を許與しこれに對しラトヴイアはソ聯物資のラトヴイア諸港經由連絡輸送を承認するものである、かくて兩國の貿易は從來の貿易額の三倍に躍進することとなつた

勞蘭も戰備固し【同國陸軍砲兵部隊】

和蘭のシ島沖で 空、海猛烈な戰鬪

【アムステルダム十八日發國通】ドイツ、オランダ境界より十六キロのシールモニクータ島住民の報ずるところによれば同島沖で國籍不明の軍艦六隻と同じく國籍不明の飛行機十二台との間に十八日午前十一時頃猛烈な戰鬪が行はれたといはれる

英汽船撃沈さる

【ジブラルタル十八日發國通】英國汽船ヨークシヤー號(一〇、一八三噸)は十月七日ラングーンを出發、リヴアプールへ歸港の途次十八日フランスのフインシユテール岬の西方二百四十浬の海上でドイツ潜水艦の襲擊を受け沈沒した

移住交渉獨委員

【モスクワ十八日發國通】フオン・カンフエーネル氏以下ドイツ側交渉委員は十七日モスクワに到着舊ポーランド領内ドイツ人の移住に關しソ聯政府と交渉を開始した右交渉は西ウクライナおよび西白ロシア地方居住のドイツ系市民にして轉住を希望する者のドイツ領内移住を目的とするものである

獨軍新兵器の威力

英海軍驚駭して調査

【ベルリン十八日發國通】ドイツ潜水艦飛行機の奇襲作戰で英海軍の基幹となる主力艦航空母艦、一萬噸級巡洋艦等が僅か一ヶ月半の間に次々に七隻までも血祭りに上げられ流石の英國海軍をして顔色なからしめてゐるが中立國の軍事專門家達はこの大戰果を總てドイツ軍の新兵器によるものとみてゐる、スカパフロー軍港襲擊に際してもドイツ潜水艦は優秀な防禦網の切斷裝置をもつて灣内深く進入し、かつ主力艦のやうに裝甲の厚い軍艦は普通の水雷位ひでは絶對に沈沒のおそれがないのであるが、一發をもつてよくこれを刺止めたことは一擊に機關の中心部或は艦底の火藥庫を爆破し得るやうな特殊な裝置の新兵器によるものであらうといはれてゐる、一方空中戰闘でも最近完成したU・八八型爆擊機或はメツセルシユミツト双發複坐戰闘兼爆擊機等時速五百キロ以上の新鋭快速飛行機が出動し、急降下爆擊に大いに威力を發揮してゐる、從つて英海軍根據地等に突如奇襲を行つた上英戰闘機の追擊を退けて悠々歸還出來る譯である、ヒトラー總統は九月十九日のダンチツヒ演説で新兵器の出現を發表した英國側ではドイツの恫喝として一笑に附したが過去一ヶ月半の戰闘においてすでにその鋭鋒を現はしてゐるので今後西部戰線の戰闘が激化すればドイツ側からは各種の恐るべき新兵器が出現するものと豫想されてゐる

北歐四國會議始る

中立の維持闡明へ

【ストツクホルム十八日發國通】北歐四ケ國元首會議は十八日午前十一時スエーデン王宮において開會、先づスエーデン國王グスターフ五世は司會者として次の如き挨拶を行つた

本會議の關心は單にスカンヂナビアの問題に限らず廣く全世界の問題に及ぶものでルーズヴエルト米大統領より本會議に寄られたメツセージはこの會議の重要性とその成果に對する期待を物語るに充分である、余は本會議において北歐四ケ國の今次戰爭に對する一致した態度は中立の維持にあることが再び闡明されるであらうことを希望し且つ確信するものである

なほ午前の全體會議に引續き四國外相の會議が開催され更に午後三時から再び全體會議が開かれた

米大統領、支持を告通

【ワシントン十八日發國通】ルーズヴエルト大統領は十八日スエーデン國王グスタフ五世に親書を送り米大陸の二十一ケ國はストツクホルムにおける北歐四ケ國元首會議に參加した國が守り來つた中立および法律秩序維持の方針を支持し右會議に深き關心を寄せる旨通告した、米國の右通告に引續き他の米州二十ケ國も同樣の通告を發する豫定

連枝山脈の敵一萬を擊碎

斷末魔の山西第六十一軍

【太原十九日發國通】去る七日より十五日にかけわが石川、木島、西林、清水、森岡、齋藤の各精鋭部隊は連枝山脈の要衝蒲縣南北の線に斷末魔の足搔を續けてゐる山西第六十一軍を斷乎殲滅すべく一齊に猛擊の火蓋を切り左の如き赫々たる戰果を收めた

判明せる敵兵力第七十二師、六十九師、獨立八旅、獨立百九十六旅計一萬、敵の損害遺棄死體二百九十五、捕虜百七十八、鹵獲品の主なるもの迫擊砲二、同彈藥四百五十九、機關銃一、同彈藥二千、輕機二十一、小銃十二、同彈藥四萬五千、拳銃七、手榴彈七百五十四、馬九十四頭其の他多數

廣西省の敵各軍事據點爆碎

【上海十九日發國通】艦隊報道部十九日午後四時發表＝南支方面において補給路遮斷の目的をもつて連日に亘り廣西省々境附近の各軍事據點を空襲し多大の戰果を收めたる海軍航空隊の有力部隊は一昨十七日更に同攻擊を續行寧明、馮祥、平而關、龍州、上金附近の軍需品倉庫群、軍用貨物自動車及び小型舟艇群に對し果敢なる銃爆擊を加へこれを爆破消失せしめ全機無事歸還せり

交口村一帶肅正

【太原十九日發國通】千葉部隊は十四日より十六日に亘り汾陽北方三十八キロの交口村附近一帶に蟠居せる敵約一千五百を攻擊これに多大の損害を與へた、敵屍三十六、捕虜五また岡田部隊は十二日朝固鎭東方十二キロの佛岭附近にありし嚮導總隊四百を東方に潰走せしめた、敵屍十一

修水河の殘敵潰滅

【漢口十九日發國通】修水河谷に立籠つた敵兵團を粉碎の後奉新、靖安附近に轉戰するわが兒島、藤本、長崎、園田、木島の各部隊は敵第七十四軍ならびに修水河谷の敗殘兵五十一、五十八、百五、百八十四、新編十一各師に屬する約三千に對し十四日早曉より十六日にかけ奉新西方十キロ官材岳附近においてこれを包圍殲滅的打擊を與へて西方に潰走せしめた

敵遺棄死體一、三九〇鹵獲重機二、小銃一八五、同彈藥一七、七〇〇

引續き同部隊は十六、七兩日靖安西方五キロ燕子岩附近において百四十一師に屬する約二百の敵を捕捉し、敵死體七十一の戰果を擧げた

三寒四溫

▲今の滿洲に缺けてゐるものは何か?といへば勿論第一に物だといふだらう▲この寒空に石炭が足りない、それは滿洲の產業が發展して工業用炭が激增し、人口增加で家庭用炭の需要がのびたからで、決して石炭の生產不足では無といつたところで、足りないものは足りないのだ▲住宅難も各地のきなみの現象だが、これ亦家が少いのでなくて人のふえ方が激しいのだといふのは原因の說明にはなるが、不足の事實の補ひにはならぬ▲麥粉も足りぬ、米も不十分だ、鐵も、セメントも木材さへも足らぬ▲あらゆる物資が足りないといふので、經濟部當局などは、これは發展的不足だ、末頼もしい缺乏だ！などと云ひつゝも、物資の配給調節に隨分と苦勞の多いことだらう▲と共にお互ひ民間の調節をうける側の方もまあ何といつてもまだほんとうの非常時的心構へといふか統制經濟機構になれてゐない故もあるが、とにかく主觀的にも、苦痛もあり、不自由もある▲だが足りないものは、單に物だけか?といふと、さにあらず▲今日の物資不足は一面人口增加、經濟發展の過渡的現象で、或る意味ではむしろめでたい事だが▲此物の不足の重要原因たる人口增加にもかゝはらず、まだまだ人が足りないのだ▲勞働者も足りぬ、事務員も足りぬ、技術者は尙は足りぬ▲更にほんとうの指導者、統率者に至つては實に不足といふよりはもつとひどい狀態ではあるまいか▲だがこゝでお互は一應考へ直ほしてみる必要はないか▲物は無いといつても決してそれだけでは增えも生れもしない▲無い物、不足な物資について、われらの對策は二つより外にない▲一つは物を無しですますか、節約するかつまり物を愛する事で▲他の一つはとにかくあらゆる工夫をして物の生產を增加する事だ▲甚だ平凡なことだが、しかしこれより外に何の方法もあるものではない▲人の不足でも同樣だ、まあ出來るだけ皆がよく働く事と、不要の仕事をせぬようにする事だ▲役人などは忙しい事をもつて誇りとするから、仕事がないのが一番苦痛で、仕事ずきのやり手になると色々と仕事をこしらへるものださうだが▲ほんとうに人民の役にたゝぬような仕事はこの際なるべくやめにして貰ひたい▲會社などでも同樣で、他社と協力したら何でもない事まで自分でやらうとして徒らにといつたら怒られるかも知らぬが▲どこも職員をふやすことにうき身をやつすような事がありはせぬか▲物も人も足りないのをお互の心掛けで益々足りないようにするようなことをせぬことがまづ肝要だと思ふが如何か。

南潯鐵道開通式

【漢口十九日發國通】待望の南潯鐵道開通式は十七日午後一時南昌北方二十キロの樂化驛にて南昌攻略戰の猛將○○部隊長はじめ在南昌、九江各陸海部隊長及び沿線治安維持會長等日支官民多數出席の下に盛大に擧行された、想へば大正五年以來一千萬圓の巨費を投じて粒々辛苦築き上げたわが國唯一の在支鐵道權益も蔣政權抗日の鐵鎚に破壞し去られて約一年、佐藤部隊の凡有る困難を冒しての復舊作業が報ひられてこゝに再び全通するに至つたものである

期待持たれる岸氏の商工省入

日滿經濟の一體化

滿洲國產業部開發の重鎭として滿三ケ年の永き間產業部次長として又總務廳次長の要職にあつた岸信介氏はいよいよ商工省次官として日本へ復歸することに決定した、同氏の日本復歸は日滿間を通ずる凡ゆる角度から頗る重視せられるところで、特に同氏の滿洲國に於ける地位に鑑みこれまで滿洲側に立つて生產に、物動に主役として活動した身が一轉して供給の責任者としての地位を占むるに至つたのであり滿洲側よりこれを見て非常な强味を感ずるところで今後の經濟的觀點から期待するところは極めて大なるものがある、即ち

一、同氏の抱懷する重工業開發への努力助長策に鑑みて日滿一體化の立場が一層明確になると共に今後の資材關係においても期待されるところ多く、これ迄日本側の認識不足の雜が完全に除去され滿洲產業五ケ年計畫は一層圓滑に進展を見せると共に、物動關係に於ても合理的配給が期待される譯である

二、漸く軌道に乘らんとする滿洲物價政策は日滿間の物價調節の必須なる點より益々緊密なる連繫が保たれる日勿論日滿物價の變則的現況が岸次長の商工次官就任を契機として是正に一步乘出すものと豫想せられる

一、大豆外特產その他農產物等を中心とする農業政策に於いても同氏の抱負に鑑み今後の農產物價、肥料等に對し一般の調整が期待され大豆の輸出、延いては特產專管公社の前途にも多大なる好影響を齎すものと思はれ日滿支を通ずる食糧問題も一段を連繫の緊密化が齎らされるものとして多大の期待がかけられるところである

商工次官發令

【東京國通】十九日の閣議で商工次官更迭を決定即日左の如く發令された

正五位勳四等　岸　信介
任商工次官(二等)

商工次官　正四位勳二等　村瀬　直養
任物價局次長(一等)

物價局次長　竹内　可吉
依願免本官

村瀬次長辭表提出

【東京國通】商工次官より物價局次長に轉任された村瀬直養氏は即日伍堂商相の手許に辭表を提出した、商相は村瀬次長に對し一應慰留したが、村瀬氏の伍堂人事に對する不滿强く翻意せぬため商相も結局辭表を受理し、物價局次長には物價局第一部長新倉利廣氏が昇任するものと見られる

後任駐滿參事官に 三浦書記官拔擢 ◇……近く正式發令

加藤外松氏の駐支公使轉出に伴ふ駐滿大使館參事官の後任には前駐米大使館參事官須磨彌吉郎氏が任命されたが、同氏は赴任を見ずして河相情報部長のあとを襲ひ本省情報部長に就任したので、駐滿大使館參事官には現大使館一等書記官三浦武美氏が拔擢され不日正式發令を見ることになつた、三浦氏は在滿期間も永く滿洲國内の諸情況に通曉せる點に於ては省内屈指の一人であるだけに各方面より多大の期待がかけられてゐる

生保團懇談會

目下來京中の生保視察團一行は十九日午後二時より中銀會議室に於ける懇談會に出席、滿洲に於ける經濟產業の諸事情を聽取するとゝもに生保團側より日本の金融狀況、主として生保資金の運用狀況を說明、今後の對滿投資につき種々懇談を重ねた

星野長官歸任

東京に開催された日滿支連絡協議會に出席した星野總務長官は廿日の日滿連絡機で歸任の豫定

李交通相赴奉

來る廿一日より三日間に亘つて盛大に擧行される滿鐵々道一萬キロ突破記念式出席のため李交通部大臣は廿日午前九時半發「はと」で出發奉天に向ふ

久保田總領事

新任ハルビン總領事久保田貫一郎氏は廿日午後五時二分着列車で新京着關係各機關に挨拶を述べる豫定

社說

滿洲文化建設のために

近時滿洲國に於いて文化建設のための關心が大いに昂まつて來た事實は甚だ注目に値ひするであらう。もとより文化建設と言つても、それは甚だ廣汎な各種の部門に亙つて居り、その或る種のものに在つては遙か以前から種々の計畫も樹てられ着々とその事業を進捗せしめ來つたものもあるのであるが、綜合的にこの國にふさはしい文化の建設の重要性といふことが一般に認識されその實現のために種々考慮が拂はれるに至つたのは最近の事實なのである。これはこの國の建國以來すでに相當の時日を經てゐる今日決して早過ぎるといふことではない、むしろ遲かつたといふべきでもあらう。しかし遲かつたにしてもなさざるには勝るわれらはこのやうな形勢にあることを大いに喜んでよいのである。

周知の如く滿洲國は複合民族國家である。そして一つの注意さるべき事實は、此處ではそれ〴〵の民族が持つてゐる文化の度合ひに非常なる相違が存するといふことである。したがつてこゝに必要な文化政策といふものは決して單純な劃一的なものであることは出來ない。遲れた民族の文化はこれを先づ引き上げること から拂らねばならぬ。それなくしてはこの國の文化の充實した進展といふことは到底行はれ得ないであらう。この點に於いてこれまでになされたところが充分なものであつたとは到底考へられない。われわれは當局や關係各方面が斯うした點になほ一層の注意を拂はんことを望みたいと思ふ

次に考へることは、最近の一つの流行である文化行政の一種の傾向についてゞある。それは獨逸のナチスのやり方などに端を發したものと思はれるが、一種の統制を以てする方法なのである。特定の條件の下ではこの方法も大いに效果をあげることゝ思はれる。また現下の時局といふことを考へれば斯うした統制も或る方面には不可避的に必要なことであると考へられる。しかし斯うした行き方には兎もすると窮屈なものとなつて、伸ぶべきものをも抑へつけるといふやうな弊害の存することが考へられるのである。一般的に言つて今の滿洲國の場合にはもつと餘裕のあるゆつたりとした行き方を望ましいとせねばならぬ。これは遲れた民族の文化を引き上げて行くためにも必要とされる心構へであらう。そのほか、滿洲國に於ける都會文化と農村文化との問題、日本文化の受容についての問題、支那文化との關係の問題等、種々考へらるべき問題は存してゐる。われわれはこれらの點についてひろく衆智をあつめ、最もいゝやり方でこれらに處して行かねばならぬと思ふのである。

各國大使をめぐり「重慶活氣を呈す」

英佛の援蔣策變更か

【香港十八日國通】重慶來電によれば本月七日カー英國大使の重慶到着以來王寵惠外交部長、徐謨同次長、孔祥熙、王正廷等およびパナウチャーソ聯大使、コスム佛大使、ジョンソン米大使等を繞り俄然活氣を呈し王部長およびカー大使間には現に會談が進行中で更に在支各國大使の活潑なる動きと賀耀祖のソ聯特派および顔惠慶、甘介侯の米國訪問等と相俟つて各種の臆說を生み、しかして英佛の運動は過去の援蔣政策を變更することによつて日支事變の平和解決を促進せんとするものと認められ、また佛國政府が事變調停の申入れをなしたとの報道も事實と信ぜられてゐる、

しかし支那現在の外交關係が英、佛、米、ソを繞つて極めて復雜微妙なる發展を遂げつゝあるので蔣介石は事情やむを得ざる場合を除くのほかは外國大使との直接會見を避け專ら王寵惠に命じてその交涉に當らせてゐる

抗日犯人一味

近く我方へ引渡し

【天津十八日發國通】去月廿八日わが憲兵隊と英工部局の共同捜査によつて逮捕された抗日犯人藍衣社巨頭曹徹、ロ・ロ團首領抗日暗殺團長張希一等十名の身柄は英工部局に拘致中であつたがわが方との共同取調べも一段落を告げたので十八日正式に身柄引渡を要求した、これに對し英國側も快よく應諾三、四日中にわが方に引渡される筈である

三角地帶蠢動の敵に殲滅戰

【上海十八日發國通】上海、蘇州および嘉興を結ぶ三角地帶の中央に蟠居する敵新編第卅師は從來屢々鐵道を破壞したり、沿線部落の掠奪を試みつゝあり最近その蠢動も著しいのでわが所在部隊は各方面において包圍攻擊を敢行敵に殲滅的打擊を與へて沈默せしめ左の如き戰果をあげた

一、嘉善北方六キロの西塘鎭一帶に新編第卅師麾下第四十五旅田軸山軍が突如南進せんとする兆あるを探知したわが楓徑鎭駐在西元隊は去る十四日出動、西塘鎭東南地區において敵を包圍攻擊し大打擊を與へて北方へ潰走せしめた、敵遺棄死體二百五十、輕機七、小銃五十三その他彈藥、軍事書類等多數鹵獲した

一、田中（芳）部隊と相呼應し金山守備隊中尾中尉以下〇〇名は十五日午前十時金山、楓徑鎭水路を前進、

大名南方を掃蕩

【石家莊十八日發國通】十二日大名南方二キロ北張集附近に潛入して來た約五百の敵に對しわが森田部隊は北方よりこれを攻擊敵は九十五の死體と三十二の小銃を棄てゝ東南方に潰走した、又去る十五日には保定南方十五キロ白城附近に潛伏してゐた楊大鳳麾下五百名がわが井上部隊に無條件歸順を申出た

武漢地方討伐

【漢口十八日發國通】武漢地方における最近の討伐狀況左の如し

一、わが〇〇部隊は十五日江南通城東南方附近において八十二、九十八兩師に屬する約三千の敵を猛攻南方に潰走せしめた、敵遺棄死體百五十

一、酒徑鎭警備の齋藤少尉以下〇〇名は十二日午前二時行動を開始し同五時頃陶家口に到り同地に集結中の王世龍匪軍約百を攻擊之を潰亂せしめた、敵遺棄死體十一、捕虜中隊長以下三名

欄において敵約百名と交戰一時間の後之を潰走せしめた、敵遺棄死體卅二

一、わが大寺部隊は海軍航空隊協力の下に漢江下流黃陂八黃坡西方三キロ附近部落に集結中の約三百の敵を十五十六の兩日に亙り攻擊潰走せしめた、敵遺棄死體廿

一、十六日未明わが森岡部隊は、京漢線東側大別山麓高安北方五キロ附近に陣地占領中の廖磊の正規兵約五百に對し銃砲火を浴せこれを擊破、敵は死體卅を遺棄し大別山中に遁走した

物動計畫樹立が現下の重要問題

辭任に當り岸次長談

商工大臣として日本政府に復歸することになつた岸總務廳次長は十九日午前記者團と會見左の如き感想を述べた

□

昭和十一年十月に滿洲國入りしてから滿三ケ年になり、この間公私各方面より

多大の御支援

を仰いで幸ひ大過なく任務を盡し得たことを喜んでゐる、自分が大連に上陸した際第一に考へたことは重工業資源の開發と大豆問題の解決であつたが兩者も大體軌道に乘り、大豆專管公社も廿日創立の運びとなつた、

商工省に復歸しても直ちにどうするかと云ふことまでは考へてゐないが商工、農林行政の一元化、物價對策の確立、日滿支を通ずる物動計畫の樹立等は現下の重要問題であらう、農林、商工行政は大體一元化することが必要であらうが、それには何れを主とするかゞ問題となつて來る、これはその時の要求によつて決定されることであるが、現在の事情では農村を重視した意味における一元化が當然と考へる、新しい意味における農本主義が樹立され日滿を通じた農業政策の

確立が

必要だ、物價對策につい ては先づ配給機構の確立が先行すべきで例へば重要物品別に政府の直接監督する配給機構を造ることなどは困難な問題ではあるが是非實現せしめなければなるまい、滿洲および支那の物價も日本の物價政策にリードされて行くので此の場合は配給特に輸出入に關する嚴重な統制と計畫を與へ物價標準價格に隨伴するやうな組織を作ればよいと考へてゐる、日滿支を通ずる物動計畫については自分が滿洲に來た經驗を生かし日本政府部內にあつて充分滿洲國側の希望を達成し得るやうにしたいたゞ現在日本の諸政策の方向が支那問題の解決に集中されてゐる際とて物動計畫についても支那の今後の開發のため相當の資材が向けられ、又消費方面も支那民衆の生活を保證し得るやう最善の努力を拂ふことゝなら う、滿洲國としては現在重工業開發に向けられてゐた政策の重點を相當調整すべき時期に立至つてゐるやうに思ふ、所謂政策の重大轉換期に際會してゐるわけで重工業資源開發と經濟統制の上に

調整が

加へられ、文化的方面の施設に新しい政策の重點が打ち樹てられなければなるまい、例へば興安四省の農畜產及び鑛物資源の振興工作は當面の諸施設等の開發、文化的喫緊事となつてをりその他地域でも地域的に綜合性を持つた開發計畫を樹てゝ行くことにならう【寫眞は記者團と會見の岸次長】

和平最大の目的日支の經濟提携

汪氏、中華日報に論ず

【上海十九日發國通】汪精衞氏は十九日附中華日報紙上に「產業界の諸君に望む」と題する署名入論文を揭載日支經濟提携について左の如き所論を披瀝した

□

產業界の諸君、現在の和平運動の最大の目的、最大の作用は產業を復興し中國に安定と繁榮とを齎す事にある、これ平等互惠の原則に立つて日支の經濟提携を圖ることにある、しかして現在一般人特に產業界人種は心中に一個の共通の疑問をもつてゐる「日支經濟合作は合作に名を藉りて獨占を行はんとするものではないか」との疑問これである、これに對する回答は日支双方が合作によつて得られる利益は遠く獨占に過ぎるものがあるといふことである、經濟上獨占を圖る事は軍事上征服を圖るのと完全に異ならない、征服の結果一方は完全に壓制すると共に他方は完全に搾取を受けまた獨占の結果一方は完全に搾取すると共に他方は完全に搾取を受ける、しかるに今日において日本はすでに平等互惠の原則に立つて經濟合作を圖ることを表示してゐる、かゝる日本の提唱に對しては方法を探究し具體的條件の成立を圖る事が最も必要であると思はれる、或る者は經濟上より見て日本は支那に對して獨占を除いては他に方法なく如何なる名目によるも窮極は實際上獨占に歸するとしてゐるがこれは事實でない、日本が經濟上獨占を圖ることはその結果は共に破れ共に傷つき軍事上征服を圖るに等しくその利益を得るの道でない、二つの國家が經濟上共同の基礎に立つて有無相通じ短長相補へば兩國の國民の幸福は合作によつて繁榮に到着するを得る、惟ふに日支永久平和は經濟合作によつて始めてその基礎を得ると斷言し得る、產業界の諸君がこの際勇氣を鼓舞し近衞聲明に立脚する平等互惠の精神を原則となし經濟合作の理論を導くと共に經濟合作の方法を探究し具體的條件を成立せしめ事實によつてこれを表現すれば日支和平の基礎はこゝに築かれたといふべきである

印度に自治領制

英供與意向を示唆

【ロンドン十七日發國通】英國政府は十七日英印關係に關する白書を公表、インドに對し自治領制を供與する意向あることを示唆した、即ち同白書によればリンリスガウ印度總督は十七日聲明書を發表、英國政府は大戰終了後インドが諸自治領のなかの適當なる地位を保つやう印度、英本國間の關係を强化する意圖ある旨を言明したが右の諸自治領のなかの適當なる地位を保つやうとあるは英國政府がインドに自治領の地位を與へる意向あることを示唆するものと解され重視されてゐる

獨立侵さぬ限りソ聯の要求容認

蘭芬の方針決る

【ヘルシンキ十八日發國通】フインランド政府はソ聯の要求に對し愼重檢討を加へてゐたがフインランドの獨立が不當に侵害せられることなき限り努めてソ聯の要求を認めるといふ大綱方針を決定、パーシキビー代表は近くフインランドの對案を携行して再びモスクワに赴くことゝなつた模樣である、これがためこゝ一兩日來ヘルシンキにおける一般的空氣は漸次緩和し曩に避難を勸告せられた市民に對しても漸く首都歸還を許可せられるに至つた

新任駐英伊大使ハ英外相と會談

【ロンドン十八日發國通】バスチアニーニ新任駐英イタリー大使は十七日外務省にハリファックス外相を訪問着任の挨拶を兼ね時局に關する最初の會談を遂げたが、その際同大使はイタリーは交戰國が相互に戰爭中止を希望し且つこれがためイタリーの援助を欲する場合は何時にても好意的仲介の勞を惜まざる旨を明かにしたと傳へられる、但し同大使はこの問題に關聯して本國政府より何等具體的なる提案を携行してをらず從つて右の言明は單に英國政府の內意打診の程度以上に出ないものとみられてゐる

米、交戰國船の領海出入を禁止

大統領中立維持を布告

【ワシントン十八日發國通】ルーズヴエルト大統領は最近交戰國の潛水艦戰が漸く熾烈化しつゝある狀態に鑑み米國領海の中立性を維持するため十八日

一、今米國は交戰國潛水艦に對し米國の領海並びに港灣に出入を禁止する

旨の布告を發した

英貨物船擊沈

【ロンドン十八日發國通】ドイツ潛水艦の活躍はますます熾烈を極めつゝあり、十八日大西洋上において擊沈された英國貨物船シチー・オブ・マンダレー號（七〇二七トン）が大西洋上でドイツ潛水艦のため擊沈された、乘組員は附近航行中の船舶により救助された模樣

ノルウエー汽船擊沈さる

【オスロー十七日發國通】當地への入電によればノルウエー貨物船ロレンツ・ハンセン號（一九一八トン）は十七日カナダより英國に向け航行中大西洋上において擊沈された

獨、ユーゴー間新通商協定成立

【ベルグラード十七日國通】中立國獲得に腐心するドイツはさきのドイツ、ブルガリア通商協定締結に引きつゞきユーゴースラヴイアにも働きかけ新通商協定締結に關し折衝を重ねてゐたが、今回兩國間に交涉纏まり十七日ベルグラードにおいてドイツ、ユーゴー兩國政府代表の間にドイツ、ユーゴー通商協定の正式調印が行はれた、右新協定は今まで兩國間に存在した輸出入量並に支拂淸算制に關する通商上の諸規定を今後も繼續することを約したものである

濠毛對日輸出量

【東京國通】今シーズン濠毛の對日輸出については豫て秋山シドニー總領事と濠洲政府當局との間に折衝が續けられてゐたが、十八日同總領事より外務省に到着した報告によれば濠洲政府は英本國とも協議した結果今シーズン濠毛の對日輸出は原則的に大體わが方の要望する買付量（二十五萬乃至三十萬俵）を容認することになつた

滿鐵來年度の事業費總豫算

五億圓を突破か

【東京國通】滿鐵昭和十五年度事業費豫算は目下同社經理當局にて作成中であるが總額は本年度の四億一千萬圓より一億圓程度を增加し五億圓に達する筈である、而してこの資金調達方法は社債發行株式拂込、社內保留金並に傍系會社株式の開放等が豫定されるが、傍系會社株開放によつて得られる資金は四千百萬圓に達する見込でその主なるものは滿洲電業株である

河川法運用に伴ふ事務調査訓令

滿洲國政府は曩に河川法を制定し河川管理に必要なる工事の按配及び分擔費、負擔等の準則を定め河川制度の根本的確立を期してゐるが、交通部では十三日付をもつて河川法運用に伴ふ關信省長及び航務局長との事務調整事項に就き關係機關に對し左の如き訓令を發表した

一、河川法及び同法施行規則に基き省長に於て爲す河川に關する工事若は處分にして河港、海港若は航路に影響を及ぼす虞ある事項に付ては省長は事前に關係航務局長宛書類を以てその意見を徵すべし

一、省長河川法及び同法施行規則に依り交通部大臣に申達すべき事項にして河港、海港若は航路に影響を及ぼす虞ある事項に付ては事前に關係航務局長宛書類を以て其の意見を徵すべし

一、航務局長に於て爲す河港、海港航路に關する工事若くは處分にして河川保全上影響を及ぼす虞ある事項に付ては事前に關係省長宛書類を以て其の意見を徵すべし

一、航務局長交通部大臣に申達すべき事項にして河川保全上影響を及ぼす虞ある事項に付ては事前に關係省長宛書類を以て其の意見を徵すべし

一、ポンツン、航船の碇泊は港內に關する限從前通航務局長に於て處理すべし但し事前に關係省長宛書類を以て其の意見を徵すべし

全滿商工公會協議會第一日

政府の統制經濟强化に即應して全滿商工業界の大同團結を企圖、以て政府の圓滑浸透に寄與せんとする新京商工公會主催全滿省商工公會第一回聯合協議會は十九日午前十時より新京商工公會々議室に奉天、牡丹江、安東、吉林、熱河、錦州、濱江、北安、龍江、新京の各省商工公會々長、常務理事等十七名出席、左記提案事項を審議正午一旦休憩した

△提案事項

一、商業組合若くは同業組合法制定方要望の件（安東省提出）

一、組合法小賣商許可制等商工業關係法規の制定に當り商工公會に豫め諮問方要望の件（新京）

一、統制組合綜合事務所設立に關する件（龍江）

一、全滿商工公會聯合會結成方要望の件（吉林）

一、統制經濟强化に伴ふ犧牲業者救濟方要望の件（同）

一、統制經濟指導費及物價對策費を交附されたし（同）

一、省商工公會例會の範圍（同）

一、省商工公會例會開催期日の件（同）

△報告事項

一、全滿商工公會總會開催の件（新京）

一、日滿實業協會に關する件（新京）

支那國論の二大轉換（十三）

吳汝綸氏が祖國の秘密を日本に賣り其代價として特別の歡待を受けたなどいふことは常識的にも考へ得ざる所である、當時の支那は拳匪事變の爲めに有らゆる弱點を世界に公開した戰敗國に何の賣るべき秘密が有らうや、又吳氏其人は學部侍郞即ち文部書記官の地位に居る關係上他の外交若くは交通の要路に居る人に比し列國との交涉事に與る機會などは殆んど絕無と謂つて可なり、況んや吳氏の人と爲りと其平生を洞悉し居る者に於てをや然るに此の根もなく葉もなき流言は當時の御史をして然も其事實ありしが如く誣して歪曲誇張せる彈劾文となつて上奏された

□　□

當時の御史必しも苛察刻薄の人物のみではなかつたのであるが、彼等は吳氏が餘りにも日本模倣に偏するの甚しきを憤り何かの口實を捉へて其腹癒せを試みんものと片唾を呑んで機會を窺ふてゐたので ある、其處へ吳氏の攻擊に好都合なる流言が播布された、彼等は直ちに之を利用して彈劾の主旨を捏造したのである、憐れむべし吳氏は大に兩宮の逆鱗を觸り官職を免ぜられて鄕里の桐城に隱退し快々として樂まず遂に病で白玉樓中の人に化されたことは一番の回顧を新にして無限の感慨に禁えざるものがある

□　□

讀者諸賢、右の事實は一面に於て支那全士を風靡せる親日師日の滿潮時に起りしものなることを記憶されたい、更に諸賢の參考として尙ほ一つお話したい事がある

由來支那にては名士が御史の彈劾に遭ひたる場合必す節義を重んずる親友の在官者が一方から仲寬の上奏を行ひし事例は歷代頗る乏しくないこの時に於ける友人其人の態度は凛然なる道義の化身であつて其友を救ふて正義を伸ぶるためには地位も生命も其眼中には置いてゐない勿輪友人の犧牲となり免職されたり死刑に處された者も其數少なくないのである

□　□

然るに吳汝綸氏の冤罪にて御史より彈劾されたる時其數多き友人の中より誰一人其冤枉を救ふべく上奏文を上つた者がないのは餘りにも不思議の現象ではあるまいか、私はこの不思議の現象を解するに二つの答案を以てしたい

其一は淸末に於ける士氣の頹廢からである、淸朝一代の學者連は口を開けば明朝の學術は粗疎であつて取りえもない樣に貶して居るが明末に於ける志士仁人の輩出は實に有史以來の盛事であつた、然るに淸朝は如何洪秀全の亂後に於ては一個湖南の曾文正公を除かば其他の餘子は碌々なる試驗及第の徹官的に非ざれば父の勳功で蔭補された飯袋衣架子の類である

□　□

道ふこと勿れ命世の碩學あり王湘綺の通儒あり王葵園の考證に長ずる陳三立の醇乎として醇なる明代何人が之に比肩し得る者ぞと、此の如き月並の咳唾は書齋の蟲には通用すれども學術即經世の建前を執る者には蚊の鳴くほどにも脅かしは利かぬ

□　□

世に學術——人心——世道——綱常と一元的體系の緊密微妙なる關係を度外視して學問を敎へたり學ばせたりする程國家の禍を成すものはない淸朝は康熙の頭初から學術は學術、人心は人心といふ二元的の建前で天下の讀書子に君臨した、英雄政治として一時の人心を籠蓋するには味のある遣口であつて秦の始皇が民衆を愚昧にして統治せんとした反對の側に立ち、民衆を金箔塗の學者にして統治することにした

□　□

曰く金箔塗の學者とは何ぞや、之を支那的にいふならば經史諸子詩賦文章を一貫して書籍上の事なれば注疏の片言隻字をも諳記に漏らさず文字を玩弄する事ならば詩賦にせよ文章にせよ千言立どころに成るといつた偉大なる人物であるが、扨て以て六尺の孤を託し以て大節の取舍に臨ましむれば其骨の軟かきこと豆腐の如く其意氣の賴りなきこと出枯しの番茶にも劣るといつた代物をいふのである

商況　十九日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
取新	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
取新	[illegible]	[illegible]

手形交換高（十九日）

[illegible]

資材難克服本年建築界決算

建築戸數六千戸 昨年に比し増加

一數字に現れた住宅難緩和の跡

首警建築科調べ

(酷寒)は遂に到來した、これから一途結氷に驀進し長い蟄居生活に入る大陸である。國都の土建界も本年度工事に休止符を打つべく完成へと急速調な建設譜を奏でゝゐる、由來土建工事は景氣のバロメーターと言はれた程我々の生活と密接不離の關係にありまた最も鋭敏に反映するのであつたが、本年度國都の業界は果してどうであつたか、結氷の訪れと共に工事の幕を下さうとしつゝある時、建築の總元締首都警察廳建築工場科の統計から展望、本年度建築の情勢を總決算して見る

□ □

(本年)一月から九月末日迄の間同科から許可した建築は件數六百九十二件、棟數千三百九七棟、戸數四千七百十五戸及び室數五百八十五室、延面積三十九萬九千七百平方米九一、鐵筋使用量一萬一千二百五十一瓩七一七、セメント使用六十六萬三百二十二袋、總工費三千九百四十八萬六千八百八十圓となつてゐる、これを用途別に見ると

▼住居建築は棟數千八十戸、戸數三千四百六十四戸、延面積二十四萬五千三十六平方米九〇、總工費二千八百三十六萬五百十一圓

▼工業建築は棟數五十三棟、戸數六十戸、延面積三萬五千三百六十三平方米六九、總工費七百三十萬五千四百五十二圓

▼商業建築は棟數二百三十九棟、戸數千百四十六戸、延面積十萬九千三百六十六平方米一一、總工費八百六十三萬七千八百八十圓

▼その他建築は棟數十九棟、戸數四十五戸、延面積九千九百三十四平方米二二、總工費二十五萬六千三百七十六圓

更らに會社、民間別は

▼民間は三千九百十三戸及び百三十八室

▼特殊會社は九百八十一戸及び二百十室

▼房產會社は六百四十一戸及び二百四十室

となつてをりその外に房產會社の未屆分千百八十戸、特殊會社の未許可分百戸及び二百室がある

(卽ち)これ等未屆未許可を加へ本年度竣工と見られる建築總數は戸數約六千戸と室數約七百室と言ふことゝなる

昨年度工事に對比して見ると昨年度一ケ年間の受付件數は七百二十件、棟數千二百六十二戸、戸數三千四百九十九戸、延面積五十八萬九千二百三十平方米九四、總工費二千七百二十六萬九千百六圓で本年は受付件數と延面積に於て昨年より減少、棟數、戸數總工費に增加を見せてゐる

(戸數)の增加は政府の建築統制卽ち百貨店、劇場、料理店、事務所等の不急工事を極力押へ一時は殺人的とまで呼ばれた必要不可缺工事の住宅難緩和に資せんとしたもので警察當局がこの點に全主力を集注した努力の跡が歷然と表明されてゐる

總工費の增加に於ては資材の全面的暴騰によることを見逃してはならないであらう、いづれにしても深刻な資材難及び暴騰と言ふ惡條件を克服したそして請負業者に於ても全能力を發揮手一杯に活躍したもので必然これがもたらした景氣は亦莫大なものであらうことを想像せしめるものである、多難なる本年度建築界もかくして官民の力強い協力を示して慌しく最後の幕を下して行くのである

鄭總理との友情美談

教材採用を上申

武藤元帥の母校から

滿洲國初代國務總理鄭孝胥氏と初代駐滿日本全權大使武藤元帥の遺德を偲ぶかくれた逸話が建國大學講師佐藤知恭氏から元帥の母校佐賀縣牛間田小學校に送られた書簡によつて判明、兩者の風格に對する日滿兩國民の敬仰の念は一段と深められた、卽ち佐藤氏の十月二日付手記には

鄭總理常に曰く、宮內府には君德を啓沃し奉るべき侍講は官制上にも置いてゐないが武藤元帥の御在任中一日、十一日、二十一日の每月三回の皇帝への謁見は百千の侍講を置くより君德啓沃に效果あり、自分の謁見每に皇帝は元帥の話されしことを自分にも御話あり、この時自分は東方學術の上より更にその話を衍義して申上ぐるが皇帝の心から師傅として敬慕さるゝは武藤元帥なり、武藤元帥が皇帝に謁見の時は只一個玲瓏の珠玉にて司令官でもなく大使でもなく、元帥と自分と會晤の時また然り、肝膽相照らすとはそれ之をいふや元帥薨去の訃を聞くや鄭總理は滿洲の梁木頽つると痛惋され元帥の祭文は總理自らこれを草せり、鄭總理在任三年中自ら筆を執れる祭文は「祭武藤元帥文」一篇だけなり

とあり、佐賀縣教育會ではこの美しい兩者の胸襟を開いた友情美談を小學校教材に採錄されたいと文部當局に上申中であるが、故總理の御曹子鄭奉天市長はこの朗報に感激して語る

父は武藤閣下を心から尊敬してゐました、過ぐる大同元年九月十五日畏くも當時まだ執政におはせし皇帝陛下御親臨の下に武藤元帥と父が日滿議定書に調印した後の歷史的光景は私の終生忘れ得ない感激です、その夜總親會が催されたが時恰も中秋節で名月が皎々と冴えわたつてゐたので元帥の人格に傾倒してゐた父は感懷を名月になぞらへて次の一詩を賦し自ら筆を執つて揮毫元帥に贈つたほどです

「巧歷難逢三五夜、萬家朴火共歡騰、憑君掃盡浮雲影總信中秋分外明」

なほ同市長は武藤元帥の母校牛間田小學校の父兄會に贈るため今回精魂を打込んで「家風孝友故相親」の一書を揮毫したが廿三日來峯の同縣教育視察團に托することになつてゐる

素破犯罪突發！

ベル一つで動員

警官アパート三ケ所に竣工

首都警察廳では逐年增加する犯罪豫防のため素破と言へば一齊に警察官を出動せしめる目的の下に主要地區に警官アパートを建設合宿せしめることゝなり滿洲房產會社に依賴本年七月以來これが建設を急いでゐたがこのほど第一期工事分の長通路、寬城子、北安路の三ケ所(何れも滿系警察官用)が見事に竣工した第一期アパートは何れも八疊、六疊、四疊の三種類に分れ各種の近代設備もぬかりなく取り入れた瀟洒な建築物だが、先づ滿系警察官から收容、突發事故に有てベル一つで召集水も洩さぬ警戒を張らせるものである

協和會員の練成

協和會中央本部では現職中の部員全體の旺盛な氣力を涵養し內外諸狀勢に即應して會運の一層充實發展を期するため十月十五日から明年四月十九日までを七次に分ち每期三週間とし南嶺中央練成所でこれが練成を開始した、參加人員は第一次六十名、その後は九十七名の合計六百四十二名で第一次及第二次には特に中央本部科長及省科長級を適宜參加せしめてゐる

投稿歡迎 中不可

藝妓の藝名考察 (妖婦亭投)

藝名で統制されてゐるのは擱生の百合香、淸香等と香の字づくめ、桃園の桃づくし、八千代館の千代揃へ、これでは餘程頭の良い客か、惚れた妓でも無ければ仲々覺えられない程煩雜だ、附ける方でも藝妓が增えるに從つて苦しまぎれにアアソー香だの桃ンかアー等と附けねばならぬだらう、しかし藝妓とは云へ人間樣に附ける藝名である以上、在りし日の戀人榮太郎君を偲び、『榮子』と又片岡千惠藏のファンが『千惠藏』等は花柳界らしくて嬉しき極であるが怪奇にも『おちよ子』『福引』『福久娘』等實に言語同斷この樣な藝名を附けられた爲、始終恥かしい思ひをして働いてゐるのではなからうか、こんな調子だと今に『味の素』だの『月美人』『ナイトフラワー』等と云ふ妓が出來るかもしれない、藝名中で氣が利いた名だと曙の錦花にその命名の因を尋ねると只ニンマリと淋し氣に笑つてゐるのみで答へない、何か譯が！等遠く彼女の出生地東京までも調査して見ると何の事だい帝都劇壇の利け物木村錦花君の第二號に納つてゐた花柳壽美太郎が滿洲へ渡つて何處かで藝妓に出てゐる由、曙の錦花が花柳の名取で壽美太郎、その花柳壽美太郎が木村錦花君の…:隨分人を喰つた女だ

戰亂の歐洲を避難

滿洲國外交官家族歸る

救命胴着を用意 恐怖の航行二晚

呂公使夫人等橫濱港入港談

【橫濱國通】歐洲動亂の避難者百八十名を乘せた郵船靖國丸は十八日曉關、豫定より一時間早く橫濱港に入港したが避難者中には駐獨滿洲國公使呂宜文夫人呂文英さん(三八)長男呂世明君(一六)次男呂世相君(一三)三男呂世貞君(一一)大使館參事官江原綱一氏夫人淸子さん長男淳君(一二)次男亮君(一〇)長女燕子さん(八)三男襄君(六)ハンブルグ總領事安集雲氏夫人等合計三十八名の滿洲國關係外交官家族が避難して來たが呂宜文夫人呂文英さんは語る

(八月)二十四日避難命令が出たので身の廻りのもの五六個を！ラックに詰めて館員家族一同汽車でハンブルグに着きました、ハンブルグに降りて見て自動車がないのには全く困りました、未だ歸朝するとは思つて居りませんでしたが愈々歸らねばならぬと聞かされました船中は皆樣の御親切で何不自由なく子供は船が嬉しくて跳ね廻る有樣でした、併しニューヨークに着くまでは緊張した心持ちでした

又參事官夫人江原淸子さんは語る

八月二十四日の晚十一時頃主人が歸つて來て愈々避難すると聞かされましたので二十五日一日で身の廻りのものを取纏め二十六日汽車でハンブルグに向ひましたがドイツのお金は通用せぬのでイギリスの金をそれもほんの當座の分を有つて歸りました汽車は一杯でしたがその中には幸ひベルリンの日本人の殆んどが乘込みました

(避難)のベルリンの心算でしたが又歸れると思つて居た處イギリスの宣戰布告で日本に歸ることになり十月四日正午ニューヨークに着き危險を避けてアイスランドの方を迴り航海二晚と云ふ有樣で夜はベツトの下に救命胴着を置きその時は本當に悲壯な氣持でした、避難當時のベルリンは早くもバタや珈琲も切符制でそれも皆非常に買の惡いもので特に果實は非常に少く林檎等は日本ではとても食べられさうもない小さくしなびて黑くなつたものがとても高く、それさへマーケットに女中が買出に行つて品切れの時が隨分あると云ふ狀態でした珈琲なども一週間に四分の一ポンドしか手に入らず、皆珈琲に飢えてゐる有樣です、外交官には特別寬大であつたのですが、この情ですから市民は非常な不自由さです、中學生が修學旅行をして避難勸告を受け急いでベルリンに歸還し、私達が先にハンブルグに向つた後を追つて來ましたがこれらの方からベルリンの話を聞くと廿七日には食料品その他一切切符制となり町には通行人が殆んどなかつたさうです、防空壕とか種々の戰爭準備は

(全然)市民の氣付かぬうちに出來上つてゐたのでその方面は私達が見て今は戰爭だと氣づかぬ程でした

なほ滿洲國外交官關係卅八名は駐日滿洲國大使館から出迎への池田理事官、文理事官、滿木屬官、米川委任官試補に出迎へられ直ちに上京、呂夫人は帝國ホテル、ほか滿系外交官家族は小石川の留日學生館に向つた

柔道昇段審査會

大滿洲帝國武道會新京支部柔道部委員會では廿一日午後零時半より市公署第一會議室に於て昇段審査會を開くことになつたが昇段申請希望者は廿一日正午までに昇段推薦書即ち先輩又は高段者、新京支部柔道の推薦狀と現在までの經歷を記入の上市公署武道會新京支部宛申込むことになつてゐる、なほ記入に記載洩れのある場合は審査をなさゞる由である

ボール販賣價格追加

多の訪れにボールのシーズンは去つてしまつたが、政府で曩に決定した諸ボールの販賣價格に次いで今回遲ればせに左の如く追加、これが國內販賣價格を決定した

▽軟式野球ボール

一、少年ラツキー(卸賣一打に付五圓八錢、小賣一箇に付五十五錢)

二、神宮ボール(卸賣一打に付五圓八錢、小賣一箇に付五十五錢)

三、少年神宮ボール(卸賣一打に付四圓二十五錢、小賣一箇二付四十六錢)

四、厚生省型ボール(卸賣一打に付六圓、小賣一箇に付六十五錢)

五、大衆ボール(卸賣一打に付六圓、小賣一箇に付六十五錢)

六、硬式庭球ボール(一打八圓五十八錢、小賣一箇に付九十三錢)

全滿體操大會 新京選手決る

廿二日大連に於て擧行される全滿選手權大會に出場する新京代表選手は山並兼武(新京商業)、近藤貞(興業銀行)の兩氏と決定し廿一日新京を出發するが山並氏は神宮大會にも參加するので右大連大會終了後日本に赴く

輝やく皇紀二千六百年
奉祝國民歌定る
あゝ、一億の胸は鳴る

輝かしい皇紀二千六百年を迎へて全國民が心から唱和する「奉祝國民歌」は曩に紀元二千六百年奉祝會並びに日本放送協會で募集、海外居留民、戰線にある將兵、白衣の勇士達からも應募し、總數一萬八千餘にのぼつたが、この程審査を終り左の通り當選者並びに當選歌を發表した、なほ作曲は一般から募集決定を待つて本年末から全國主要都市で發表會を開催、全國民唱和の中に光輝ある紀元二千六百年を迎へる筈である

當選者 增田光生(東京)

△歌 詞

一、金鵄輝く日本の
榮ある光り身に受けて
今こそ祝ふこの朝
紀元は二千六百年
あゝ一億の胸は鳴る

二、歡喜溢るゝこの土を
確つかと我等踏みしめて
遙かに仰ぐ大詔
紀元は二千六百年
あゝ肇國の雲靑し

三、荒ぶ世界にたゞ一つ
ゆるがぬ御代に生育し
感激は淸き火と燃えて
紀元は二千六百年
あゝ報國の血は勇む

四、潮豐けき海原に
櫻と富士の影織りて
世紀の文化またあらた
紀元は二千六百年
あゝ燦爛のこの國威

五、正義凜たる旗のもと
明朗あじあ打立てむ
力と意氣を示せいま
紀元は二千六百年
あゝ彌榮の陽は昇る

放送プロも奉祝
放送協會の特別計畫

輝く皇紀二千六百年を迎へんとするに當つて、日本放送協會では、我比類なき國體の精華を顯揚し、國民精神の作興に資するべく、種々特別の放送計畫を硏究中であつた所、今回その大體が決定したのでたゞちにその具體的準備を進めることゝなつた、その要項は次の通りである

▽一、紀元二千六百年記念式典並に各行事の實況中繼　伊勢皇大神宮、大和橿原神宮等を始め全國的に行はれる祝典並に行事は、その都度全國各放送局を動員して實況中繼

▽二、「各地神宮巡り」及び「聖蹟並に重要史蹟巡り」　昭和十五年度一ヶ年間並に毎日曜、祭日の早朝、二千六百年に最も由緒深い各地神社並に聖蹟を巡り、權威ある歷史家乃至文學者等による現地講演或は報告講演を行ふ

▽三、「紀元二千六百年記念の夕」　紀元節當日は勿論、毎月一回特に意義ある日を選定し「講演國史劇、音樂を以て「紀元二千六百年の夕」を特輯、國史劇の脚本は文壇の各權威者にそれ〴〵委囑

▽四、國史及び國文講座の開講　一ヶ年に亘つて早朝講座の時間に、毎週月、水、金には日本國史講座を、又火、木、土には、同講座と相應じて、各時代々々の國文講演朗讀を放送

▽五、「朝の修養」　特に各週の第一日にあたる月曜日を選び、建國鴻業の聖旨を奉戴し、國體明徵を徹底せしめる修養講話を放送

▽六、兒童の爲の國史劇　毎月一回、意義ある日を選び「子供の時間」を行ふ

▽七、邦樂組曲　箏曲、常磐津、淸元、長唄等の日本旋律を現代化、作詞作曲とも斯界の權威者に委囑し、更に之等を一聯の組曲として放送

▽八、交響曲紀元二千六百年　我が國體を讃へ、八紘一宇の大精神を强調し、興亞の盟主たる日本に生れ、この盛時に逢ひたる感激を、合唱と管絃樂を以つて構成

▽九、紀元二千六百年記念作品募集　以上特に放送計畫と併行して、日本放送協會では、懸賞金一萬五千圓を以て、左の如く記念作品の特別募集を行ふ

1 管絃樂曲(興亞樂曲)交響組曲、序曲、行進曲 2 吹奏樂曲 3 童謠及び日本小國民唱歌 國民歌謠、作詞、作曲

庭球の華
混合ダブルス

◇……秋はスポーツの季節—男女色とり〴〵の混合ダブルスの庭球試合がこんな組合せであつたならば……

佐伯秀男 霧立のぼる —(笠原恒彦 黒田記代)

この取組男女ともに現役にして兩組とも婦人が主に頑張ります、由來混合ダブルスはその組の呼吸が合ふと云ふ事が最も大切な事で、その點この兩者何れが優るとも云へぬ番組ながらお記代さんの猛烈なサーヴを鼻で受けるといふ霧立孃のファインプレー等あつて、佐伯霧立組の勝

淺香新八郎 森靜子 —(河津濟三郎 高津愛子)

これは又ベテラン同士の對戰、しかも同じ會社ながら京都對大泉といふ非常に興味あるところ互に秘術をつくし、デュース又デュースと繰り返すこと數セット

森女史球歷の古さを示すヴオレーに哀れ河津高津組惜敗す尙河津氏は試合後の感想に「近頃大泉の傾向に不滿で試合當日に辭表を出したり等しまして……」とあつた同情すべき試合

見明凡太郎 村田知榮子 —(藤原釜足 澤村貞子)

新進の藤原澤村組よく善戰せしも、老練見明村田組の防禦陣鐵壁の如く、澤村夫人の試合中に叱咤する聲に怯えて釜足氏にエラー多く、見明村田組の勝は藤原澤村組呼び聲高かつたゞけに番狂はせ

◇……次はエキジビジョン・マッチ二つ—

佐分利信 黒木しのぶ —(上原謙 小櫻葉子)

瓦に相手の長所短所を知り合つた仲なれば、奇策も巧を奏せず兩者交互にロップを上げて唯さへ日の短い秋の早や黄昏の迫るまで、誠に和氣靄々たるところを見せれば

守田勘彌 水谷八重子 —(市川段四郎 高杉早苗)

この試合は既に夕闇も濃く守田水谷組素早く一セットをリードすれば此處にて中止となる、なほ市川高杉組も試合繼續せばすぐ一セットは取り返し得る筈であつた

全滿洲庭球軍 日本遠征記(一)
全山梨軍と試合
交驩の意義に燃ゆる心

出發間際まで苦しみぬいた日本遠征も體育聯盟や新京事務局の御厚意と星野長官、韓經濟部大臣、新京特別市長、副市長等の絶大な支援と五日間幹部の理解ある御援助によつて成立した事は永久に忘れることの出來ないものがある、玆に日本各地轉戰の模樣を報告申上げて感謝の一端に代へ、同時に監督として責任の一部でも果せるならこの上もなき幸である(昭和十四年十月五日)監督加藤金保

戰時態勢下兩國を代表しての極めて嚴肅なる意味に於て日滿親善交歡宴が開かれたのであつた、席上、宮田會長を中心とする「庭球百歲會」の話も出たり、大島氏から全日本軟式庭球現狀に就て詳細なる說明もあり、主客歡を盡して最も有意義に午後九時過ぎ閉會した

八月廿日午後十時三十分京城を出發した、全滿洲軟式庭球軍は豫定の如く廿二日午後四時東京驛頭に安着した、これより先全東京軍は宮田會長(貴族院議員)始め大島理事正親理事、小槻總監督、それに兵庫よりわざ〳〵三島君が出迎へに來て呉れて、汽車や船に疲れた身體も至れり盡せりの歡待にツイ元氣百倍して先づ一行は其の足で宮城を遙拜し、續いて明治神宮及び靖國神社を拜し、了つて芝の伊勢屋旅館に旅裝を解いたが、其の夜は私は勿論選手の双肩にかゝる任務の重大さと、幾久しき懸案が全うされて夢も現に眠れなかつた

×　×

明けて二十三日は非公式ではあつたが、全山梨軍よりの申込により東京新宿から汽車に乘つて約三時間半、甲府に至り同日午後一時三十分から甲府女學校のコートで試合した、全滿洲軍はコートになれてゐない點と、乘物續きで未だ疲れが休まつてゐない等の惡條件の爲善鬪よく努めたもの、日沒になつたので兩軍共一組を殘してドロンゲームに終つたのは甚だ殘念の至りであつた、惟へば全山梨軍がかくも盛大な歡迎陣を張つてくれたのは、當日夜市長の歡迎宴席上でも述べてゐた如く日本對新興滿洲國に取つての第一回の國際的(勿論庭球の立場から見て)交歡競技でもあり、併せて兩國は此のテケツトを通じて親善の度を强化したいと言ふ意味を旺んに力說してゐたが、吾等滿洲軍としても京城を出發する際不肖監督の立場から選手一同に對し『吾等一行渡日の目的は單なるコート上に於ける勝負ばかりではなく、心を練り義を厚うし以て星野總務長官始め韓經濟部大臣、新京特別市長等の託されたるメツセージの內容に沓つて應へん』旨を述べたる如く全山梨對全滿洲軍との間に既に此の氣持がピッタリ合致して、言はれぬ嬉しさが胸一杯に迫つて來た

×　×

明けて廿四日朝全山梨軍代表の盛大な見送りを受け、遙か東南方に世界無比なる富士の秀峰を眺めつゝ午後一時三十分新宿驛に着いた、午後二時から合同練習のため日比谷公園內コートで約二時間半を練習し、午後六時から東京軟式庭球會長貴族院議員宮田光雄氏の招宴に臨み玆に初めて全東京軍と全滿洲軍との間に

×　×

二十五日、着京後一兩日間は船にあるが如くふら〳〵した氣持も、今日となつてはスツカリ回復して初秋の東京は實に快爽そのものである、約束によつて朝早くから聯盟本部の大島理事始め役員二、三名に伴はれて駐日滿洲國大使館外務省、文部省或は東京市役所に賴母木市長を訪問し、新京特別市長より託されたるメツセージを手交したが、偶々往年の賴母木桂吉翁士を偲びつゝ話は政局の機微を縫ふて政友の分裂問題へと廻轉する、「マダ老ひたりとは言へこれでも國のためなら」と堅く口を結ぶあたり元氣潑剌たるものがある、其足で、星野長官からのメツセージを渡すべく厚生省に當時の廣瀨大臣を尋ねると、前日からの約束で時間をたがはず待ちあぐんでゐられる所へ、ヨウコソと秘書に案內されて大臣室に通され、未だ四十有五、六とも覺しき若き廣瀨さんの倂かも庭球談をもの三十分程拜聽する、廣瀨さんは仲々の通人で全東京との對戰には僕が出て開會の挨拶をすると、ニタリ笑つた所をカメラに撮り別れを告げた、後で大島理事に廣瀨さんのことを尋ねると、テニスは毎日の如くされてゐるとのことだ、次は韓大臣よりのメッセージを携へて下村大日本體育協會長を尋ねた、下村會長は目下新京で催されてゐる日、滿、華交歡競技へ出席とあつて、代理を通じて來京の旨を話して退場した、それから東京朝日に山田運動部長を尋ねると、何時も變らず元氣タップリ「君の名前が昨日の新聞に出てゐたので」と喜んで呉れる、東日では一年三百六十有五日を通じて洋服を着たことがないと言ふ變りもの相馬基君を尋ねた、これも矢張り「君が來ることを前から知つてゐた」と言つて晝食をしながら昔話に華を咲かせる、同盟では村田篤君に逢つたが、編輯で多忙だから夜間旅館で逢ふことにして別れた、何でも田中前體聯主事には大變面倒を見てもらつたやうで恐縮してゐた、殘された社は國民、讀賣、報知等であつたが、明日(廿六日)の全日本學生聯盟軍との試合も迫つてゐるのと、我軍の練習時間のためこれ位にして再び日比谷コートで全東京軍と仲良くコート一面を挽して練習を始める、其夜午後六時から全學聯の招待宴に臨む、談偶々昭和十三年の學聯滿洲遠征談に及び、主客歡を盡して退場した

開拓青年に寄生虫が多い
一寸困った話です

北滿各地における滿洲開拓青年義勇隊員の寄生虫調査のため去る十日新京出發、孫呉、大額、嫩江の三大訓練所を初め伊拉哈、青山の各訓練所を巡廻中であつた國立技術廳硏究官淺田順一博士及び大野硏究士はこのほど歸京したが、調査の結果次の如き今後の開拓民入植上大なき參考資料たるべき數字が各方面に齎らされ注目をひいてゐる(數字は何れも百分率による)

	蛔虫	鞭虫	十二指腸虫
孫呉	三〇・一〇	一・四六	一・〇〇
大額	六・二一	三六・六四	二・九六
嫩江	三三・〇〇	二六・七〇	二・三〇
伊拉哈	一・五四	三三・六〇	一・〇〇
青山	〇・八〇	三九・〇〇	元・〇〇

尙この相當憂慮すべき狀況につき淺田博士は語る

斯樣に各地における成績の違ふのは出身縣の寄生虫驅除に對する衞生施設の差が現れてゐるのだと思ふ、伊拉哈、青山兩地の隊員に蛔虫の少いのは內原訓練所において充分驅除を行つたゝめであるなどその一例だ、滿系間においては十二指腸患者が非常に少くこの點は一昨年新京滿系小學校十八校兒童六千三百廿七名について調査した結果が蛔虫八〇・一パーセントであつたのに一致してゐる、この成績に基き今後は滿拓を督勵してどし〳〵驅除劑を開拓地へ送付しこれら青年義勇隊員の寄生虫絕滅を期する豫定だ

いまから用心 風邪の豫防は
榮養の改善から

寒 氣が嚴しくなると、身體全體の抵抗力が弱くなり、始終風邪をひいたり寒さを感じたりしますが、細菌或は寒さに對する抵抗力を十分にするためには、身體の內部で過不足なく榮養が攝取されて、又生理的に各臟器の狀態が完全でなければなりません、特に面白いのは、今迄不完全な食事をしてゐた澤山の人達に完全な食事を攝取させると、呼吸器、消化器の

疾 患が減つてくる事實が、榮養改善の實際の結果から證明されたことです、そこで多は外氣に身體の熱を奪はれることが多いのでその奪はれる熱を補ふやうに食物を攝らねばなりませんから、カロリーを澤山含んでゐる食品であることゝ、また體溫を出來るだけ外氣に奪はれないために、皮下に脂肪を多くすることが大切です、此の意味から云つて、カロリーの素になる(脂肪肉類、その他含水炭素)芋類、果實、豆類を比較的多くそして、皮下脂肪、澱粉類を多く食べる關係から、ヴイタミンA(人參、トマト、ホーレン草、小松菜等色の强い野菜)及びヴイタミンB(精、胚芽、豆類)をなるべく餘計攝取しなければなりません、特にヴイタミンAは、呼吸器疾患に適當であるばかりでなく抵抗力を强める效果もあります、

又 身體の內部で體溫の發生を盛にするために少量のカラシ、コショウ等の特殊な働きを持つてゐる刺戟物を混合して用ひる事も考へねばなりませんが、併し胃酸過多等の消化器の病氣を持つた人には禁物です、要するに七分搗米を主食とした完全食を食べると同時に脂肪、含水炭素に注意することが大切です。

けふの番組
【M・T・O・Y 新京放送局】二十日(金曜日)

―朝―

七、〇〇(新京)建國體操
七、一八(大連)入港船のお知らせ
七、二〇(新京)ニュース
七、三〇(大連)初等滿洲語講座
七、五五(大連)朝の音樂　幸勉
(レコード)管絃樂　ベルリン國立歌劇場管絃樂團
一、歌劇「オペラの踊り」序曲　ホイベルガー作曲　二、歌劇「バグダットの理髮師」序曲　コルネリウス作曲
八、三〇(新京)氣象通報
八、五〇(新京)建國體操
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(大・新)經濟市況
一〇、〇五(奉天)幼兒の時間　童謠物語(一)　陽の花コドモ會
一〇、二〇(大連)母の時間　こどもの健康建設　小林德次郎
一〇、四五(大連)家庭メモ
一〇、五〇(大連)料理獻立
一一、三五(大連)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

―晝―

〇、〇一(新京)晝の演藝　ミッキーマウスとシリーシンホニー(レコード)—一、ミッキーマウスのグランドオペラ　二、ミッキーマウスの芝居見物　三、子守唄　四、こほろぎと蟻　五、ミッキーのお引越　六、ロビンは誰が殺したか?
〇、三〇(東・新)ニュース
一、〇〇(大・新)經濟市況
二、一〇(大連)經濟市況
三、三〇(東・新)經濟市況
四、〇〇(東・新)ニュース
(新京)氣象通報
四、四〇(大・新)經濟市況
五、二〇(新京)ニュース
「餅語」(新京)演藝

―夜―

六、〇〇(東京)子供の時間(理科童謠アルバム)電氣の生立　青芝港二・作　白薔薇合唱團　伴奏　東京放送管絃樂團　作曲・編曲並指揮　吉原規
六、二〇(東京)コドモの新聞
六、二五(大連)趣味講演(遼東の傳說)岩山に育つもの　喜田瀧次郎
七、〇〇(東・新)ニュース
七、〇〇(新京)告知事項・今晩の番組
七、三〇(新京)特別講演　職能登錄制に就いて(一)　國務院企畫處　稲田晴夫
七、四〇(新京)講演　石炭節約講座「配給の立場から」　小川逸郎
八、〇〇(東京)ヴァイオリン・ヴィオラと管絃樂
八、四〇(東京)浪花節「七生報國」　東家三樂
九、一〇(東京)時事解說
九、三九(東京)時報・ニュース・ニュース解說・氣象通報
(新京)報・告知事項・明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(蒙語)

秋夜の音樂 八時 東京
ヴァイオリン、ヴィオラと管絃樂 協奏交響曲

變ホ長調(K三六四) モーツアルト作曲
第一樂章 アレグロ・マエストーソ
第二樂章 アンダンテ
第三樂章 ロンド・プレスト

【演奏者の顏觸れ】ヴァイオリン 安藤幸子 ヴィオラ アウグスト・ユンケル 管絃樂 日本放送交響樂團 指揮 ヘルムート・フェルマー

協奏交響曲即ちサンフォニー・コンセルタントとは複數の獨奏部をもつ交響曲、換言すれば複協奏曲的交響曲であつてソナタ形式によるコンセルトグロッソと言ふ譯である、そのかみのバロック風コンセルト・グロッソは一七五〇年頃には姿を消して、ソナタ形式をもつソロ・コンセルトがこれに代つて現はれた、そして此の獨奏部が複數の場合、即ち昔のコンセルテイーノをもつ場合、それをサンフォニー・コンセルタントと呼んだ、モーツアルトがヴァイオリンとヴィオラのためのサンフォニー・コンセルタントを書いたのは一七七九年か八十年頃と推定され、それはヴァイオリン・ヴィオラの獨奏部とオーボ・ホルン各二及び二部に分れたヴィオラパートを有する絃樂合奏程度の小編成であるが、所謂モーツァルト風の素朴な甘美ではなく、優雅の中にも嚴肅な風格、壯麗な情趣をたゝへた佳品である。

學藝

戲曲　日出（五十一）

曹禺作　大内隆雄譯

しかし觀衆は一つの鳩籠を見得るだけである——それは長方形の汚い部屋だ。部屋の正面には左右二つの戸がある、みな庭に通じてゐる、それぞれ布の簾が掛つてゐる、それも隨分とボロである。戸の内側には幔帳が壁と直角になつた針金から掛つてゐる、引つ張るとこの部屋が二つに分れる客が多く双方が知らねば、それぞれ別々に茶を飲み話をすることが出來る、そこで一個の可憐な動物は同時に二た組の客の相手をするわけである、こんな風になつてゐるので餘り歩かないで濟む、電燈やストーヴも節約出來る。今その布幔は——上には黄色い斑があり下の方は犬の牙みたいに裂けてゐる——壁の方に押し寄せてある。部屋には客がある部屋の右方には一つ木のベッドが置いてある、それには古い蒲團は疊んである、ベッドに近い壁には猪八戒の招待、正月、肥つた女の蓮の花採り、煙草會社の美人畫などが貼つてある、戸の所には「福」といふ紅い字が逆に貼つてある、福が到（倒）來したといふ意味である。ベッドの上には古びた化粧台があり、その上に古びた洗面器と腕が載せてある。ベッドの下には幾つもの鞋が置いてある。ベッドの前には幾つもの椅子がある。左方の壁によせて四角な卓その片側に椅子、上には不揃ひな茶道具、煙草の罐がある。右方にはすつかり黑く汚れた對聯がある左方のは「貌比西施重出世」右方のは「容似貂蟬又臨凡」といふ、その間に人の顔が映ると鼻がへこみ眼が飛び出して見える大鏡がある、その上には「千金一笑」と書いたのが掛つてゐるそれから一、二枚の帆布が椅子にいゝ加減に掛けてある左右みな窓がある、それは小さな赤い布で蔽ふてあるその窓の下にはストーヴがあり、もう火が消えさうになつてゐる。卓の傍には煤球爐がある、煤球は四角な卓の下に置いてある、左方の戸の傍には一つの鏡があり「花翠喜」といふ三字をはめ込んである、それはこの部屋の女の名前なのであらう。

幕が開くと、翠喜が左の戸の所に立つてゐる、簾を揭げて外を見る。——翠喜は三十歳前後であらう、もう散々ひどい目に遭つて廢物に近くなつてゐる。彼女は綺麗ではない。些か肥つてゐる、眼のあたりにはひどくは胭脂を擦つてゐる、頭髮は肩に掛つてゐる、前額には故意にこさへた紫痕があり、花瓣の様になつてゐる、その二つは人を脅かすくらゐ大きい、彼女は赤味がゝつた服を着てゐる、その上からショールを掛けてゐる、布鞋と綿入れの褲子、黑に緞子の帶をしてゐる。彼女は右手に煙草を持つて居り、時々灯を落す、それから時々指で自分の頭髮を掻く、彼女は誰かを呼んでゐるらしい。外の聲は一團となつて喧しい。

甲の聲　（鋭く）蜜柑にバナナ、栗！

乙の聲　（元氣なく）蓄音器はいかゞ？

丙の聲　（小さな娘、抑揚をつけて胡弓を引き）唄はせてよ！

男女の笑ひ聲、罵る聲……

續"書齋への隨想"

——「思出づる人々の印象」——

（四）　吉田直志

はるかなる潮音

「亞細亞民族青年大會」に就て一言する。こゝにはフィリッピン、シャム、安南、印度、支那、滿洲、蒙古の代表者だ。日本を除いて、これらの代表は皆若かつた。殊に安南の代表の如きは廿三才だつた。これらの諸君の口より奔しるものは、日本を盟主としての大同亞細亞の團結だつた。歐米の制約より脫せしめよ、我等の頼む日本よ！われらをこの桎梏より助けよ、我等の頼む日本よ！

これを聞いて大亞細亞への熱を湧かせぬは日本人でなし亞細亞人でなしを禁じ得なかつた。末次信正大將も紅潮してゐた

まことに、はるか彼方より寄せる潮の音は、他にあらず新東亞建設である

大膽なる初會見

又或るとき民政黨本部幹事長室に於て談ずるはこれ前拓相、當時民政黨幹事長永井柳太郎、聽くはこれ一箇の風來坊に如かぬ筆者だ、早大當時のストライキ、同志社大學のそれ、昔をしのびつゝ語るはこれ一箇青年永井柳太郎に如かぬでないか、私はこゝぞと膝をすゝめたのである、何を語つたか、何もいはなかつた（雄辯は萬金に勝る）然し（沈默は雄辯なり）の二言をである、然し流石に永井さんは天下に謳はれる丈けあると感じた、この人も廣く讀書をしてゐる、例へその「天才論」がロンブロソーによると推察されるにせよ、醫學にも知識あるは看取された、況んや文藝に於てをや

永井柳太郎さんを拉記したら鶴見祐輔さんを記すべきだが、月並になるから賀川豐彦さんをもつて來やう、賀川さんとは後にも前にも一度きりだ、既記の三會堂で賀川さんの講演會があつた、私は講演はきくことは出來なかつた、何氣なく講演者室へ入つた、大膽不敵なと讀者は思はれるかもしれぬ、賀川氏にとつて私は初見である、賀川氏は世界の人々と會つてゐる、私も日本の人々と會つてゐる、臆する處はない、「やあ賀川さん」と手を出したら、賀川さんも手を出して握手した、そしてロングチエアに腰掛けお互に肩に手を廻して、それから名乘りをあげたのである、賀川さんは、アメリカのカレッヂの話をしてくれた

時代への良感覺

政治家の書齋を書かうと思つたが脫線してしまつた。おまけに面倒臭くなつた。

北京で新民會指導部長繆斌さんの自宅を訪問した、新民會指導部長室で繆さんに氣焔を吐いてから數日後だつたらうか、自宅に遊びに來いとのことで、應接間には澤山の掛軸があつた

大津何といふ名か忘れたが關東局大津總長と總長室で對談した、この人はまことに辞けた人だつた、これは極く最近だ、政界雜誌、新聞社並にそれらの人物への知識は、詳しく知つておられたのは寧なるべしか、御手洗辰雄から馬場恒吾へ、馬場恒吾より津久井龍雄への趨勢、時代への良き感覺を持つておられる

坐禪をなして

秋の雨は蕭々としてゐる、咽ぶが如く、訴へるが如し、窓を展けよといひたいが、韻々として涯しなきものは、いつしか妖氣さへ帶びてくる、秋は窓を閉づべきである、汝の書齋に精氣を蓄へ、室一杯に罩めるべきである、然らば警へ密房にて、たゞ一人あるとも、悲しみの涙は、喜びの涙となるべしぞ

私はじつと坐禪を組む、この組合せたる兩方の手は、たつた一つになつてゐるが、而もこゝにはあらゆるものが集つた象徵である、これを放てば千手觀音の如くもあらうか

爾時無盡意菩薩、即從座起偏袒右肩、合掌向佛而作是言、世尊觀世音菩薩、以何因緣名觀世音、佛告無盡意菩薩、善男子若有無量百千萬億、衆生受諸苦惱、聞是觀世音菩薩、一心稱名觀世音菩薩、即時觀其音聲皆得解脫（九月十四日）

近代短歌

爆撃機　青

近代短歌はつねに清麗な感覺と叡智の波止場でなければならない。素直な斷面のある炸裂するたくましい意欲でなければならない。理智と考察による思索の母胎から生れでたものでなければならない。そして過去の茫莫とした航海を思ふのでなく、未來へのすがすがしい海洋のたくましい仄かな匂ひと、染みある性格をもつものでなければならない。新しい文學實證への追求——そして尊い短歌の傳統を汚す處の無反省な作品——我々は今既に立派な美しい革命をなしとげてゐる近代短歌に開展されつゝある素因をつかまなければならないのである。社會的試練と標求とを藝術的になしとげることは我々階級の幸福ともいふべきか。（西谷正夫）

秋の青空

——死と文學と哲學と——

遠藤美津男

空は青い。僕の反省に表れる姿に於いて、それは冷え冷えと澄み透つてゐる。常に繰り返される「死か？」はいまこゝに靜かに、ただ寂寞だけが大きい。

死の秩序が動く、僕はものを思ふ、こころもこの空に似たいそう澄んでゐると、この空に似て？ 寧ろ僕は云ひたいのだ、僕の死もこの世の秘密に似て始めと終りがないと常に僕のこころのなかに在る沙漠。そこに住んでゐる乏しい小鳥共。彼等は羽搏きながら啼くが、啼きながら僕とともに血を啗くが、僕はいまそれらに無關心だ。けれども僕は寂しくないとはいはない。僕に於いて絕えることもないこの暗示、それは、死は、たましひは何處へ續くか。

une certain confusion regne encore·mais encore un peu de temps et tout seclaircira nous verrions enfin apparaitre le miracle dune societe animale une qarfaite et definitive fourmiliere

（le crise de lesprit）

すべての營みはまこと自らを傷けることに終る、やがて秋も終るであらう。僕はいつも文字のなかにたくさんのバベルの塔を建ててゐる、塔はしかく、その完成と共に必ず崩壞して、たやすく僕を傷けてゐる、けれどもなほ、僕は何を殘し、何を殘さうとしてゐるのか？

軈て、冬。こゝろのなかに繰り返される冬。——このやうに凡ての現實の極北の冬は暗く、冷やかに、しづかに僕にはみえる。すべての業は、滿ち溢れる所得と全き缺乏との中間に表れ、またその中間に消えて了ふものにすぎないのであらうか？、絕えるともないこゝろへの離反、これのみが僕に於ける倫理であり、眞の自由ではなからうか？ 僕も亦屢々自答する、そんなにもそんなにも明瞭を欲しなかつたならばいつそう明瞭であつたらうに。僕は絕えず自分のことでしか苦しみはしなかつた。環境に就いて、戀愛に就いて、母性愛に就いて苦しむにしても——歸するところは自分のこころに就いて苦しむことでしかないのだ。この世で一人の女がいまその呼吸を停止しようとしてゐる瞬間、僕がその女の手を執りながら殘酷にも考へたことはこのことだつた 僕はその女を愛する前に僕自身の死を愛したのではなからうか？——この自問は爾來僕の心の中で繰り返されてゐる

on commence par tuer·on finit par guerir

——これは必ずしも手術の圭刀を手にした醫師の決意をかたる言葉ではない、僕がすぐれた文學の作品に目をとほすとき、すぐ感ずるのはこの言葉なのだ。

僕に自分自身の行爲だけしかしない女が僕の世界に一人ゐる。それはこころの秘密だ。僕のたつた一つの秘密だ。

思ふに足ることは既に思ひつくされてゐる、ただ僕のなすべきことはそれを、待つことである。僕も亦それを知つてゐる。——けれども、僕の刃のこぼれた一ふりの劍には僕の血が流れてゐる、その血に觸れて以來、僕の精神史は新たに始つた。僕が血の書狀と一緒にあつた時間は各瞬間が死であつた。云ひ換れば、僕は絕えず僕の現實の極點に立つてゐた。

これを書くことは、胸が苦しい。とても苦しい。（bene vixit qui bene latuit）これはデカルトの信條だつた秋空青く、もう暫らくの間「よく隱るるもののみよく生く」生きなければならぬ。

學藝消息

△滿系青年作家擡頭　建國以來茲に八年、あらゆる方面に目覺しき躍進ぶりを示してゐる滿洲國にあつて、獨り文藝運動のみが未だ搖籃期の域を脫せず、他の文化に比し立ち遲れの感が深いが、本年二月第一回民生部大臣文藝賞を「福昭創業記」の作者穆儒丐氏（奉天）が獲得以來一部青年層に力强い創作慾の充滿を見新文藝運動が澎湃として擡頭して來た、建國當初創刊されながら幾許もなく廢刊された雜誌「明々」の流れを汲む古丁、小松、辛嘉、王則、外文氏らの青年作家グループを中心に去る六月「藝文志」の創刊となり、新進作家の登龍門として全滿文藝愛好者の矚憬の的となりつゝある、その傾向は更に本月中に奉天において「文選」創刊の氣運を生むなど同人雜誌時代を現出せんとしてゐる

一方滿人青年間の日本作品滿譯運動は「土と兵隊」「麥と兵隊」の滿譯となり「侏儒の言葉」（芥川龍之介）「心」（夏目漱石）「同志の人々」（山本有三）などの滿譯本が相ついで上梓され歡迎されてゐるが、滿系作家の短篇集大内隆雄譯「原野」が東京で出版されたことは周知の如くで文學の日滿交驩も漸くその緒についた感がある、なほ最近の注目すべき作品には小說「蒲公英」（小松）長詩「成吉思汗」（百餘）女流戲曲「金絲龍」（君顧）小說（平砂）古丁）などがある。

開業圖

今井一郎君、漫畫滿洲の社長になつて仲々の張り切り振り▼「なあに來た繪描きをつかまへてそれこんなのを描け、五十錢やるぞ、今後はこんなのだ、一圓やるぞつてな風にやるんぢや」と仰言る▼まさに國策漫畫提供會社は誕生した、我と思はんものは押しかけたり、押しかけたり…

書架

青

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△心（夏目漱石著・古丁譯）漱石の「心」の滿譯である、譯者の勞を多としたい、斯うしたものが讀まれることを喜びたい、譯者小記は感銘される（新京、滿日文化協會、一圓二角）

△モダン滿洲（十月號）和家治夫「第二夫人」丸山海介「風俗月評」山本實彦「漫筆」土島滿明「川柳人間教」御垣衛士「文藝時評」—「ネオン街評判記」奧特派員「火を吐く草原」等、讀み物を主に大衆的に編輯されてゐる（新京滿明街二一八、モダン滿洲社、四十錢）

△能率の滿洲（十月號）金子利八郎「銀行簿記抹殺理由書」堀亮三「石炭節約と燃燒能率の問題について」—その他能率についての諸記事あり（新京永昌路五〇二、滿洲能率協會、五十錢）

△電業（十月號）吉田豐彦「國防と國民の器械的智識」「國都の將來」「新京郊外を探る」「新京電氣界の今昔」等新京についての記事が多い、文藝欄些か低調（電業社員會、三十錢）

△正金週報（四〇號）（横濱正金銀行）

時計
森洋行

ねる前の…
ライオン歯磨
ムシ歯にならぬ
健康御希望の方は
ライオン歯磨へ！
ライオン歯磨は其獨特の殺菌力により、睡眠中繁殖する口中の細菌を完全に驅逐し、歯と歯齦の抵抗力を强化し、凡ゆる口腔疾患を豫防します

靖國神社大祭に
遺族東上

靖國神社大祭に參列の光榮に浴した遺族は續々東上して靖國神社遺族受付では忙殺されてゐる

人間科學の研究に 厚生科學院建設
生活の中心を探る

曩に政府に於ては大陸科學院を創設、物的資源開發の科學的研究並びに指導を行つてゐるが、民生部では更にこの大陸科學院に對し人體を研究對象とする厚生科學院を創設すべく目下準備計畫を進めてゐる、厚生科學院は人間科學の研究殿堂とも言ふべきもので開拓國策に因る入植者に對しては勿論の事所謂國內居住の五族に對する民族的嗜好研究を初めとし衣食住全般に亘り簡易生活を營む事の出來る樣現地即應の科學的見地に立つての指導方針の確立並に體育指導方針の樹立が目的とされてゐる、右に就き富來保健體育科長は語る

大陸科學院が物的方面を狙つたに對し厚生科學院は人體を目標とし臺所のA・B・Cを振り出しに體育保健に迄進めて行き眞に國內に於て最も適正なる衣食住を營み得る樣廣範圍な指導研究の一大機關たらしめたいこの意味から厚生指導員の養成の如きも附屬せしめようとも考へてゐる、尙非常に大規模なものであるため來年一杯を準備期間とし八年度からは是非實現したいと思つてゐる

ニッポン臺北着

【台北國通】世界一周機ニッポン號は十九日午後五時四十二分臺北飛行場に安着、故國に第一歩を印した

前回の好績に鑑み 全聯處理 幹事會を開催
議案の完全な解決へ

康德六年度協和會全國聯合協議會は十日間に亘り時局下國民生活の全部門を官民一途の實をあげて協議し全聯史上劃期的な成功をとげ終了したが眞の民意暢達は唯單に協議するばかりでなく協議採決された議案の內容を實行することにあり、本年度全聯開催前中央本部では前年度全聯の實踐處理幹事會を開催非常なる好成績をあげ得たので本年度採決全議案もこの政府、協和會との幹事會に於て徹底的に處理し、代表にかけられた全國民の期待に副ふ樣正しく力强く實踐して行くこととなつた本年度全聯處理幹事會は十一月中旬頃より第一回幹事會を開き、明年度全聯開催期迄間斷なく續行し全議案の完全なる解決を期してゐる、なほ康德五年度全聯處理幹事會は六年度全聯開催前に一ヶ月に亘り實行され、試驗的ながらも非常に有效な成績をあげ得たので、本年度處理幹事會は愈よ軌道にのつてその機能を發揮すべく豫想され大いに期待されてゐる

統制外石炭に御注意 指定商から買へ

石炭需要期に入つた昨今市內石炭商に於て半瓩を七、八圓の石炭を十四、五圓に販賣しつゝある事實を探知して當局ではかねて調査中であつたがその結果この石炭は統制外の石炭と判明した、即ち統制外の石炭は新京に三萬瓩を移入されてゐるが、これ等はいづれも運賃等の關係から配給組合から配給する統制炭よりぐつと高價で一瓩十七圓から二十七圓にまで販賣され、暴利ではないと立證された、各家庭に於て石炭購入の際は指定販賣人並に統制炭の有無を調査するやう希望されてゐる

●けふ郵政局時間短縮● 新京中央郵政局並に市內各郵政局は二十日靖國神社臨時大祭にあたり窓口事務は正午まで、一般郵便事務は午後三時まで取扱ふことになつた

有力な被疑者逮捕
南關橋下ボロ買殺し

既報、市內南關橋下伊通河畔の古物商劉長和（四八）殺害事件發生とゝもに所轄長通路署では本廳司法科と連絡同署に捜査本部を置き强力〃第一第二班〃と協力刑事總動員で兇器菜刀ならびに棍棒を賴りに捜査、被害者劉の交友關係を辿つたところ十九日午前六時頃に到り劉が殺害される前日正午過ぎかねて顔見知りの東二道街四九野菜行商范德山（一八）が遊びに來て夕方一緒に何事か話合ひながら出掛けて行つたまゝ兩人共行方不明となつた旨の報告が刑事より捜査本部に入り、俄然色めき立つた本部では直ちに外出時の相棒范德山を最有力殺人被疑者として捜査陣を縮少范の自宅に張込中、同午前十一時頃人を避けつゝ自宅に飛び込んだ范を本部に連行、峻烈に取調べたが頑として口を割らず現行を否認し續けてゐるが范の着した衣類、靴にはおびたゞしい血が附着してをり、劉と外出してから家に戻るまでの行動が追及の度に前後喰ひ違つて言語曖昧を極め、又僅か十六、七時間の間にこれ程にと思はれる位憔悴してゐる點などから推察して古物商殺し犯人として十中八、九まで間違ひなく、今はたゞ范の自白を待つのみとなつたが、非常に昂奮してゐるのでそのまゝ留置し平靜に歸るを待つて取調べることゝなつた

待望のラグビー 全新京對全滿鐵
廿二日奉天で擧行

全新京對全滿鐵拔式足球戰は來る廿二日午後三時より奉天滿鐵球場に於て擧行されるがこれが出場の新京代表は銓衡の結果監督に小西氏外選手十八名を左の如く決定した

FW＝金、青木、太田、久永、小倉、横島、榎木、宮原、小幡、高垣
HB＝淺見、田中、顯原
TB＝出濱、鈴木、佐澤、永見、伏見
FB＝平尾

この試合は事實上南北を代表するもので日滿對抗戰解消後に於ける最大な試合で頗る

興味を 持たれてゐる、第一回は全新京軍が壓倒的に優勝したが、今回は兩軍共に相當選手に異動があり實力は互角と見られる、先づFWより見れば滿鐵は松村、藩を中心にスクラムに忠實な選手を集めてゐるようであるが、今迄のように一本調子であると新京の老巧さには前線を破られる心配がある、新京は依然としてベテラン級の青木、久永、横島が中心となりそれに若手の金、太田、榎木、高垣等の元氣者を擁し比較的オープン戰を得意とする選手を配置してゐるが、對東大戰に示したやうな相手に引摺り込まれる場合があればオープンに於ける活動力を封ぜられる惧れがある、兩軍の

重量を 比べて考へるならば多少滿鐵に分があるように思はれる、HB關は兩軍とも大差なくFWの活躍如何によつて左右されるのではないか、新京の新人スクラムハーフ田中の忠實なピッシングアウトが優勢なるバックスをどの程度生かし得るか見物である、全滿一と稱された日置なき後の滿鐵はスタンドオフに誰を補充するか、バック活躍の鍵を握るポジションだけに相當慎重に考へてゐることであらうTB陣を窺ふと滿鐵は依然として何を中心に編成されるであらうが、全新京はセンタースリークオーター・プレーで東都ラグビー界で鳴らした新人佐澤、鈴木を擁し本格的に敵陣をかき廻すことゝ思はれるが、全試合を通じこの兩人によつてモダーン・ラグビーの動きを示すものとして期待されると共に興味ある點であらう、以上述べた如く

個々に これを觀察すると幾分新京に有利に考へられるけれど、傳統を誇る滿鐵が昨年の轍を踏まないように準備してゐるからこの一戰は全滿拔式足球ファンの血を湧かすことであらう

神宮大會選手
必勝を胸に秘め 廿三日遠征の途へ

愈々迫つた第十回明治神宮體育大會に關東州代表として榮譽ある重責を荷つて出場する三百五十名の代表選手は廿三日大連出帆の日滿定期船扶桑丸で日本へ向ふが、この內新京よりも指導員齋辰雄氏以下女子三浦喜代子孃、籠球山並彙武君、卓球男子山本五郎君同女子大塚梅子孃、軟式庭球には曾つて日本遠征で活躍した嚴宰の兩君、一般女子府縣對抗に出場する監督の吉浦泰寛監督以下飯島高女生徒の十名、計十八名が選ばれ必勝を胸に秘めてそれぞれ廿一、廿二の兩日新京を出發壯途へ上ることゝなつた

まだ寒くなります
國都の冬愈よ本格的

十八日初雪をみた國都では十九日の最低溫度は實に零下四度五分に達し多の尖兵の進軍はいよ〳〵急を告げ、午後四時からは再び霏々として小雪が降り始めた、この寒さこそは今多最初の最低氣溫で昨年この日最低氣溫二度六分に較べて今後の寒さが偲ばれる、中央氣象臺の觀測では

七七四ミリ程度の高氣壓が蒙古から北支に擴つてゐるが、黑河方面の低氣壓が漸次國外に去るのに對しホロンバイル附近の低氣壓が北東に進行してゐるため不連續線を生じこの雪を見たものです、しかしこの雪は十九日夜中にやみ廿日は西の風稍々强く天氣は回復しますが寒さは一段と嚴しくなりませうと低溫生活の建前から煖房なしで頑張る國都市民にあまり嬉しくない觀測である

滿洲國の長足な進歩 米人記者の驚嘆

事變下日本の眞相を視察しアメリカの對日認識是正のため來朝したセントルイス市スター・アンド・タイムス紙記者ヘリーテイ・ブランディッヂ氏は、日本各地を視察のゝち夫人同伴十九日午前十一時四十二分着列車で來京したが語る

着いたばかりの自分にも滿洲國の長足の進歩には驚かされた、それは舊市街と新市街がよく物語つてゐる、阿片禁止に非常に適した施設と思つた、アメリカの禁酒はあゝした施設がなかつたゝめ忽ち失敗した、日本では戰時下と思へぬ平靜さと國民の裕福なのには驚かされた日本に居れば日支事變も歐洲戰爭も忘れてしまふ樣だ、アメリカの對日感情も現在幾分好轉してゐるが今後一層好くなるだらう、通商條約の廢棄もアメリカ自身がすでに後悔してゐるのではないかと思ふ、歸國したら眞の日滿兩國を紹介し日米親善に盡したいと思つてゐる、なほ氏は廿一日午後五時廿分發「あじあ」で哈爾濱に向ひ同市を視察の上歸國の途につく豫定である

開拓義勇軍の項目
高小職業指導科目に加ふ 拓務、文部省から通牒

【東京國通】高等小學校卒業者を一人でも多く大陸開拓の重要國策に參加せしむべく今回高等小學校兒童職業指導科目中に滿洲開拓青少年義勇軍の一項を加へて青少年にこれが趣旨を徹底せしむることになり、十九日拓務省安井拓務局長、文部省小山普通學務局長は連名で小學校卒業者の職業指導に關する件の通牒を各府縣宛發した、一方既に實施中の高等小學校兒童に關する拓植訓練は義勇軍の訓練編成に非常な效果を見んとしてをり義勇軍の送り出しが單なる開拓民的方策に止らず日滿一體不可分の實質的强化策として今や國策の重要なる部面を占める折柄、拓務、文部兩省今回の目論見は青少年義勇軍發展の上に非常な貢獻をなすものとして注目される

縣長訪日團歸京

日本各地の地方行政視察のため去月十九日新京發赴日した奉天省遼陽縣長黃式叙氏ら縣旗長團十九名は十九日午前十一時廿分新京驛着列車で歸來午後二時から國務院講堂で視察報告會を開いた後解散した

醉漢病院を襲ふ

十八日午後八時三十分頃新京驛前派出所員が三笠町一ノ二六濱田醫院玄關で大言壯語して同院の器物を破壞せんとする暴漢を目擊、制止しやうとしたが勝手に暴れるのを何故止めると喰つてかゝり手に負へぬので派出所に同行した、右は大經路滿洲勞工協會本部晉田進三郎（二八）＝假名＝で、濱田醫院に暴れ込む前同院横路上に客待ちしてゐた洋車を横倒しに轉がして破壞、仰天する車夫を尻目に醫院へ闖入したもので本署に檢束した

●加藤專賣總局副局長● 駐日滿洲帝國大使館參事官から經濟部專賣總局副局長に榮轉着任した加藤八郎氏は十九日挨拶に來社

濱江省、哈市が 軍用機献金

濱江省、哈爾濱市商工公會、協和會では協力して軍用機濱江省號、ハルビン市號を献納すべく全省、市民に國軍に感謝すべき赤誠を求めたところ、この程二十萬八千六百六十八圓十七錢に達したので省公署修事務官が代表して十九日來京、午後三時于治安部大臣を訪問愛國の獻金を手交したが治安部當局ではこの銃後國民の赤誠に大いに感激してゐる【寫眞は代表が于大臣に手交する所】

內地の高文 二百十名採用

【東京國通】滿洲高等文官要員採用試驗は十八日前野人事處長ならびに試驗委員等嚴重な銓衡の結果、豫定の採用人員を減少し司法行政、技術官（農林、土木、獸醫）を合計二百十名（概數）を左の如く決定した

司法行政百卅名＝大學卒業者八十五名、專門學校卒業者四十五名、內日本人九十名滿人四十名

技術官八十名＝大學卒業者卅五名、專門學校卒業者四十五名、內日本人五十五名、滿人廿五人

なほ技術官使用制限令による特殊技術官は別に採用、この採用人員は滿洲國、滿鐵、滿業その各工業界に配屬されるもので目下上京中の總務廳人事處員ならびに技術員協會東京事務所との間で內務省ならび厚生省と協議折衝中であるなほ今回の高文採用試驗においては採用豫定數に滿たなかつたが引續き銓衡決定される筈である

北海道から 優良農民移植
＝五十子總務處長歸滿談＝

【釜山國通】對滿開拓民入植計畫の進捗に伴ひ、滿洲國では大農經營の先進地北海道より優良農民を移植すべくこれが實施調査及び入植候補選定のため約一ヶ月にわたり北海道に出張中であつた產業部開拓總局五十子總務處長は十九日朝關釜連絡船で釜山上陸、のぞみで歸滿したが左の如く語る

日本農民の二十ヶ年百萬戶滿洲移植計畫に伴ひ滿洲國ではこれら開拓民の模範的指導に當るべく農民を大營農の先進地北海道より十四五兩年度において二百戶を移植し、各地優良開拓地に一戶位宛て分散配置し大農經營の指導に當らせることゝなつた、北海道では明治二年頃よりノールウエーその他先進農業國指導の下に約七十年の辛苦を經て今日のやうな立派なものとなつたので、彼の地の豐富な經驗を大陸で生かして貰ふわけである

哈爾濱驛頭に 博文公の像

伊藤博文公の卅周忌にあたる來る廿六日、東京では春畝會により東京會館に同會總裁金子堅太郎伯、理事長小松綠氏を始め近衞文麿公等朝野の名士約五十名相會して伊藤公を偲ぶ會を開くことゝなつてゐるが、公遭難の地哈爾濱驛では遭難地點に新たに大理石の壇を設け舊哈爾濱居留民會に保存されてゐた公の胸像を永久に安置することゝなり在哈名士多數參列の下に同日盛大なる除幕式を擧行することとなつた

三井物產 新築移轉

三井物產株式會社新京支店ではかねて大同大街二一〇號地に假事務所建築中のところ竣工、二十一日同所へ移轉する代表電話番號二一六三一一番である

協和會聯協科の占部春太郎君、先日貰つたばかりの花嫁さんに早くもお目出度い徴候が現れたので大事をとり故鄕に歸し目下獨身中▼おかげで全聯十日間食堂の飯を食はされ、いふことが振つてる「君、食堂のめしの不味いことが始めて解つたよ」▼「女房は對外的には無能力者ではあるが、家庭的には人格を認めるよ」この愛妻訓は彼が畏敬してゐる先輩坂田指導科長から結婚のとき贈られたものだ

けふの天氣　北東の風稍強く曇後晴寒くなる
きのふの氣溫　最高 二度三　最低 零下四度五

滿洲房產株式會社々員 大道正司儀去ル拾月拾五日午後八時二十二分東安ニテ死去仕リ候段乍略儀紙上ヲ以テ御通知申上候
追而告別式ハ二十日午後二時ヨリ西本願寺別院ニ於テ佛式ヲ以テ相營ミ申候
滿洲房產株式會社

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎 作　中島喜美 畫

（百八十二）

魔都上海（1）

『あたし、ねえ、上陸してみたいんだけど……』

弓子が、ベッドに腰をおろして、坐つてゐる伸子にいつた。

伸子はもう、大分恢く立居も自由になつてゐる。

『マア、なんてこと……』

伸子は、眼をくりくりつとさせて驚いてしまつた。

『死にゝゆくやうなもんですわ。よく行つて。命からがらつと(に)駆け込むくらゐのもんですわ。』

『でも、』

と弓子は、ぐつと唾を嚥んだ。

から云ふとき、弓子の、もの好きいつぱいの向ふ見ずは兼ねて加へてアマゾン的な勇をも伴なふのであるから、いま戰火に、紅蓮の焔をあげてゐる大上海を見ては、まつしぐらに飛び込みたくなつてくる。

『ディタさんも、今朝がた出かけたやうだつたけど、無事に戻つて來るわ。』

『いゝえ、あの方は外國人ですわ』

伸子も、なかば呆れ顔であつたけど……。

『日本の女が、見付けられたらどんな目に逢ふか知れませんわ、あの方ならそりや眼色もちがふし、無事にもどれませうけれど……』

『心配性ね、あんたは、』

あの出來事以來、弓子は伸子に一度もいやとはいつたことがない。

親愛と、友情でかたく結ばれ、いかに、父十八郎はあゝでもこの娘だけは別であつた

伸子さん、弓子さん――

それが、伸や、お嬢さまにかはつてしまつた。

『あんたのやうな純日本的な顔ぢやなし、あたくしは、どうにか胡麻化させそうだと思ふわ。』

『いけません。』

伸子は、叱るやうにきつく云ふ。

『あなたは、支那人といふのを、知らないからですわ。』

『さうねえ、いはゞ、あんたは、此處育ちなんだから、どこかに、土地の色に染んだとこもあるでせうし……』

弓子は、洒々として、聴きながすやうであつた。

『でも、その顔ぢや、一度で駄目よ。あたくしが、メーキアップをしてペラペラつとやれば、きつとスペインあたりに間違えるでせうしね。』

『……』

『でも、あの音を聴くと、ちよつと首がすくむわねえ。』

砲彈が、ときどき近くに落ちるらしく、ぐんと腹にこたえる。

『それ、御覽なさい。』

伸子は、ホツとしたやうにわらつた。

『カセイ・ホテルへ爆弾を落してみたり、いま上海ぢや、安全の地つてありませんわ。それよりも、支那人つてやつが、いちばんいけないのです。』

『分つた、大分り……』

弓子は、ポンと床を蹴つて男のやうに立ちあがつた。

『もう、むづからないから、安心してね。あたくし、今夜ねむいから、あしたの朝早くくるわ。』

しかし弓子は、灯火に誘はれる蛾のそれのやうに、渦巻く冒險心に抗し得なくなつてしまつた。

（事によつたら、篤志看護婦にでもなつて、歸らなくてもいゝ。）

さうして、日本女性の熱血とスリル好きの性質とが、弓子をそつと陸へのぼせてしまつたのである。

列車發着表

◎大連方面行

行先	時刻
△大連行	前二時三十分
△奉天行	六時二十分
△釜山行	八時十分
△奉天行	八時卅五分
△大連行	九時三十分
△營口行	十時三十分
△四平街行	十一時卅分
△奉天行	後一時五分
△大連行	一時四十分
△大連行	二時三十分
△大連行	三時廿五分
△四平街行	四時五十分
△釜山行	六時五十分
△四平街行	七時四十分
△大連行	九時四十分
△大連行	十一時五分
△奉天行	十一時卅分

◎哈爾濱方面行

行先	時刻
△三棵樹行	前三時四十二分
△窰門行	五時五十五分
△三棵樹行	六時三十分
△三棵樹行	八時十五分
△三棵樹行	九時
△三棵樹行	後十二時五十分
△三棵樹行	三時十五分
△哈爾濱行	五時三十分
△窰門行	七時十分
△三棵樹行	十時五十分
△三棵樹行	十二時五十分

◎圖們方面行

行先	時刻
△吉林行	前七時十五分
△羅津行	八時四十分
△圖們行	十時四十分
△吉林行	後一時五十五分
△敦化行	三時卅五分
△吉林行	九時十分
△淸津行	十時五分

◎白城子方面行

行先	時刻
△白城子行	前八時廿五分
△白城子行	十時五十五分
△前郭旗行	後五時三十分

◎大連方面より

發地	時刻
△大連發	前三時卅二分
△大連發	六時十八分
△奉天發	七時廿七分
△大連發	八時
△四平街發	八時四十六分
△四平街發	九時卅九分
△四平街發	十時三十分
△釜山發	十一時四十二分
△奉天發	後十二時三十分
△大連發	三時
△大連發	四時二十分
△大連發	五時二十分
△營口發	六時四十八分
△大連發	八時十五分
△奉天發	九時十六分
△釜山發	九時卅五分
△奉天發	十一時卅分

◎哈爾濱方面より

發地	時刻
△窰門發	前零時十五分
△濱江發	二時二十分
△三棵樹發	六時五十二分
△窰門發	十時五十七分
△三棵樹發	後十二時卅八分
△哈爾濱發	一時三十分
△三棵樹發	三時十分
△濱北發	六時卅九分
△濱江發	八時十六分
△三棵樹發	九時二十分
△濱江發	十時四十五分

◎圖們方面より

發地	時刻
△淸津發	前八時
△吉林發	十一時五十分
△敦化發	後二時十五分
△吉林發	四時四十五分
△圖們發	七時三十分
△羅津發	九時廿五分
△吉林發	十一時十五分

◎白城子方面より

發地	時刻
△前郭旗發	十二時一分
△白城子發	六時卅二分
△白城子發	九時五分

新京日日新聞
夕刊
十月二十一日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五十錢　特別一行貳圓五十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用）③三二〇五（營業局專用）③三二〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　永越内之介

獨領侵入の佛軍を激戰後完全に擊攘

獨軍發表　西部作戰第一回終了

【ベルリン十九日發國通】ドイツ軍司令部は十九日西部戰線戰況につき左の如く發表した
十八日短時間であるが激烈な戰鬪の後ドイツ領侵入のフランス軍は完全にドイツ領より驅逐された、かくてフランス軍の完全撤退をもつて西部作戰の第一回は終了した

【佛軍司令部發表】

【パリ十九日發國通】フランス軍司令部は十九日次の如く發表した＝西部戰線において十八日夜中は雨天にして靜穩であつた、しかして敵軍歩兵部隊は各地においてわが軍のため擊退された

土、英佛に軍事使節

共同防衞軍事會談開始

【アンカラ十九日發國通】ソ聯、トルコ交渉の決裂に伴ひトルコ今後の動向が注目されるに至つたがトルコ政府は英佛兩國との軍事會談を開始するに決定した模樣で、フランス軍事特使ウエイガン將軍は十八日、またヴエイブエル中將を團長とする英國軍事使節團は十九日早朝相ついでアンカラに到着し、英佛トルコ三國共同防衞軍事會談が十九日午前から開始されることになつた、なほ英佛兩國軍事使節は來る二十一日まで三日間アンカラに滯在の豫定である

牽制工作乘出し

獨、トルコの動向重視

【ベルリン十九日發國通】ヒトラー總統はモスクワにおけるソ聯、トルコ會談の決裂に鑑み直ちにフオン・パーペン駐トルコ大使を急遽ベルリンに招致し報告を聽取してゐるが、特にアンカラにおける英佛トルコ條約の調印ならびに英佛トルコ三國軍事會談の開始を重視しこれが對策として筋ではイタリーの中立の結果トルコも中立を維持するとの觀測のもとに特にバルカン外交を進めてゐたゝめトルコが中立を脱し英佛側に參戰することにでもなればあらたに方針を樹立し對處する必要があるわけで、ソ聯と協力するは勿論イタリーの出方を打診して三者共同して相當强力なトルコ牽制工作に乘出す意向とみられる

獨逸飛行士

英の捕虜となる

【ロンドン十九日發國通】英國情報省は十九日午前ドイツの空軍飛行士二名が捕虜となつた旨左の如く公表した
十九日午前ドイツ空軍飛行士二名が携帶用ゴムボートでイングランドのマーシー灣ホイツトビー海岸に漂着した、之等ドイツ飛行士は去る十七日北海に於て擊墜されたドイツ爆擊機の乘組員四名中の生存者であるが他の二名は戰死したものである、之等ドイツ飛行士は

新疆內蒙放棄せよ

ソ聯、爆彈的要求

蔣狼狽、朱德をモスクワ急派

【漢口十九日發國通】當地に達した外人筋よりの信ずべき情報によればソ聯は最近における重慶政府の弱勢につけ込み對支援助の代償として
一、新疆省及び內蒙古をソ聯勢力圏內とし同地區への駐兵權を認めよ
二、西北地區を中國共產黨の共產主義實驗區となすことを容認せよ
の二項よりなる爆彈的要求をなし若し重慶政府が拒否するときはソ聯は實力をもつて右要求を貫徹するとの强硬態度を示した、これに對し蔣介石は一時的にソ聯の鋭鋒を緩和すべく朱德をモスクワに特派し商議に當らしめることになつたといはれる

敵の補給路を遮斷

海鷲、廣西敵據點連爆

【上海十九日發國通】艦隊報道部十月十九日午後四時發表＝南支方面において補給路遮斷の目的をもつて連日に亙り廣西省々境附近の各軍需據點を空襲し多大の戰果を收めた海軍航空隊の有力部隊は十七日更に同攻擊を續行寧明、憑祥、平而關、龍州、上金附近の軍需品倉庫群、軍用貨物自動車および小型舟艇群に對し果敢なる銃爆擊を加へこれを爆破燒消せしめ全機無事歸還せり

錦江北岸掃蕩

【南昌十九日發國通】竹內、黑田、寺尾、市川各精鋭部隊は十九日拂曉來祥符觀（南昌西南方四十キロ）附近錦江北岸一帶の敵約六百に對して猛烈なる銃砲火を浴せこれを捕捉殲滅的打擊を與へ南方に潰亂せしめ、敵遺棄死體百五十一、捕虜若干、武器多數を鹵獲した

主和派勢力增大

國共反目激化す

靑幇領袖杜月笙の歸來談

【南京十九日發國通】重慶政府內における主和派の勢力が增大するに從ひ國共の相剋反目は愈々激化の狀態を呈してゐるが、去る十三日重慶から香港に歸來した靑幇の領袖杜月笙が某支那人に洩らした談は、現下の重慶政府部內の複雜切迫せる樣を如實に示したものとして注目を惹いてゐる
卽ち杜月笙の談によれば主和派の勢力旺盛となるにつれ國共の反目は熾烈化するばかりであるが面白い現象としては共產派に關する新聞雜誌がソ聯の親獨政策轉換に對し非難攻擊を浴せると共に、英米佛の民主々義國家群に對しても筆を揃へて惡罵を加へてゐる事である、重慶政府部內要人中には歐洲情勢の觀測不能から日支事變解決が緊急の重大事であるとの强硬論者が益々多く、例の陳友仁が提唱した歐洲參戰論等は全く默殺の形である、尙注目すべきは中央軍や共產軍方面に和平熱が擡頭しつゝある事で、殊に財政部では最も和平を强調してゐる、今日まで主戰論者の巨頭として抗戰徹底を主張して來た陳誠が和平へ軟弱化の傾向を示して來た事は重慶政府へ一大動搖を與へその成行きは非常な注目が拂はれてゐる、今や重慶政府部內要人は和平へ絶大な關心を寄せてゐる

その日く

ドイツ猛攻す、たゞしこれくらゐの戰果で今後の豫斷は出來まい
□
さう容易く漁夫の利なんてものも得られるものぢやなからうし
□
何處まで續く中立ぞ、伊太利やソ聯へはそんな問ひを掛けねばなるまい
□
砲聲轟くところ、職雲たなびくところ、歐洲あげて混沌の中へ！
□
靑葉のあるのに雪が降る、いかにも大陸的情景の季節の推移ではある

交通部大臣赴奉

李交通部大臣並びに草場大佐は滿鐵一萬キロ祝賀式參列のため二十日午前九時三十分新京發列車で奉天に向つた

人事往來

新京

▲山口喬氏（官吏）十九日來京ヤマトホテル
▲柴田清吾氏（會社員）同
▲田村洋三氏（同）同
▲八木弘氏（同）同
▲矢田茂氏（同）同
▲山岡信夫氏（同）同
▲淸水三三氏（敎授）同
▲木村正道氏（會社員）同
▲深川攝磨氏（日本SKF興業會社）國都ホテル
▲野呂喜代松氏（商業）同
▲原田耕作氏（朝鮮商工會社）同
▲草加朝雄氏（會社員）同
▲田井信行氏（千代田生命奉天支部長）同
▲本多兵一氏（商業）同
▲益司史郎氏（會社員）同
▲屋代謙氏（同）同
▲望月實氏（同）大都ホテル
▲望月世義氏（同）同
▲森永太平氏（同）同
▲有賀和氏（同）同
▲加藤秀一氏（同）同
▲中里千春氏（官吏）同
▲須永浩夫氏（會社員）同
▲鈴木眞氏（同）同
▲大川忠吾氏（商業）同
▲高井冬二氏（官吏）同
▲西村庄平氏（會社員）同
▲金子武磨（電氣化學工業會社重役）滿蒙ホテル
▲吉田昇氏（材木商）同
▲山田英夫氏（同）同
▲中村昇藏氏（會社員）同
▲小林光氏（同）同
▲兼松詩慶氏（大阪商船大連支店長）同
▲山口重次氏（會社員）同
▲中野知氏（大倉組）三國ホテル
▲吉川義博氏（滿航社員）同
▲伊藤早子郎氏（官吏）同
▲大谷孝吉氏（滿洲ロール會社）同
▲多良三千三氏（會社員）同
▲須藤朝一氏（商業）同
▲芦田謙吾氏（會社員）同
▲西河健吉氏（同）同
▲山賀太重氏（麻紡織會社）同
▲松本直輔氏（國際運輸）同

國立大學に於ける授業料全廢に就て

滿洲國の教育と方針

教育司長　田村敏雄

わが滿洲國の教育は、一言にしてつくせば、建國の教育であります。即ち既に出來上つてゐる國家に於て、その次の時代を擔當すべき、所謂第二の國民を養成すると言ふよりも、眞に建國精神を體得した國民をつくることによつて歴史上に類例のない獨創國家たる滿洲國を創り上げることが、滿洲國の教育の根本目的なのであります。さてこの「建國教育」の理念は教育の各段階——初等・中等・高等——を通ずる大方針でありますが、これは分けて說明すれば二つの方面となります。

× ×

その第一は、教育の內容・指導精神の方面であつて、それは、「建國精神を體得した實生活に役に立つ人間を育成する」と言ふことであります。即ち單に抽象的な「精神」とか「道義」とか、各種の理論をわきまへた人間・空理・空論の徒でないことは勿論のこと、また單に技術的知識とか、實際的技能を具備した機械の如き人間でもなく、建國理想を理解して、この理想實現の爲に、工夫し、創作し、勤勞すると言ふ人間、つまり國民としての魂のある働き手をつくると言ふのが、滿洲國教育の根本指導精神であります。世の中には、滿洲國の教育が、實學を旨とし、勤勞を重んじ、從つて所謂實習の時間が多く、理論とか、外國語とかの時間が、比較的少いと言ふことに對して、不滿を抱く人々もあるやうでありますが、それは眞の生活の理想を知らず、まことの建國の目的を解しないで、單に從來の學校のやり方とか、外國の教育の狀況とかに比べて、漠然と「隣家の花は赤い」式に不平を言つてゐるものだと思ひます。

申すまでもなく滿洲國は、日本國と共に、ほんとうに人間の理想を實現し、達成しようとして建國されたもので、所謂道義國家でありますが、眞の道義は、決して一部の人々が理窟をならべてゐて、他の多くの人々の勤勞の結果に寄生すると言ふやうな生活を許さぬので、全部の人、全國民が、直接或は間接に、國民全體の生活をよくする爲に勤勞し、直接間接にあらゆる生產力を增大し、富を增殖し、蓄積することによつて、ほんとうの道義の實踐・發揚が出來るのであります。

× ×

次に「建國教育」の第二の特色は、教育の方法、乃至は制度と申しますか、要するに學校の施設・經營があくまで國家的であり、自由主義的でないと言ふことであります。この方針は色々の方面に表はれてゐますが、特に申し上げたいのは、滿洲國に於ては、教育を單に、その內容目的に於て國民の育成を企圖するに止まらず、教育の實際そのものを、國家の必要、國家の各方面の需要に適應せしめようとしてゐることであります。端的に申せば、自由主義的に誰でも金と時間と健康とさへが許せば、皆學校へ行くと言ふのではなくて、國家の必要とする人材を國家の需要する量に從つて養成する、謂はゞ「計畫教育」とでも申すべき方針をとりつゝあると言ふことであります。さうしてこの「計畫教育」の計畫性は高等專門の教育、即ち大學以上に於て最も明確となるので、中等教育に於ては、やゝ緩和され、初等教育に於ては、もはやかゝる意味に於ける計畫性と言ふものはないので、全學齡兒童に對して、基本的國民教育を施す——少くとも先づ就學希望者は全部收容教育すると言ふことを當面の目標としてゐるのであります。

これを今一度言ひ直せば、初等教育は、國民皆教育を理想としてゐるものであり、中等教育は、中堅國民として、やゝ國家計畫に即應して、各方面の需要に應ずる爲各種の技術と人格とを併せ育成し、高等教育に於ては、出來得る限り國家の人事計畫——事務系統・技術系統を通じ政府・民間の需要を併せて、その必要とする人材を、質量ともに計畫的に教育し供給しようと言ふのが、滿洲國の方針なのであります。從つて、わが國では、商業專門の學校の卒業生を所謂賣りつけると言ふやうなことはない立前であります。自由主義的に、あたかも商品生產の如く學生を卒業させて、賣らんかなと言ふ如き現象は起らないし、又起さないやうにしようと言ふのが、此の國の教育の基礎方針の一つであります。

× ×

先頃發表しました如く、政府は明年度より國立大學に於ける授業料を全廢することにしましたが、その主たる理由は、實に以上に述べましたやうな我が國の教育方針に基くので、つまり大學の教育は、國家に有要なる人材を國家の必要に應じて育成するのであつて、決して自由主義的國家に於ける如く、個人の立身榮達の爲に教育を、對價を支拂つて買取る機關ではない。大學の學生は、眞に國家の指導者として、ほんとうに奉公的精神に徹しなければならぬと言ふ指導精神を、一層明瞭にする爲に斷行したのであります。

序ながら一言しておきたいのは、大學の授業料廢止も結構だが、それなら初等・中等學校の授業料廢止から先に行ふべきではないか、それを、大學の授業料だけ廢止するのは、順序を顚倒してゐるのではないかとの說に就てゞあります。これは一應尤な考へでありますが、先づ大學の授業料を先きに廢したのは、第一に、先きに述べました如く、國家教育の計畫性が、大學に於て最も明白强度であり、或る部門では、實に給費による教育すら行つてゐる狀態であること。第二に、國家の指導者たるべき最高教育を受ける者にこそ、特に奉公の思想、指導者的精神を强く徹せしめることが、必要であり、且つそれが可能であること。第三、現在大學の中には、授業料をとらぬのみか、給費すら行つてゐるものもあるのですが、その國家の中堅指導者と言ふ點から考へ、國家的重要性から申せば、今日授業料をとつてゐる大學との間に、決して甲乙の差別をつけるべきでないと言ふこと。第四、財政的見地からしても、失ふところ少く、得るところ大なることですが、要は我が國教育の根本方針が、前述の如きものであり、それを實踐して行く順序として、先づ授業料廢止を斷行した次第であります。即ち我が國は、從來授業料をとつてゐない新京・奉天の兩鑛工技術院・ハルピン學院・師道高等學校の外、奉天農業大學・ハルピン工業大學・新京法政大學・新京醫大等をも、等しく國家有要の人材を國家の目的に從つて養成すると言ふ立前を明白にし、徹底する目的をもつて、授業料の全廢をしたわけであります。

目下各大學とも學生の募集中でありますが、父兄・學生諸氏は、この我が國の教育方針を理解されて、建國の聖業に參劃する爲、各々其の適する學校を志願せられることを望みます。尚、「民族協和は共學から」との標語のもとに各大學とも漸次各民族の共學とする方針なることをつけ加へておきます。即ち滿洲國の大學は民族共學を一つの方針としてゐるので、各民族の靑年諸君は、同じ學窓に學び、語り、生活することによつて建國の理想を共通の目標として、互に切磋琢磨し、實社會に出てから、ほんとうの民族協和を實踐し、實現するやうにといふ事を念願してゐるものであります。（十月十九日夜「國民の時間」放送原稿）

畏し聖上御親拜
けふ靖國神社大祭第三日

【東京國通】忠烈護國の華と散つた英靈を祀る臨時大祭の第三日二十日、畏くも天皇陛下には靖國神社に行幸、一萬三百七十九柱の新祭神をはじめ、幾多祭神を御親拜あらせられ、秩父宮殿下を始め奉り各皇族殿下御參列、畑陸相、吉田海相をはじめ陸海諸將星以下二萬餘の遺族も參列し、聖儀下四度目の盛儀である、この日陛下には御軍裝を召され大元帥副章をはじめ各種勳章を御佩用、百武侍從長御陪乘、松平宮相、蓮沼侍從武官長以下高野行幸主務官以下供奉申上げ、略式鹵簿にて午前十時宮城御出門、第一鳥居から中門に至る遺族席前では特に御徐行、遺族の奉拜を受けさせられた、中門内拜殿前に御車を止めさせられて御修祓の御のち、本殿に御進、玉串を執らせられて親しく御拜あらせられた、此の時午前十時十五分、宮中に在す皇后陛下し御遙拜遊ばされたと承る、大宮御所の皇太后陛下にも皆この時刻こそ一億國民は一齊に靖國神社を遙拜英靈の冥福を祈念全國は唯嚴肅の一刻であつた、かくて陛下には御拜を終へさせられて午前十時二十分神社を御發、赤心奉送する遺族に再び御會釋を賜りつゝ天機御麗はしく還幸あらせられた

遙かに英靈に感謝
忠靈塔下、嚴肅な默禱

新東亞建設の尊き人柱となつた新しき英靈一萬三百七十九柱を合祀する靖國神社臨時大祭は、廿日午前十時十五分天皇陛下の御親拜を仰ぎいとも嚴肅裡に執行された、この日滿洲國都新京に於ては日滿各機關業を休み、午前十時からは日滿各官廳、各種團體、一般市民新京神社境內に參集、嚴肅なる遙拜式を擧行し遙かに英靈に對し感謝の默禱を捧げ、午前十時十五分には關東軍司令官梅津中將以下司令部全職員、在京各部隊は白雪に淸淨された新京忠靈塔前に整列劉喨たる『國の鎭』の喇叭吹奏裡に拜禮護國の英靈に一分間の默禱を捧げた

【寫眞】忠靈塔參拜の在京部隊(上)と梅津軍司令官下は新京神社に於ける遙拜式

皇國青年教育協會視察團來滿

新興滿洲國を視察躍進する大陸の認識を得て興亞の一翼を擔當せんと皇國青年教育協會主催第一回大陸視察團一行十九名は理事長陸軍少將伊藤政之助氏引率の下に十九日早朝入港の黑龍丸にて來連した、一行は十九日旅大の見學を濟ませ大連に一泊廿日午前十時發はとで北行奉天、新京、哈爾濱、牡丹江、佳木斯、彌榮龍爪、南陽、楡城等開拓地の視察をなして朝鮮經由歸國の豫定

優秀植樹團表彰式擧行

新京特別市主催の優秀植樹團表彰式は二十日午前十一時から協和會館に於て于市長を始め各種團體多數參列の下に擧行された、先づ日滿國旗に對する敬禮、市長の訓示に續いて本年度綠化運動參加優秀團體國防婦人會首都本部外三團體に優勝旗が授與され同十二時過ぎ式を閉ぢた

低溫生活まづ〲好成績!
もう一息頑ン張れ
採煖期まであと僅か六日間
提唱の總本山 熱いお茶で激勵

護國の石炭學國で節約、首都本部提唱の低溫生活運動は全市民に徹底し、既に降雪をみ氣溫は十日に零下五度六分に低下例年ならば早や國都の空は眞黑い煤煙に掩はれ不愉快な各籠り狀態に入つてゐるところであるが、今年は工場、病院等特殊な建物を除き普通官廳、會社、民間家庭からは一筋の煙も立たず、澄み切つた初冬の空に煙突のみが寒むし〲と冷えてゐる、首都本部では夜間勤務、その他特殊の條件ある建物には特に採煖を認めてゐるが、時局を認識した市民の低溫生活は最初であるにも拘らず、先づ上々の成績だ、頑張れ市民、採煖期迄あと六日間だ、提唱の總本山協和會中央本部に皆川總務部長を訪ふと、矢張り寒さうに背をすぼめ、熱いお茶の注文をボーイに連發しながら語る

あと六日だ、氣候の變り目が人體に一番寒く感ずるのだが、それが過ぎると何でもなくなる、最初からへこたれるやうではだめだ市民に一段と頑張つて貰ひ度い

特產專管公社創立
理事長に向坊綿聯專務

特產專管公社設立(資本金三千萬圓金額政府出資二分の一拂込)に關しては十七日公社法公布について同日設立委員の任命あり續いて十八日總務廳に於いて設立委員會を開催し、定款の決定、株式割當等を決議、定款は十八日即日認可あり、創立總會準備中であつたが、愈々二十日午前十時中より新京日滿軍人會館に創立總會を開催、設立委員長の報告あり左の役員を決定正午散會したが本社は當分特產中央會內に假き直ちに業務に着手する筈である(括弧內は舊職)

理事長向坊盛一郞(綿聯專務)、副理事長劉德權(理大臣秘書)、同松島鑑(特產中央會專務)、理事尾上利治(正金頭取室檢査員)、同山地基逸(三井物產大連支店次長)、同村岡習勝(三泰商事大連支店)、同小林五郞(特產中央會理事)、同方燈恩(奉天商工公會)、同劉負初(吉林省公署民生廳長)、監事本多兵一(日淸製油專務)、同平島敏夫(滿鐵理事)、同孫〓〓(興銀常任監事)

鐵路に散る
渡滿一旗の夢

十九日午後六時七分頃下り貨物列車第三、九八一號が新京驛構內信號所(大連基點七〇一粁二五〇米)に差しかゝつた時突如列車目がけて飛込自殺を圖つた者あるを機關士平野勉二(二八)君が氣付き驛着とゝもにこの旨警護隊驛詰所に届けた、同隊より係官出張檢屍した結果、所持品、遺書なく身許不詳であるが、推定六十才位の內地人男で、垢にまみれ千切れたセルによれ〲の兵古帶を着し、古呆けた下駄を穿いてゐるのみで、一旗の夢破れて無一文となり寄邊なき老ひの身を悲しみ厭世覺悟の飛込自殺を遂げたものとみられてゐる

ニツポン帝都へ

【台北國通】世界一周機ニッポン號は二十日午前六時四十五分勇躍台北飛行場を出發帝都に向つた

協和會訪日視察團出發 協和會本部地方職員訪日視察團張立法氏以下二十八名は二十日午前八時十分新京發列車で出發した(寫眞は出發の一行)

一般市民遙拜式
肌しむ寒氣の中 熱誠神域に集ふ

護國の英靈を新たに祀る靖國神社臨時大祭の二十日午前十時五分より新京神社に於て一般市民の遙拜式が執行された、この日最底氣溫零下五度六寒氣一入肌にしむ寒さではあつたが、市公署員をはじめ新京驛員、在鄕軍人會、國防婦人會、新京醫師會その他一般市民續々と參拜その數千五百餘名定刻開式修祓に次いで植村神官より遙拜の祝詞あつて後畏しくも天皇陛下御親拜あらせらるゝ同十時十五分參列者一同英靈に一分間の默禱を捧げ莊嚴の氣神域に漲る、續いて關屋氏子總代長、辻鄕軍聯合分會長、平島滿鐵支社長、稻川新京驛長、小松氏子總代等各代表者それ〲玉串を奉奠、同十時三十分嚴肅裡に閉式した

被害者の方にも
警戒が足りない
驛根城の"惡"依然跳梁

依然として混雜する新京驛各等待合室を根城に官憲の眼を掠めて掏摸、置引きが猛威を振ひ旅客ならびに送迎の人々を恐慌せしめてゐる

▽十九日午前十一時頃大連大學町居住美仁颯(二三)さんは三等待合室に赤革トランク(衣類多數、現金二十圓在中)を置いて便所に行き戾つてトランクを何者かに掏ッ拂れてゐるのに吃驚

▽同午後二時三十分頃富士町二ノ二一料亭賀乃家抱へ藝妓福太郞こと竹部玉枝(一九)さんは友人を送つて第二ホームから驛前馬車駐車場に來るまでの間に袂に入れて置いた小型革製ハンドバッグ(現金十圓余在中)を掏られ

▽同午後六時三十分頃淸和胡同七〇六飯村峰市さん方八木周平(四二)さんは出札口で切符購入中、二ッ折財布(現金三十圓在中)を何者かに掏られ

何れも警護隊驛詰所に届け出た、同詰所では混雜する場所であることは萬々承知で小用切符買に荷物を置き放しに「さあ攫つ拂らつて下さい」と云はんばかりにして置くからとんでもない災難に見舞はれるのでこの點細心の注意が肝要であると語つてゐる

大陸の花嫁 先生來京

「大陸の花嫁」指導養成に乘出した拓務省が全國の女子青年學校、拓植團體から選拔した女子拓植滿洲視察團一行卅七名は拓務省通譯官荒基團長に引率され十九日午後七時五十二分着列車で來京した

△荒基團長談

千振を始め各開拓地に合宿して育兒養成、料理、衞生等一家の主婦たるべき立場から實地を見學しましたがよい土產が出來よろこんでゐます

尙一行は廿日は市內見學、廿一日午後一時から軍人會館に於ける開拓總局、協和會、滿拓主催の座談會に出席の後、午後十一時卅分新京驛發奉天大連、旅順を見學廿七日門司歸還の豫定である

刑餘者救濟の保護團體結成
▽……故古田參議の記念事業

滿洲國司法部では司法制度確立に多大の功績あつた前參議故古田正武氏の遺業を偲ぶ記念事業として、滿洲國行刑制度の精華とも云ふべき司法保護法の立案計畫と關聯し、司法保護事業の實行團體を作り受刑者出獄後の救濟に乘出すことゝなつた、右につき菅原司法部民事司長は語る

故古田參議の大道業を後世に傳へるためには單に銅像といふやうなあり來りの平凡なものではなく眞に社會國家を益する司法保護事業確立のやうなものが一番良いと思ふし我が國行刑政策の實現のためにもこの事業を立派に遂行することは急務であると思ふ

北辰洋行主獻金

朝日通り八一貿易商北辰洋行主安田近之助さんは二十日午前十一時頃中央通署受付を訪れ亡父長三郞さん初七日に當り供養冥福を祈るため金五百圓を恤兵獻金したしとその手續方を願ひ出た

かぜトプ〃う一番よくきく 橋本散

李少春一座が國防獻金興行

支那戲劇界の第一人者余叔岩門下の逸材として北京劇壇の明星と謳はれる李少春一座は廿日午後六時半から國泰劇場において國防獻金募集興行をなし十八番の演目「美猴王」「孫悟空」を上演、入場料は平常通り一等三圓、二等二圓、三等一圓で收入のうち實費を除く全部を獻金することゝなつた、尙二十四日には市公署協和會、弘報協會加盟各社後援下に同劇場にて貧民救恤興行をなすことゝなつてゐる

新京醫學會

新京醫學會第百四十三回例會は來る二十四日午後二時半から市立醫院講堂で開催、今回は會員の演說を行はず、滿京中の九州帝大教授醫學博士下田光造氏を招じ『モヒ中毒及精神病患者の新治療法』と題する講演を聽き今後に依る患者治療の供覽を受ける

滿洲國官史訪日報告會期變更

曩に躍進日本を視察した滿洲國地方官吏日本行政視察團の報告會は期日を二十一日午前十時に變更した

星野總務長官歸任の途へ

【東京國通】日滿支連絡協議會に出席中であつた星野滿洲國總務長官は關係方面との折衝を濟まし二十日午前六時四十分羽田發空路歸任の途に就いた

全滿軟式卓球大會

第一回全滿新人軟式卓球大會は來る廿九日午前九時より新京八島小學校において開催される主なる要項は次の如し

△出場資格 全滿軟式選手大會に入賞せしことある者、滿洲國代表選手たりしことある者、およびこれまで新人大會に於て優勝せしことある者を除く

△使用球P・A・J・P・A

△試合方法 五セット、トーナメント式

△申込方法 住所、職業明記の上民生部體育聯盟內大滿洲帝國卓球協會宛申込むこと

△表彰 入賞は第四位までとし優勝者には優勝杯を呈す

△申込期限 十月廿六日

柳家小さん一行來社

二十日と二十一日の兩夜帝都キネマで開始する東京名人會を代表して柳家小さん、柳亭芝樂、苅谷絹子の三氏は二十日挨拶に來社

金泰の藏ざらへ

市內日本橋通り百貨店金泰では二十日から二十二日まで毎日午前九時半から午後八時までの間、全店五分引で藏ざらへ大賣出しを行ふ

甘栗太郞の特價賣出し

新京銀座の甘栗太郞では二十日から二十二日まで甘栗の味いよ〱甘い特價品の大賣出しを行ふ、値は三百グラム入り一袋三十錢だと

團體往來(二十日)

△協和會本部訪日視察團 廿日午前八時十分發羅津へ

△日本旅行協會主催鮮滿支視察團 同午後五時三十分着哈爾濱より來京

△青年教育會鮮滿旅行團 同午後九時三十五分着來京

あす(廿一日)

▲滿洲國道教總會結成發會式 午後一時より於協和會館

▲麻袋配給會社會議 午後一時よりヤマトホテル

▲子供クラブ開所式 午前十時より於健全生活館

▲滿鐵殉職社員慰靈祭 午前十一時三十分於新京支社俱樂部

▲……祝賀式 午前……於西廣場

南海に棲む龍屬

小龍、一■、菊龍、千龍、若龍、メ龍、榮龍、■■、宇女龍なんて龍屬の棲んでゐた南滿、聞くところによると、天に昇つたか地に潛つたか、現在では菊龍と小龍を殘して、後は悉く新陳代謝されたさうであります、龍と名を負ふだけにいづれもよく呑んだもので、嘗て友人に電話をかけてその來るを待つ間にメ龍を聘んでビールのコップをあてがつたところが、あまりみごとに呑み干すのがおもしろく、コップを下に置く間のないやうにお酌をしてやつたところが、瞬く間に五六本を倒してしまつた、前に相當底が入つてゐたとみえ、だん／＼熟柿のやうな顔をして、フーッと虹のやうな息を吹いてるところへ、ヤア遲れちやつてすまん／＼、と云ひ乍ら入つて來た友人、すると首を擡げたメ■すまん／＼ぢやすまんですよッ、あんたの來やうが遲いからあたしやア呑まされちやつて醉つぱらつたわようイヤ醉つちやゐない、偉りながらメ龍はてんだ、オヤあんた妙な鼻してるのねえ、穴は幾つある？、なあんだいやつぱり二つかい……てなこと云ひだして始末にこまり、這々の態で逃出したことがあつた、

それも今は昔語りになつてしまつた、殘つてる小龍姐ちやん、もうこの頃は呑みませんのよと他の妓の話、果してどうか、呑まして試す機會がないのです、このひと醉ふと卓を叩いて辯じたてるので夜店のバナ、屋といふ渾名を進呈したところが、すつかり逆鱗に觸れ、今度あつたら首筋つかんで振り廻してやると云つてると聞き、おそれをなして■無沙汰すること一年あまり、近況は知らない、首筋つかんで振廻すなんて大袈裟な話のやうですが、嘗て彼女が吉野町を歩るいてるとよく知つてるお客さんが、オイ小龍、友達がそこにゐるよと聲をかけたので、あたりを見廻したが誰もゐない、ホラそこにと指すところに電信柱、癇に觸つたわよと話したのをおぼへてゐる、これはこちらから奉つた綽名では無かつた筈だつた、ことほど左樣に長大であるのに小■とはこれ如何にと云つて怒られた記憶もある名は體をあらはしてゐないがそれは兎も角としてよく呑みよく語り、賑かでおもしろい妓であるからだらう、なか／＼聘んでもあいてる時が少いらしい【これはその小龍さん】

柳家小さん一行　けふから帝キネへ

落語界の大御所柳家小さん一行の東京名人會は愈よけふから二日間に亘り帝都キネマにおいて蓋を開けるが、來滿を待へられて既に十幾年、久しい待望の裡に今回漸くその來演が實現された譯で果然前人氣は盛んである、一行の顔ぶれ及び出し物は

立體落語の柳家小三太、江戸掛合の詩家金吾、京太郎新作落語の柳家小きん、面々相談議の柳家小まん、江戸生粋音曲演藝と珍芝居の運家連中、名人會の花形男柳亭芝楽と小妻の唄と舞踊特別出演のポリドール專屬歌手斯谷絹子の歌謡曲とアコオデオン、これに柳家小さんの十八番物口演等多彩な江戸藝の豪華版、寄席氣分を味ふためには■好の機會であらう【寫眞は柳家小さん】

伊藤久男と赤坂小梅　あすから長春座

帝キネの柳家小さん、■■の寶塚ショウ等俄然實演陣は賑やかな競演となつたが、これにも一つコロムビア專屬歌手伊藤久男、赤坂小梅の歌謠陣が長春座のアトラクションとして登場する

廿一日から三日間「歌で孫せば」「純情二重奏」「ほんとにさうなら」「白頭山節」「博多節」「■■節」等お馴染みの美聲を聞かせる

映畫は大船の大作「新女性問答」と錢形平次捕物帖「怪盜疾風組」

『黎明曙光』祟る

「疾風組」の二本立である

山ノ内組「黎明曙光」の南新京スタヂオに立てられた約二町に渉る縣城のオープンセットは撮影日數六日間の豫定で十二日正午から縣公署の表から撮影に着手したが縣公署の表だけでも馬三十頭出演者六十名それに伴ふ衣裳小物具だけ大變なもので滿映創立以來の大掛りなオープンセット撮影である。但し九月末頃から吹き始めた風に縣公署二階がゆれたり街の遠近がこわれかけたりするので、毎朝裝置係進行係は風模樣ばかり案じてゐる―これで雷が鳴りや々雷鳴風荒のだ」

滿映製作部現況

△水ケ江組「國境之花」整理中
△山之內組「黎明曙光」撮影中
△水ケ江組「煙鬼」近日完成
△高原組「小八家子」整理中
△高原組「ボクトーオーラ」整理中
△高原組「三河地方」錄音中
△新田組「聯合協議會」撮影完了
△津田組「勤勞奉仕隊」整理中
△石野組「滿洲映畫大觀」（へ水產篇）整理中
△上砂組「汽罐の焚方」整理中
△森組「治水南滿運河」撮影中
△濱田組「滿炭の社勢」整理中
△高原組「躍進電業」撮影中
△上砂組「阿片」整理中
△森組「西部國境」編輯中
△ノモンハン事件に於ける國軍の飛躍的活躍を書いた「奮鬪的國軍」は高橋紀監督に依つて鋭意編輯中であつたが此程全部完了した。

雜音

實演陣のぶつゝかり合ひ、このところ映畫の方は鳴りをひそめた形だがおひ／＼と物のいゝのが出て來るのは確かに喜んでいゝことであらう、名ばかりの實演隊はもう澤山▼演藝會社も先きに發表されたものよりも更らに擴充したものが出來るといふ噂である、強力な統制機關が出來れば群少實演隊は自ら締め出されることにならう、映畫と共に國策演劇の華やかな進軍も遠くはなさゝうだ▼日活再映陣の第二彈「千惠藏の「春秋一刀流」は丸根賛太郎監督の好調な處女作、小杉、日暮の「日曜日の戲れ」を添へて引續き封切陣を壓してゐる

土曜　辛卯　大安　執　女宿
舊十九月九月廿九一日日
東京・本郷・神誠館

●一白の人　新規事業を企つるに尤も吉し一路直進せよ　壬と庚と甲が吉
●二黑の人　人の信用を得て立身出世すべし物始めも吉　丙と艮と西が吉
●三碧の人　進路を誤まり易き日自重警戒して焦る勿れ　壬と東と丁が吉
●四綠の人　小利に目移りして大利を逸し易し注意肝要　壬と南と丙が吉
●五黄の人　商事は注意すべきも他の事は凡て進みて吉　丙と艮と北が吉
●六白の人　約束ごと金談ことは憂ひを後に殘す恐あり　壬と西と丙が吉
●七赤の人　心を變へ業を移すは面白からず舊を守べし　丙と壬と西が吉
●八白の人　失費は多くとも萬事迅速に解決し行くべし　丙と丁と艮が吉
●九紫の人　心落付かず爲すこと多くは失敗に陷り易し　東と丙と丁が吉

長春座

ニュース		2,42	6,40	
錢形平次　怪盜疾風組	11,00	2,57	6,54	
アトラクション　伊藤久男・赤坂小梅	12,03	4,00	7,57	
新女性問答	12,46	4,43	8,40 10,30	

廿一日より廿三日迄　料金七十錢
豫告　次週封切　桑の實は紅い　感激の頃　實演・中野忠晴　中川三郎

銀座キネマ

ニュース		2,18	4,58	7,38
最後の友情	12,00	2,40	5,20	8,00
暴れ出した孫悟空	1,03	3,43	6,23	9,30 10,13

十九日より廿三日迄
豫告　廿四日より　天下御免　彌次喜多大會　國策息子

新京キネマ

ボデーの珍ラクビー	1,30	4,27	7,27
ニュース	1,37	4,34	3,31
我が家の大將	1,57	4,54	7,59
妙法院勘八	12,00 2,57	5,54	8,59 10,27

十九日より二十三日迄　料金　70セン
豫告　廿六日封切　鞍馬天狗（復讐■）　光われ等と共に

豐樂劇場

ニュース	12,00	3,10	6,30
男の償ひ	12,30	3,40	7,00 10,00

二十日迄　料金　40セン
豫告　廿一日より　寶塚ショウ

朝日座

ニュース		2,19	5,04	7,50
日曜日の戲れ	12,00	2,47	5,34	8,20
春秋一刀流	1,00	3,47	6,34	9,20 10,20

二十日より廿三日迄　料金　五十錢均一
次週二十四日より　嵐に立つ女　伏山くみ子主演　藤堂高虎　大谷日出男出演

帝都キネマ

東京名人會　午後五時開演
柳家小さん一行來演
二十日廿一日（二日間）　入場料　二圓
次週豫告　東寶、滿映共同ロケ　劉恩甲・李香蘭・張書達・共演　東遊記

近藤勇 七

橋爪彦七 作 西正世志 畫 (上演上映)

(四十三)

勤王侍(五)

益滿が、

『とにかく、至急に發つことにして、犬ころ共も、幾人かは發たせるが』

『浪士?』

川田屋が、微笑で訊いた。

『うむ、血祭り坊主に、連れて行つた方がいゝ、無論拙者も後から行くが、あいつ等は何處で斬られても構はん人間だ』

『氣の毒に』

と、川田屋は、口元を笑はせて。

『國もあらうし、又國元には妻子のある人達も居りませうが。』

『なあに、國を脫け出すやうな奴だ。妻子だつて泣かされ續けだらうから、居ない方が氣樂なぐらゐだらう』

『はッはッはッ、まさか』

『いや、餘事は別として、貴公の都合は?』

『さあ、明日にでもよろしい侍が厭で、と云つて素町人にもなれず、結局、世の中を引ッ搔き廻してやるつもりで、闇の男になつてゐる私です、まさか益滿さんに利用されるとは思はなかつた』

『は、は、は、利用ぢやない頼むのだ』

『いや、どちらでもよろしいが』

川田屋は、さう云つてから

『これで、京とはしばらくのお別れですな』

『當分』

『……』

川田屋が、何か考へてゐる樣子なので、益滿が、

『どうだ、今夜ア、名殘りに一ぱいやるか』

『いや』

と、川田屋が首を振つて、

『置き土産を、考へてゐるところです』

『ほ、ほう……』

『何か騷う、胸のすくやうな仕事をして行きたいものです。』

川田屋の眼が、一方を凝視しだした。これは、彼が、何か工夫を凝らす癖で、すぐその後から奇抜なことが、頭腦の中で組みたてられるのだつた。

『新選組を――』

『えッ?』

益滿が、釣り込まれたとき

『いやなに――』

と、川田屋は、そらとぼけた顏をした。

『貴公、なるべくならば自重して貰はぬと――』

『は、は、は……芹澤か近藤の首でも頂戴しやうかと考へましたがね』

いかにも、不敵な言葉だつた。

『いかん』

と、益滿は、眞劍な眼で、川田屋を睨めて、

『そんな無茶を――』

『は、は、は、は……大丈夫それあつゝしみますよ、何かしら、お話の種は殘したいと思ひますがね』

云つてゐるとき、廊下の方で、カタリ――と何かが觸れる物音がした。

川田屋が、ぱつと立つて、いきなり廊下に出て見ると、若い浪士の背中だけが見え、すぐ表部屋の方に消えてしまつた。

『?』

益滿が、

『何か?』

と、たづねると、川田屋が振り顧つて、笑つた。

『は、は、は、大きな鼠でしたよ』

『鼠?』

益滿が怪訝な顏をするのへ

『なんでもありません』

と、云つて、

『では、明朝、もう一度御目にかゝることにしませう』

輕く、挨拶をすると、川田屋は歸つて行つた。

その後姿に、憎たらしい眸を投げてゐる男。

柴山三之助である。

"燃料博士"山崎氏 滿洲國政府入り

煤煙のない明朗都市創造に 一肌抜ぐと意氣込む

煤匪退治に朗報

十七日來京目下朝日通り都ホテルに宿泊してゐる山崎喜一郎氏(四四)で、十數年間も燃燒專門の研究に當つて來た人、渡滿前まで商工省の燃料局に勤めてゐたが、燃料國策の叫はれてゐる折柄、引く手あまたの中を特に滿洲國を選んで來たもので、愈々今後は大陸科學院研究官としてまた國立大學工鑛技術院教授として今後大いに煤煙のない明朗都市の創造と燃料節約に一肌抜ぐと云ふ意氣込みである、山崎氏を都ホテルに訪へば

一昨年の奮富地に參つたこともありますが、その時のことが縁となつて、こちらで研究を續けるやうになつた譯です、煤煙の防止については煙の出ない燃料とか完全な燃料裝置とかを使ふと云ふことも勿論考へねばならぬことですが、その前に必要なことは、與へられた燃料を如何に活用するかを工風研究するにあると思ひます、尤もこの點に關しては指導階級の方々が大分熱心に考へてをるやうですから、恐らく日本內地よりも速かに解決の糸口が見出されるのではないかと考へてゐます、先づ差當り問題としては燃燒に從事する者に對する指導が急務で、このためには特に有能な指導者の養成とか優秀な成績をあげた當事者の表彰とか或ひは又一般家庭には出來るだけ懇切に燃料使用法の■說指導されること等が必要でせう、私としてはそれ以外に燃料の性質や其の利用方法又は裝置その他に關して實際化して見たいと思ふ題目を多少持つて參つたのですが當面の問題として燃燒の合理化と云ふところから御手傳ひしたいと考へてゐます

と語つた(寫眞は山崎さん)

國都を始め全滿各都市の煤煙防止と燃料節約問題に解答を與へやうと日本に於ける燃燒の權威が今回滿洲國入りをすることになつた

映畫觀客注意 暗中に掏摸の眼

昨年末市內各映畫館に於て掏摸被害頻々あり觀客に對し注意を要望されてゐたが依然として掏摸魔は闇の中に跳梁し最近又しても被害は頻發し當局を惱ませてゐる、即ち舊臘二十日から屆出あつた市內日本映畫館に於ける、掏摸被害は長春座五件、銀座、帝都、新京各キネマそれぐ二件、朝日座一件計十二件に及びいづれも被害者はハンドバッグ首卷の婦人である、かうした被害情況に鑑み當局では各館內の警戒を一段と嚴重にすることになつたが、■各殊に婦人に對しては特に注意を希望してゐて、映畫觀賞中に於いて知らぬ者が話しかけるやうの場合は最も用心が肝要であると

傳染病豫防を期し 接客業者診斷

首都衛生科が二月中旬實施

首都警察廳衛生科防疫股では本年度に於ける傳染病殊に赤痢、チブスに對する防疫の完璧を期してこれ等病菌を全市から一掃しやうとの見地から來る二月中旬を期し管下接客業者一萬二千名に對して保菌の有無を診斷し以て萬全を期すこととなり、目下同股にて實施具體案計畫中である

新京倶樂部 新入選手決定

內部強化も協議

往年の黃金時代を■標に更生の意氣物凄くスタートした新京野球倶樂部は十三年度に於て八勝九敗一引分の戰績を殘して本年に完成を持ち越されたが新春早々內地中等◦專門の雄にて入部決定せるもの左の如くで一方倶樂部內部の強化についても具體案を決定組織的に目的速成に邁進することになつた、入部決定者

△山崎(京阪商業)右翼手 △加藤(岐阜商業)三壘手 △杉本(萩商業)遊擊手 △小林(山形中學)中堅手 △三上(山形中學)投手 △三田村(廣陵中學)投手 △岡(松山高商)外野手

三江省地區 國軍討伐戰果

最近に於る國軍討伐狀況左の如し

一、賈湖部隊の一部〇〇名は去る一月四日午前九時賓縣西南方廿八キロ西口滿子附近掃蕩中監師長匪賊匪十餘名を發見し該匪に大打擊を與へ潰走せしめた

匪の損害―遺棄死體五
鹵獲品―小銃四

一、張教部隊滿中尉指揮の一部〇〇名は一月十一日午前十一時饒河縣■■咀子附近に於て第七軍系匪約六十と遭遇交戰三時間にして之に潰滅的大打擊を與へて潰走せしめた、匪の損害―遺棄死體十五、捕虜五、負傷廿死馬十五

鹵獲品―小銃九、劍一、鐵砲一、馬十一、牛四、双眼鏡二、糧廿石、人質奪還四

我方損害―負傷一

大同佛教改組第二年 第一次記念大會

大乘佛教精神鼓吹を決議

既報、市內西道街滿洲大同佛教總會の改組二周年を記念する第一次記念大會第一日は、十九日午前十時より同所禮拜堂に於て軍部並に各機關來賓參列、張景惠總理、張海鵬會長以下本部役員及び全滿百五十分會の內七十三分會各代表者約二百餘名參加の下に開會、國歌合唱、日滿軍警殉病死者に默禱の後仲裁、會長の致詞及び來賓の祝詞あり次いで左の如く宣言決議をなし協議に移り午後三時半協議を打切り一同忠靈塔に參拜、溥儀の英靈に默禱午後四時散會、第一日の日程を終る、第二日は午前九時より開會第一日に引續き協議事項の審議續行の豫定である

宣言

大乘佛教の特徵たる自利利他協和の精神を基調とし內は建國の大理想たる王道樂土の顯現に努め外東亞永遠の和平の聖業に邁進せんことを期し茲に宣言す

決議

一、日滿一德一心の精神を徹底し民族協和の實現を期す
一、大乘佛教精神を鼓吹して迷信邪教を排除し文化の向上に努む

右決議す

强心臟には負けます 態の良い願ばかり

◇……警察署に見る明暗相

司法の威嚴と保民の温かさを示す警察署の窓を通してみた浮世さまぐの明暗二重奏＝十九日中央■署に屆けられた說諭願、搜查願は全部で五■皮肉と矛盾とユーモアと明朗のカクテールで係のコワイ小父さんの眉をしかめさせたり微笑ませたりしてゐるが

△その一　說諭願人は佐賀縣佐賀郡西體賀村のお百姓縣崎德馬(假名)さん願書の筋は今年二十才になる娘が同村の中島某君と仲好くなり、昨年八月子供が生れたので止むなく同棲を許したところ、中島某君は妻子をつれて新京某局に■務し、妻の籍を入れてくれと此の程言つて來た、男らしく明らかに少くとも結納金五百圓を出せば籍を入れてやるが、さうでないと娘には子供を中島某君のところへ殘して實家に歸る樣中島某君に說諭してくれと言ふ態のいい結納金强要である

△その二　市內梅ケ枝町の某アパート居住のサラリーマン水田滿男君(假名)アパート內に居住してゐる女給嬢が夜更けて二時、三時の寢入ばなに歸つて來て騷々しくて仕方がない、保安からきつく叱つて下さいとこれは電話でお願ひ

△その三　願人は市內入船町四丁目中央看護婦會の某看護婦さん、內地から教化に來て水田某家の女中をした後新京で看護婦となつたのであるが、內地から水田某家に荷物を送つて來たと言ふので惡いこととは知り乍ら一圓札二枚を手紙に封入して水田某家の友達女中宛荷物の前拂料金に送つたところ屆いてゐないらしい、警察■の手で二■の行方を搜して下さいと、この原文には警察署を驚察署と書いてあり、これには係官も驚いたり、いゝ心臟だと署かつたり

△その四　願人は熊本縣天草郡深海村字■海、目下與某工場に勤めてゐる瀧川恭作君(假名)願ひ事の筋は長年連れそつた廿九才になる妻ミツノさんを家に置いて奧に職を求め半年程働いてゐい地位を得たので妻を迎へに歸つてみるとどこへ行つたかもぬけのから今迄難儀はしてゐても別に不仲になる樣な譯はなく女の心理がわからない、風のたよりに聞けば新京で旅館女中をしてゐる由　住所をお知らせ下さいと言ふ妻に去られた男の切ない願ひである

△その五　願人は市內大和通六十七某吳服店主、昨年十月より十二月にかけて東一條通奴食堂に女中として勤めてゐた秋田としさんに名古屋帶、コート等七十■程のものをすぐ拂ふと言ふ約束で作つたところ、情夫と大連に走つて音沙汰なし、拂ふ樣說諭して下さいと言ふのである

―二十一日が 大寒入り―

二十一日午前七時五十一分が年二十四節の第二番目、大寒に當る、あと十四日たつと五日が立春で所謂寒があけ寒さもこれは暦の上だけでまだ餘峠を越す譯であるが、こ寒を凌がねばならぬ、大寒の二十一日になると新京の日の出時刻は午前八時七分、日の入り時刻は午後五時三十三分となり去る小寒の六日にくらべると晝の時間が二十四分ながくなる

延びる郵政儲金 四百五十一倍

國力と共に素晴しい躍進

―創業當時の―

大同二年五■中華郵政を繼承して以來滿洲國の郵政儲金は、逐年發展しつゝある滿洲國の國力とゝもに、その躍進は素晴しく、康德五年末を創業當時の大同二年末に比較して見ると、僅か五箇年間に預金總額が四百五十一倍强と云ふ尨大な增加率を示してゐる、これは畢竟制度の改善及び取扱機關の普及と國民の貯蓄思想の向上特に最近の富家强國運動の强調に基くものとみられ更にこれを創業當時より年度別に躍進のあとを觀ると次の如くである、即ち大同二年末は預ケ入一萬六百六十七人、預金二千萬三千百四圓、康德元年末には同二萬千三百十四人六十三萬千百三十八百、康德二年末には七萬二千六百七十五人、二百三十三萬六千八十八圓、康德三年末には十萬八千七百九人、七百十萬六千八百二十五圓、康德四年末には二十萬四千六百三十四人、千七百三十萬四千二百九圓、更に昨年末六十三萬八千三人五千百六十一萬三千百二十九圓これを一人當り現在高についてみれば大同二年末十九圓四錢、康德元年末二十九圓二十一錢、同二年末三十二圓二十二錢、同三年末六十八圓三十九■、同四年末八十四圓五十錢、同五年末八十圓九十九錢となつてゐる、これを創業當時の大同二年末に比すれば人員について六九、九倍、金額に於いて四百五十一、三倍と激增を示してゐる

中野高等檢察廳次長 廿三日あじあで歸國

離京を前に感慨を語る

今年四月の停年を前に後進に道を讓つて勇退した高等檢■廳次長中野俊助氏は來る廿三日のあじあで倫子夫人同伴歸■の途につくが、十九日芙蓉町の自宅を訪れると忙しい荷造りの間から「やあ」と明けて六十一とは見えぬ若々しさ

永い法曹界の生活から退くとなると感慨無量なものがあるが、老人が何時までも頑張つてゐるものぢやないからね、これは仕事上のことではないが、日滿人の親睦機關として吉林でも新京でも創つた法曹書道會が豫期以上の好結果を納めてゐるから私がゐなくとも是非續けて貰ひたいと思つてゐる

と綾餞を以て鳴らした法廷での中野氏とは思はれぬ物柔らかさで語つた

氏は明治四十二年東大法科を卒へ、辯護士を開業十年の後朝鮮で判事、檢事正生活を送り康德二年來滿、齊々哈爾、錦州、吉林を經て昨年九月新京に來任したもので、建國早々の滿洲法曹界に殘した貢獻は大きい、今回の勇退を各方面から惜まれてゐる

康德製粉買收で 中銀と福興對立

麥粉統制のすきを狙ひ三菱系康德製粉の在安達福興製粉買收を續つてはしなくも債權者中銀を間に粉料を釀し哈爾濱市製粉界にセンセイションを捲起してゐる、問題は安達の福興製粉(滿系)が最近不振續きで中銀より約十萬圓の融資を受け辛うじて操業を繼續しつゝあつたが、これに目をつけた三菱系の康德製粉が同工場の買收に乘出し客年末假調印の運びまで漕ぎつけたが買收總額と言値の開きで手打とならず今日まで交涉を續行中であつた、この福製粉界の統制は日一日と强化され原料小麥の配給も從來の生產能力の過半しか■當てられぬ事となり各工場も共通の惱みとなつたので康德製粉の割當原料の確保を策し同工場買收統合濟みの形式で自家振當申告を行つたが、同工場債權者である中銀側で既に貨車積された原料小麥の輸送を阻止したので約五車の小麥は貨車積のまゝ安達驛で宙に迷ふことゝなり、問題の表面化を見るに至つたもので成行は各方面の注目を惹いてゐる

大新京旅館下宿飲食店組合總會

大新京旅館下宿飲食店組合では二十一日午後一時から■樂■中央飯店で通常總會を開催終つて五時から同所で新年宴會を催す

日滿對抗氷上 日本側選手決定

(奉ノ海國通)大日本スケート競技聯盟では十八日全日本選手權大會終了後直ちに本部にて日滿對抗出場の日本代表銓衡會を開催、男子八名、女子五名の選手を左の如く決定した、なほ一行は後日決定を見る氷上ホッケー十二名、フィギュアー三名の代表選手と共に廿四日午後一時半東京■發滿の途に就き廿八、九兩日新京、卅一日、二月一日大連四、五兩日奉天、七日安東で四回の日滿對抗戰を行ふ、代表選手左の如し

△男子短距離―山下勝久(■)、高林三郎(明)、南洞邦夫(早)
△中距離―金菲煌(明)、南洞邦夫(早)
△長距離―張裕植(明)、古賀泰治(岡谷校)、尹世楨(明)、泉山貞義(明)
女子後報

滿鐵武道大會

全滿鐵社員を總動員した滿鐵社員武道大會は二十九日午前十時より奉天滿鐵道場に於て擧行されるが種目は柔道、劍道、弓道の三種で出場選手は男女約二百名に達する盛況である

武藏山遂に入院

(大分國通)巨豪双葉山倒れ■技館の興奮はラヂオ、新聞を通じて全國相撲ファンを沸きたゝせてゐる時、右膝捻挫のため別府溫泉に療養してゐる不運の橫綱武藏山は九大溫泉研究所■崎博士の熱心な手當を受けてゐたが、レントゲン診斷の結果遂に入院の已むなきに至り十七日同研究所■崎外科に入院した

大相撲九日目取組

(東京■通)大相撲九日目取組

(櫻錦)	(松若)
(清美川)	(千葉升)
(富ノ山)	(陸奧錦)
(若潮)	(白■)
(源氏山)	(錦谷)
(國光)	(■■)
(大八洲)	(松浦潟)
(四海波)	(佐賀花)
(十三錦)	(綾錦)
(番神山)	(俊岩)

中入後

(高登)	(富士■)
(一■)	(出羽湊)
(播磨川)	(出羽花)
(神武山)	(海光山)
(桂川)	(和歌島)
(大邱山)	(青葉山)
(五ツ島)	(■州山)
(土州山)	(小島川)
(駿ノ里)	(大潮)
(駒ノ里)	(安藝■)
(兩國)	(桶甲)
(■石)	(綾昇)
(前田山)	(男女川)
(羽黑山)	(鏡岩)

(照國)	(巴潟)
(若浪)	(藤ノ里)
(相模川)	(綾若)
(小松山)	(金湊)
(松ノ里)	(鶴ケ嶺)
(佐渡島)	(大和錦)
(加古川)	(龍王山)
(陸錦)	(大浪)
	(鹿島洋)
	(旭川)
	(名寄岩)
	(笠置山)
	(双葉山)
	(玉ノ海)

理容術營業組合 新役員決定

既報、新京理容術營業組合では昨十七日記念公會堂において第一次總會を開催、新役員を選擧して福永正司氏が新組合長に就任したが、以下新幹部は左の通りである

副組合長一部　中村喜三郎
同　二部　河野鶴松
會計　三谷會友
理事一部　田中菊吉
同　二部　松谷久吉
幹事　高橋■■
同　奧野■雄
同　大津末吉

あす(二十日)

▲寫友會月例會並に懇親會
▲大同佛教總會記念大會第二日
▲土木講習會第三日　於記念公會堂

今晩の主なる放送

▲七・三〇講演(奉天)吉和後陽▲八・三〇通俗俚謠「沖揚げ音頭」(札幌)高橋閼外▲九・〇〇ラヂオコメディ「島の人々」(東京)御橋公外

映画と演藝

左膳と彌次喜多 けふから替り三館

帝都 キネマはお待ち兼ね大河内傳次郎極め付きなれど川口松太郎原作の隻眼隻手ならざる若き頃よりの、その名も「新篇丹下左膳」前篇妖刀の巻は渡邊邦男、後篇隻手の巻は山本薩夫の演出、黒川彌太郎、山田五十鈴の助演、現代劇は佐藤武第一回作品「チヨコレートと兵隊」藤原釜足、霧立のぼる、澤村貞子、高峰秀子主演の事變エピソード

新京 キネマは片岡千惠藏、杉狂兒初顔合せのマキノ正博監督「彌次喜多道中記」古賀政男音樂の外楠木繁夫、ディック・ミネ、美ち奴等テイチク陣の應援になる賑やかな一篇に米リパブリック映畫「ダイヤモンド王國の最後」

銀座 キネマはこの剛巨篇を相手にあつさりと再映と大都物ながらこの館獨特の色彩を見せる浪曲映畫大會、羅門光三郎の「森の石松」と杉山昌三九の「大前田英五郎」大乘寺八郎の「赤城の子守唄」

鶯姫の連ね 圓盤五人女 春の豪華狂言

▼……市丸――問はれて名乘るもをこがましいが、生れは遠州濱松在(これはホントウです)十四の年から色事覺え身のなりはひも竹川の、座敷勸める夜働き、浮氣はすれど非道はせず、契る縁も淺草へ、それから、あとが御積

美人と噂高札に、廻るレコード歌ひ姫、浮氣なその身の境涯も最早亭主の貰ひ時六十餘州に隱れのねえ、浮氣の首領日本市丸

▼……勝太郎――さてその次は新潟の、雪の生れの玉の肌不斷着慣れしお座敷着に髪も島田に直江津の、一本さんにお披露目の、しつぼり積る深情、仙臺のならぬ小娘も、■喉のよいのが身の響、惡い浮名も糸魚川

木挽町へも二度三度、だん／＼噂の橘屋、ビクター■の氏子にて、ハア小唄さんと肩書も、いつか築地に住みついた、辨天小僧勝太郎

▼……音丸――續いて次に控しは月の武藏の江戸育ち、餓鬼の時から聲がよく、琵琶の稽古からぐれ出して、唄の稼ぎのマイク姫、もとをたゞせばはきもの屋、はき違へたる商賣違ひ、それが當つて鼻も高々

壁表の日の數ほど、數へ切れない貯金帳、雪獄の裏金チヤラ／＼といふ、金検音丸などといふ藝者らしい御名前踊りの忠信音丸

▼……松原操――又その次に列なるは以前は上野の音樂學校、錬き聲をば磨き上げて、ミューズの神に捧げたる乙女心の深察、柳の葉銀座から、

氷上漁業 苦心の撮影

森信監督、玉置信行撮影の滿映文化映畫「氷上漁業」は北滿嫩江大賚附近の撮影を一先づ完了して歸京した、森監督は語る

大賚附近は今零度以下四十度位で、嫩江は四尺以上もあらうと思はれる氷に鎖されてゐますが、漁夫は穴を空けて網を竿で撒きます、捕れるものは主に鯽ですが水からあげられると忽ち凍つて、鯽も■もコチ／＼になつて了ひます、この酷寒の中で、アイモは潤滑油が凍るので、ガソリンを代用したもの丶六〇呎位ゐ廻すと、段々速度が落ちてストツプして了ひます、私も玉置君もキヤメラと身體を交替に温めて、やつと一先づ終りましたが、苦心した程良く撮れてゐるかと心配してをります、本社で整理の上、今度は哈爾濱へ取殘分を撮影に近日出發します

▼……美ち奴――さてどんじりに控しは、潮風荒き北海道の、北海道の濱育ち、仁義の道も淺草の色街へ來て戀盗人今ぢやチイチク、ピイチクパアチク、優しい歌は唄つても、しかし、安い情けは賣らぬ、念佛ひな南郷美ち奴

▼……覆面姫と名も高く名乘り上げたるミス・コロンビヤ忍ぶ姿もいつか現はれ、今日ぞ命の明け方に、昇る初日の二見ヶ浦、松の操の色映えて、その名も松原操ちやん

改題のレコード 「とらんぷ物語」

東和商事提供サッシャ・ギトリイ自作、自演の佛蘭西トピス映畫「愉しき哉人生」は、德川夢聲の日本■が素晴らしい効果を擧げ、三月頃公開される豫定であるが、それに先立つて題名を内容にふさはしく「とらんぷ物語」と改題することになつた

因みにこの作品は最初は原名通り「ペテン師物語」であり、次に「六つの顔を持つ男」になり、懸賞募集で「拙者一人の物語」が採用され「愉しき哉人生」と一先づ決定したのが、茲に「とらんぷ物語」で最後の本極りになるまで前後五回、改題のレコードを作つたわけである

長谷川一夫 傷痕の再手術

一昨年秋、松竹下加茂から東寶京都撮影所へ入社する早々その■社を憤慨した暴漢のため顔を斬られた當時の林長二郎、その後幸ひ傷痕も大した事なく、その儘撮影が行はれてゐるが、長谷川一夫にすると氣になつて仕様がなく、東寶東京の囑託たる近藤經一氏の父君が神田に外科病院を開く近藤博士である■係から、數回、整形の相談をした所、簡單な手術でその傷痕も殆ど除去出來るといふ事が分つたので再手術の期を狙つてゐたが年頭漸く餘裕が出來たので去る十日入院、廿分の手術を受け、目下安靜臥床中である二、三日は顔の筋肉を動かせぬ様といふので流動食、むせたりしてはといふので禁煙である、長谷川もこれには弱つてゐるが經過良好、二十日前後には退院出來る見込み、更生の美貌で「忠臣藏」の内匠頭に出演する譯である

佛短篇科學知識 東和商事へ到着

さきにフランスから短篇映畫「世界藝術家シリーズ」の到着を見た東和商事文化映畫部へ、更に「三分間科學■■シリーズ」が、四本到着した、これは映寫時間を三分間として、その間にあらゆる方面の科學知識を解説しようといふ新しい試みになる短篇で、第一回の題名は「飛行機の謎を解く」「パラシュートの謎を解く」「ラヂオの謎を解く」「潛水艦の謎を解く」でフランスに於ける新しい文化映畫の動向を知るにふさはしいものである

仙人掌

女學校時代バスケツトボールの選手で神宮外苑に颯爽と麗姿を現はしたカフエーモンテカルロの悦子さん、とても性質が親切な女性▼最近も■■が事情あつて内地へ歸るのに荷造り萬端■々の世話から朝まだ暗い内から午前八時發ひかりに驛へ見送つたり普通の人では出來ない世話振り▼こんな親切な女性に想はれた人はさぞ幸福でせう、と賞めたら悦チヤン嬉しがつてニツコリ笑つてゐます、あゝ、魅力的な右頰の片ボエクボ▼こゝの熊さん、女給學に一家言持つてゐます「自分さへ■面目に清く働いたらいくら女給でも何等恥しいことはありません良家のお嬢さんで私達の仲間よりも惡い行爲をしてゐる人があります」▼ゆりかごの菊惠さん、十九の若さで北海道は札幌から海を越えて渡滿、うづく様に胸を突上げてくる郷愁を酒にまぎらしてゐるが文學少女の彼女醉つぱらつてのメイ句「酒飲んで醉うて戀しき人の有り」

雜音

けふから替り、チヤンバラ物にユーモア■と大衆向きの■■の對立、帝都の「丹下左膳」新キネの「彌次喜多」銀キネの「森の石松」何れもお馴染みの名前である▼大河内に千惠藏、杉狂兒と名前だけでも客を呼べやう、添物の帝都「チヨコレートと兵隊」は好もしい小篇新キネは「ダイヤモンド王國の最後」名實伴はぬ米■映畫ではないかと思はれる▼銀キネは後二本共「石松」と同じく浪曲映畫、この館としては絶好の番組であらう

晝夜用心記

三村伸太郎・作
木下大雍・畫

(六八)

秋風の譜(十一)

お吉は、裏木戸をあけて、身を忍ばせるやうにして、出て來た。
「市さん……」
と、ひくい聲で、呼んで、眼もとにも、じつと、情をふくませてゐる。
「……」
市助は、しばし、無言である。
會はないといふのは、ほんの、昨日一日だけのことである。
それなのに、なにか、不思議に、遠い世界に、離れたひとのやうな氣がしてくるのである。
ながい月日を、わけ隔てられたひとのやうな悲しさが、しばし、胸のうちに、籠るのであつた。
「お前、ゆうべは、どうしてゐた」
「ゆうべ——」
と、お吉は、笑つた。
お吉といへども、昨夜は、ねむれなかつた筈である。
おそらく、お吉にとつては、うまれて、はじめてと言つても、いゝほどに、拆の音が、あやしく胸に響いて來たのであつた。
が、かの女は、そんなことは言はない。
「ゆうべは、どうしたのか、可笑しいほど、目がみえて、明方に、うとうとしただけで……」
と、かう言つてから
「市さん……お前さんの方は、もう大丈夫かねエ」
「あゝ、どうやら一人で、歩れさうだよ」
お吉は、それはまあ、いゝことだ……と、いふ風にうなづいて見せてから
「わたしの方も、皆さんがいゝお人ばかりなので、氣樂だよ」
「……」
「ご主人様は、どんなお方だ」
「さあ……今日の道中、一寸御挨拶を申し上げただけで……まァお若い人だよ」
「さうか」
と、市助は、うなづいてから
「誰かに咎められると、悪いから……早く、うちには入るがよい」
「あゝ。ご主人様は、夕方から、お出掛けになつたけれど——」
お吉は、かう言つて、そつと、裏木戸の中に、は入る。
氣のせいか、お屋敷に奉公に上つただけで、身のこなしや、顔立ちまでが、上品に變つて來たやうに思はれて、市助は、そのお吉を眩しい氣にながめやつた。
市助は、また、拆を打つて歩く。
「おい、市助さん……」
芹澤のお屋敷から、すこし離れた、物蔭から、かう呼び聲がしたと思つたら、市助が
「おや、これは、どうも不思議だね……また、お前さまに會ひましたね」
「なあに、べつに不思議はありやしねエ……今夜は、お前に會ひに來たんだ」
舛次郎は、物蔭に立つたまゝで、市助に、かう言つた。
「……」
市助は、何か、その舛次郎の様子に……悪いことだが、今夜、はじめて、氣味の悪いものを感じた。
「何んの、ご用でございますか」
「と言はれると、一寸困るが……」
舛次郎は、笑つたやうである。
「……お前と、昨日會つたな……あの、松田屋……あすこは、よく氣をつけろ」
「……」
市助は、それが、何の意味であるか、よく分らなかつた。
「金があると、色んな野郎が目をつけるからな」
舛次郎は、かう言うと、すたくと歩いて行つた。
その早いこと。すぐに、闇の中に、消えた。
市助は、茫然とする。が、舛次郎の言つたことが何んであるか、すぐに分つた。
(畜生ッ……誰だか、ご恩になつた松田屋さんをねらつてやがるんだ……)
と、思ふと、また、あの舛次郎といふ人のことまでが、氣になつてくる……
九ツの廻り時刻。
市助は、芹澤の、あの裏木戸のところに廻つて來ると、ふと立ち止まつて拆を打つ。
見れば、お吉が置いてくれたのであらう紙包み。
……開けて見れば、なつかしい握り飯であつた。

商況欄 十九日前場

海外經濟電報

- 倫敦金塊 七磅八志七片[illegible]
- 紐育金塊 三五弗〇〇〇
- 倫敦銀塊 二〇片八分一
- 同先物 一九片四分三
- 紐育銀塊 [illegible]二仙四分三
- 孟買銀塊 [illegible]留比八分一

▲市俄古小麥
- 五月限 六九仙八分五
- 七月限 六九仙八分五
- 十月限 七〇仙二分一

▲紐育棉花
- 現物 九仙〇〇
- 一月限 七仙四〇
- 三月限 八仙四〇
- 五月限 八仙一七
- 七月限 七仙九一
- 九月限 七仙四一
- 十二月限 七仙四〇

▲印棉
- ブローチ 一五七留比〇〇
- オームラ 一四五留比四分一〇
- ベンゴール 一二一留比[illegible]分二〇

▲カルカッタ麻袋
- 鐵筋 二五留比一六分三
- 窗筋 二七留比[illegible]分[illegible]

▲紐育株式
- スチール株 六四弗二分一
- アナゴンダ株 三一弗八分七

▲外國爲替
- 米英爲替 四弗六[illegible]仙八分三
- 米日爲替 二七弗三二仙
- 米支爲替 一六弗三二仙
- 米佛爲替 二仙[illegible]八分三
- 英米爲替 四弗[illegible]仙三一
- 英日爲替 一志二片〇一
- 英支爲替 八片二分一
- 英佛爲替 一七七法郎二一
- 印日爲替 七八留比八分五

▲滿洲中銀爲替
- 紐育向 二七弗一六分五
- 倫敦向 一志二片〇〇〇

▲阪神爲替
- 對米賣 二七弗[illegible]
- 對米買 [illegible]
- 對英賣買 一志二片[illegible]

各地株式市況

▲東京株式(短期)　寄付　大引　[illegible]

▲大阪株式(短期)　[illegible]

▲大連株式(短期)　[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸　[illegible]
▲大阪綿布　[illegible]
▲東京人絹　[illegible]
▲大阪棉花　[illegible]
▲大阪期米　[illegible]
▲大阪人絹　[illegible]
▲横濱生糸　[illegible]

各地特産市況

▲新京　大豆　寄付　大引　[illegible]
▲大連　大豆　寄付　大引　[illegible]　豆粕　[illegible]　豆油　[illegible]

九星

金曜　丁巳　赤口　定　婁宿
舊十二月朔日
東京・本郷・神誠館

- 一白の人 日に見えて居ても手に入ること遲し急くな 未と甲と丑が吉
- 二黒の人 誠意十分なれば勝利の榮冠を把る事を得る 申と辰と未が吉
- 三碧の人 何事も物足らぬ思ひに惱るゝ日焦るは大凶 戌と亥と申が吉
- 四緑の人 光陰は人を待たず午後あることを頼む勿れ 戌と丑と申が吉
- 五黄の人 鎮靜より發動に移り行く隆運の日大に勵め 酉と辰と未が吉
- 六白の人 物事行き詰りを生じ易し急げば急ぐほど凶 酉と辰と亥が吉
- 七赤の人 不圖して怒氣を生じ成功近くに事を破る日 辰と未と戌が吉
- 八白の人 足腰を定めて根強く進むときは事成るべし 酉と未と甲が吉
- 九紫の人 元氣を充實し心を開めて急を要せぬ吉日たり 丑と酉と辰が吉

大正九年十二月四日第三種郵便物認可

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五十錢
廣告料金 普通一行壹圓五十錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用（3）三三〇五 營業局專用（3）三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

支那軍現有兵力 僅かに九十二萬

事變前の半數以上を喪ふ

【東京國通】陸軍省調査によれば、武漢攻略後における蔣政權を中心とする支那軍の現有兵力は約九十萬に過ぎず、事變前約二百萬と稱した兵力の半數以上を皇軍の猛威によつて喪つたわけである、これを系統別に事變前後の兵力を比較すれば次の通りである（單位千人）

	事變前	武漢攻略後
中央軍	八六〇	三九〇
舊東北軍	一二三	四〇
北支諸軍	一四六	五九
山西軍	八〇	五〇
山東軍	五二	二〇
廣東軍	八〇	七〇
廣西軍	七二	五〇
邊省各軍	六三九	二五〇
總計	約二、〇二五	約九二九

寶鷄、潼關、閿鄕を急襲

敵軍事施設を木ッ葉微塵に粉碎

【〇〇基地十九日發國通】わが陸軍航空部隊は十九日隴海線の最終點たる寶鷄及び同線中部の據點たる潼關、閿鄕を急襲、敵軍事施設並に鐵道機材などを爆碎、完全に灰燼に歸せしめた、即ち山瀨部隊の中村、兒森、鈴木の各部隊は午後一時〇〇機の大編隊を以て長驅寶鷄を空襲した、同地には中央軍第四師が防備を固め蘭州との間に自動車により軍需材料輸送連絡、ソ聯より集めた補給品も全部同地に集結して敵兵站の中心をなし、また四川、貴州に南下する自動車道路により中支方面とも密接た連絡を保ち、同地を唯一の重要補給線としてゐたが、わが荒鷲軍は中央第四師司令部及び兵營、停車場などを木ッ葉微塵に粉碎、大損害を與へて悠々歸還した、一方永持部隊國枝隊は〇機をもつて午前十一時再び潼關を襲撃、敵兵並びに陣地に巨彈の雨を降らせ、更に息つく間もなく閿鄕を襲つて市街並びに敵陣地を見事に爆破した

潼關以東の敵退却開始

【〇〇基地十九日發國通】わが空軍の連續爆撃と對岸よりする砲撃に潼關以東澠池及び隴海線一帶の第百八、第百九兩師の敵は浮足立ち十九日西南方に退却を開始した

債務利子支拂延期

蔣政權側新聞記者團に説明

【上海十九日發國通】重慶來電によれば、蔣政權財政部は一月十五日海關稅收擔保債務利子支拂一部延滯に關する聲明を發表、十七日更にこれを補足する聲明をなしたが、十八日には外人新聞記者との會見に於て左の如き説明を行つてゐる

一、關稅擔保額長期債務の元本總額を爲替の法定レートで換算すれば約二十億元に上り、その內譯は左の如くなる
イ、外債約六億元
ロ、團匪賠償金約一億元
ハ、內債約十八億元

二、一九三九年內に於て償還さるべき元利拂豫定額は一月當り約一千八百萬元、その內譯は外債分四百萬元、團匪賠償金分三百萬元、內債分一千百萬元である

三、團匪賠償金の英米兩國へ支拂はれる分は一ケ年當り對英五萬磅、對米十六萬米弗に當るが、英米兩國分は一九四六年迄に大部分完濟されるが、一九四一年以降は支拂分が減少する豫定となつてゐる

四、一九三八年の海關稅收は總額二億五千四百五十萬元で、毎月平均二千二百萬元であつた、この內戰區における海關稅收は五分ノ四を占めてゐると見られる、なほ戰前の一九三六年を基礎にしてみると主要海關の稅收比率は左の如くである
上海四五・九%、天津一〇・九%、漢口七・三%、青島六・三%、廣東三・四%

五、交戰以來戰區海關稅收にして日本側の取得するところとなつた額は約一億五千萬元に上る

六、海關稅收にして日本側の取得するところとなつて現に正金銀行に寄託されてゐるものは大部分法幣であるが、一部分は他のものもある、上海方面の稅收の大部分は法幣であるが、天津方面では法幣以外のものが多くを占めてゐると見られる

七、一月十五日の財政部聲明は關稅擔保債務の利子一部支拂延滯であつて、その他の債務はそれに含まれてゐない、從つて交戰以來發行された救國公債、國防公債などがこれに含まれぬことは云ふまでもない、尤も關稅擔保、國外の債務についてもこれが利子支拂の變更の方法を考慮してゐるが、未だ公にする時機ではない

新支那に邦人の活躍

【上海十八日發國通】陸戰隊の完全なる警備の下に上海の明朗性は日一日と加へられ、現在の上海は邦人發展史上稀に見る現象を呈し大陸目指して來滬した邦人は日支合辦で電氣、水道、航運、バス、無線電信及び鐵鑛開發等諸種事業に着手し新支那の礎石ともいふべき上海は隆々發展しつゝあるが、事變直後から現在までに至る復興の姿は海軍特務部復興班の調査によれば事變前の在留邦人二萬九千に比し現在では三萬六千四百五十三名に增加し、一方皇軍保護の下に不安のない樂天地で働きたい希望から各地より蝟集して來る支那人の數は益々增加し、それ〲正業に勵んでゐる有樣である、上海邦人經濟力の蒸調たる紡績工場操業の如きも事變當初に於て甚大なる被害を蒙り特に西部紡績の如きは支那軍の陣地となり全滅的な打撃を受けながら治安回復と共に復興に着手し、最近では事變前の狀態にまで回復するに至つた、即ち昨年十二月一日現在の調査では上海紡、公大、大康、裕豐、東華、內外棉、同興、日華、豐田の各紡績及び東亞製麻工場は同様操業を實施、殆んど全部百パーセントの運轉ぶりでこの十大工場に働く邦人從業員總數一千五百六十四名、支那人職工六萬六千七百廿六名と云ふ活況である、又紡績以外の各種邦人工場は事變前四十二あり事變勃發と共に各工場は一齊に停止、或は閉鎖したが紡績の復興するに伴ひ漸次復活し始め、現在操業中のものは廿六軒あり約八割近くの業率を維持して復興しつゝあり、邦人の活躍は實に目覺しいものがある

【杭州十八日發國通】市民の復興に燃える幾多の努力により杭州は日增しに明朗化しつゝあり、邦人も漸增の一途を辿つてゐるが、最近我領事館の調査によると事變直前僅か卅二名だつた邦人は昨年十二月三十一日現在七百七十八名（鮮、臺人を含む）と飛躍的な數字を示してゐる、このうち主なる職業は食料品生產業五、土木建築二、物品販賣卅三、貿易商四、旅館、小賣屋その他廿五、醫師四、纖維工業十で、邦人の發展は頗る有望視されてをり、今秋までには邦人數も一千五百を突破するであらうと見られてゐる

滿業本年度發行社債

總額一億一千萬圓

鮎川總裁等シ團と折衝中

滿業では既報の如く目下增資について考究中であるが、本年度資金計畫としては取敢ず

社債

を中心とする豫定であり目下東上中の星野總務長官、岸產業部次長等政府當局者が日本政府の諒解を求めると共に滿業鮎川、吉野正副總裁、田中、竹內兩理事等がシ團との間に總額一億一千萬圓の社債發行につき折衝を進めてゐる、即ち本年度社債發行豫定は上期中振替三千萬圓、昨年豫定殘額二千萬圓、新規二千萬圓、下期中新規四千萬圓、合計一億一千萬圓でその內本年度資金として入るのはシ團借金振替三千萬圓を除いた八千萬圓であるが、本年度所用資金は子會社拂込殘額合計一億四千百九十五萬圓中拂込徵收を豫想されるものは

（單位千圓）

	拂込殘額	徵收豫想
昭和製鋼	三七、〇〇〇	（三五、〇〇〇を二回）
輕金屬	一八、七五〇	（六、二五〇を二回）
飛行機	一〇、〇〇〇	（五、〇〇〇を二回）
東邊道	一三、五〇〇	（六、七五〇を二回）
滿洲鑛山	三五、〇〇〇	（[illegible]を二回）

で合計一億五百七十萬圓乃至一億一千七十萬圓と見られこのほかに滿炭の增資によつて五千五百萬圓乃至六千萬圓を要するので目下判明せる本年度資金所用額は

大体

一億六千萬圓乃至一億七千萬圓となる譯でその約半額を社債を以て賄ふこととなる

わが捕鯨船四月 北氷洋に出漁

【東京國通】北氷洋の鯨群に對しては現在まで各國ともその地理的關係その他から一切出漁せずあたら無盡藏の資源を擁しながら未開のまゝ放置され僅かにソ聯が近年捕鯨船アリユートトル號（五、〇〇〇トン）一隻を出漁させ極めて小規模な方法で捕鯨してゐるに過ぎない有樣であるが、これに目をつけたわが國では一昨年來調査隊を派遣詳細調査した結果、豫想にたがはずベーリング海から白令海にいたる約二千浬四方面の漁場には、四月下旬から九月中旬まで無數の鯨群が集まり現在のわが國捕鯨船が南氷洋の作業を終るやそのまゝ北氷洋に轉じて捕鯨を續け得ることが確認されるに至つた、しかも同漁場はわが國から距離的にも南極の約八千浬に對して三千浬であり、わが國捕鯨の主要題目たる食用肉、皮革材料及び內臟の內地輸送には最好適でこの期間北氷洋へ出漁することによつて一〇從來のわが國捕鯨總數七、八千トンの約三倍に達する收穫を得る見透しもついたので、愈々今春四月中旬の漁期を狙つて大洋捕鯨工船二隻、キヤツチヤーボート廿隻位を試驗的に派遣することになり、目下關係者の間で出漁船の選擇、乘組員の人選等を急いでゐる、捕鯨日本の新鋭船が前人未踏の秘庫北氷洋へ進出することは世界捕鯨界の一大革命でもありその成果は今や各國から重大な關心をもつて注目されてゐる

支那の聯盟泣訴 理事會で葬らる

調整委員會設置案不成立

【ジュネーヴ十八日發國通】聯盟理事會は十八日午後四時より秘密會を開催、顧維鈞支那代表提案にかゝる對日調整委員會設置案を審議したが、顧代表の強硬主張にも拘らず同案は多數の反對で葬り去られた、續いて同秘密會は對蔣援助決議案起草のため英佛ソ支等の各代表を起草委員に任命した、起草委員は十九日會合して想を練る筈であるが仄聞するに新たに起草さるべき援蔣決議案は過去の諸決議の再確認に多少線をつけた程度のものに落着くに過ぎず胡世澤支那代表は秘密會終了後悲觀的に次の如く語つた

支那は聯盟が米國を含む調整委員會を設置することを希望したが、この要望は既に諦めた、支那が現在望み得る最大のものは聯盟が再び對日決議を行ふ位なものである

廣東の治安回復に 蔣政權妨害を策す

わが方動向を嚴重に監視

【廣東十九日發國通】廣東治安維持會の成立並にそれに附隨する各種の施設が實施されるに從つて各地の避難民は陸續として歸還し逐次生業につくに至つたが、かくの如く廣東復興の現狀に拘らず狼狽しつゝある蔣政府は大廣東再建を妨害する爲最近各般の奸策を弄してゐるので、わが方においてもこれが動向を嚴重監視してゐる、すなはち最近蔣政府の弄しつゝある妨害策は

一、揚子江方面各地において遊擊戰を續けてゐた共產新四軍々長葉挺は本月上旬江蘇省南部より廣東省に入り東江上流の龍川廣東軍當路守備總指揮張瑞貴以下と會見し、さらにまた汕頭、潮安において各自衛團指揮者と協議を遂げたる後、省政府所在地韶關に赴き當路者と廣東方面の治安攪亂工作を策しつゝあるが

二、廣東治安維持會は廣東市の復興策と並行して南洋華僑に對し事態の眞相を明かにし着々その實績を擧げつゝあるが國民政府は救務委員會常務委員を南洋に特派し極力廣東に對する逆宣傳を行はせることに決定し委員は五中全會の終了後を出發する豫定である、しかしこの他廣東・香港通路の復活によつて香港に避難中の多數の廣東市民は日增しにその歸還者の數を增加してゐるのでこれに對しても蔣政府は香港政廳の協力を以て軍警・香港間の

魚臺の匪團 一萬五千歸順

【濟南十八日發國通】濟南警備軍の肅淸工作の進捗によつて最近山東省內は奧地方面に至るまで歸順匪相ついでゐるが、西南部魚臺方面に蟠居する劉耀庭參謀長孫効賓は十七日魚臺のわが軍の下に歸順を申出でゝ忠誠を誓つた、同部隊は元山東軍正規軍で兵力約一萬五千、迫擊砲六十、機關銃七十、小銃一萬三千、馬一千餘を有する有力な軍隊である、この結果魯西南部の肅淸は特に進捗を見るに至つた

神戸在住華僑

汪聲明支持を決議

【神戸國通】神戸在住華僑三百名を會員とする華僑振興會では十八日夜本年度第一回の總會を開き左の如き汪精衞の聲明に對する支持の決議文を可決、來る二十日結成される神戸中華總商會及び神戸華僑南洋輸出協會などの決議文と合せてこれを南洋印度方面の華僑同胞に通電することに決定した

▲決議要旨

東亞新秩序建設の〇〇見ゆと〇汪先生の和平聲明を聽きわれ等もまた謬見を固執し徒らに私利を追ふ場合ではない、海外の同胞も新事態と手を執つて邦家千年の計を樹てゝ東亞經濟の安定に邁進せんことを切望す

神戸在住の印度教徒

戰死者追悼會

【神戸國通】神戸在住インド、トルコ、タタール等のインド教徒約二百名は廿二日午前十時から神戸市葺合區布引町三丁目のインド寺院において東洋和平の聖戰に殪れた皇軍戰死者の追悼をインド教式で盛大に擧行することゝなり目下準備を急いでゐる、神戸在住インド人が本國筋の牽制をふり切つて慰靈祭を擧げることはわが關係方面を痛く感激させてゐる

夜間航空を開始し同方面の連絡強化に狂奔してゐる

蔣介石軍三戰區 新陣容

【漢口十九日發國通】最近蔣介石軍は第一戰區たる鄭州、洛陽を中心とする隴海沿線地區、第五戰區たる京漢線兩側地區並に第三戰區たる錢塘江南方地區に對し頻りに防備強化を行ひつゝあり、右三戰區陣容を左の如く決定各軍團は現駐地を中心として壯丁の大量募集を行ひ兵力の補強を圖るやう命じた

△第一戰區總司令衛立煌 第三集團軍司令衛立煌兼任、第十二軍長孫桐萱、第二十七軍長范漢傑、第二集團軍司令孫連仲、第三十軍長田鎮南、第四十二軍長馮安邦、獨立第七十一軍長宋希濂、第十七集團軍司令胡宗南、第一軍長陶峙岳、獨立第四十軍長龐炳勳、獨立第三軍長沈克、獨立第九十一軍長郜子擧

△第五戰區總司令李宗仁 鄂兵團司令廖磊、第二十一軍長廖磊兼任、第七軍長張淦、第四十八軍長張義純、第五軍長于學忠、第二十六軍長徐源泉、右翼兵團司令張自忠、第十九集團軍司令馮治安、左翼兵團司令李品仙、第三十一軍長韋雲淞、第八十四軍長覃連芳、第六十八軍長劉汝明

△第三戰區總司令顧祝同 第十集團軍長劉建緒、第二十三軍長陳萬仞、第五十軍長郭勛祺、第二十八軍長陳安寶

◇赤瀨川探金理事來社 新任滿洲採金株式會社理事赤瀨川安彥氏は二十日就任挨拶に來社した

人事往來

▲本島邦男氏（鐵道總局）十九日來京ヤマトホテル
▲九里正藏氏（大連交通）同
▲高見二郎氏（三井物產）國都ホテル
▲市川隼人氏（滿洲電線）同
▲濱田時夫氏（三菱電機）同
▲松井德次郎氏（製材業）同
▲池田周作氏（イリス商會）同
▲野村虎雄氏（〇電會）同
▲安武眞一氏（官史）中央ホテル
▲須山力氏（土建業）同
▲上田泰祐氏（滿炭）同
▲平澤德次郎氏（鐘紡）同

偶語

滿洲國の健全なる發達に伴ひ海路陸路から入滿する諸々の旅行者は夥しき數に上つてゐるがこれら旅行者は入滿に際し必ず一度は不愉快な稅關檢査をうけねばならぬ▼稅關官吏にして見れば當然の職務遂行であり嚴密にやることが職務精勵の優秀官吏であるのだが旅行者にして見ればその程度を超へ入格を無視した行爲は不愉快を通り越して腹立たしくなるものだ▼觀光聯盟あたりで莫大な經費をもつて觀光滿洲の宣傳につとめてゐるが稅關檢査の印象が相當影響しその效果を削減されてゐるといふ傾向がないでもない▼稅關檢査をうけることに一人として文句を云ふものもなくまた文句をいふべき筋合のものでもないが稅關官吏の態度應對に文句がある樣だ▼今や滿洲國は世界列強に遜色なき獨立國として特又防共聯盟國として立派な陣容を整へて來たのである▼外來者の最初の印象に殘る稅關官吏の素質向上といふことは事は小なりとも相當影響の大なることを考へねばならぬ

社説
列國の對支態度に就て

東亞新秩序の確立は、今次事變の必然的な發展であり歸結である。これなくしては、事變の意義は全く失はれるのである。

しかしながら第三國の側から見れば、これは必ずしも望ましいことではない。彼等は支那政府の行政權の及ばない租界の内部に於いて自由に行動し、しかも支那が完全なる門戸開放、機會均等の原則の下に置かれることを希望してゐる。九ヶ國條約は滿洲國成立と同時に有名無實の死文に化したとわれわれは解釋してゐるのであるが、彼等は今に至るもなほ日本にその遵守を要求してゐるのである。九ヶ國條約はかくして外國の東亞に對する要求を公文化したものであり、支那の政治形態に希望を表明したものだと言へる。その内容を露骨に言へば、すべての條約國が支那と結ぶべき政治、經濟關係のあらゆる場合に於いて完全に均等なる機會が各條約國に與へらるべきだと規定することによつて日本と支那とが特殊關係に立つことをあらかじめ阻害せんとしたものなのである。機會均等、門戸開放主義は最初ジョン・ヘイによつて提唱された時代には、支那に對する米國の立遅れを訂正せんとし本質上米國が歐洲諸國に要求したものであつた。けれども歐洲大戰後、歐洲の支那制覇力が著しく弱化した反面に於いて日本の■■は長大歩を示し、門戸開放、機會均等といふ同じ言葉が質的に變化して日本の發展に對する歐米の共同對抗といふ役割を果すやうになつたのであつた。若しこの條約が現在もあてはめられるものならば、滿洲國の獨立、國民政府との戰爭といふ事實を列國はどう合理化しようといふのであるか。列國の主張も甚だ矛盾してゐると言はねばならぬのである。

したがつて、われわれの問題とすべきものは列國がなほ持ち續けてゐる九ヶ國條約的イデオロギーでなければならぬ。われわれの東亞建設の前に横はつてゐる障害は實は列國の法理的主張などではなくして、この九ヶ國條約的イデオロギーに基く第三國であり、その權益なのである。彼等にとつて見ればそれは數十年乃至はそれ以上も費して築き上げた地盤であり、租界の如きは殆ど自國の領土に近いほどの觀念を抱いてゐるのである。その租界の中に外國の重要な經濟機關の殆ど全部が集中してゐる。これに統制の手を及ぼすことなくしては新しい經濟建設は出來ないのである。これを完全な支配下に置くことは相當困難な事業には違ひないがわれわれはそこを目指して進まねばならぬ。それがためにも現在の如き國民政府を一日も早く壞滅せしめることが肝要なのである。

反蔣に終始せる「彼を繞る人々」
第三インターの陰謀を衝く（下）
汪精衛と

汪精衛の國際觀は國民黨の父、孫文の大亞細亞主義により訓育されてゐると言はれ支那の滿洲事變聯盟提訴に對して汪は最初から反對し「日本と直接に話せば解る」との主張を懷いてゐた、張學良が汪の政敵なることは滿洲事變後と雖も變りなく北京にあつて反滿工作を繼續し事毎に汪の對外政策を妨害したものである

長城戰後張學良をして下野外遊せしむると共に汪精衛も一九三二年國民政府を離れ黨務に參畫したが一九三三年再び行政院長に就任し外交部長を兼任し彼の懷く亞細亞觀を以て滿洲事變後の日支關係の調整に當つた、汪としては最も華やかな時代であつたが、反■派のため一九三五年十一月一日第四期六中全會開會式當日拳銃を以て狙擊され汪は療養し一九三六年五度佛國へ向つた

日支事變勃發の一九三七年一月歸國したが汪内閣當時と形勢一變し所謂北支政權回收問題を癌として日支國交は行き詰り、事變前に於ける澎湃たる抗日■潮は全支に充滿してゐた頃で汪も歸國後頻りに抗日的口吻を洩らし、その地位の保持に努めてゐた■である、昨年三月の國民黨臨時全國代表大會に於て國民黨副總裁に選任され今日に及んだが汪今次の重大聲明は依然汪本來の政治的信念、彼の持つ國際觀を基礎に■足するもので常に國難來に對處する汪の重大決意が窺はれるのである

×　×

汪派の内その經歷、國民黨部内における地位等よりして正に汪派の重鎭たるは陳公博、顧孟餘であらう、陳は北京大學を卒業後一度は中國共產黨に入黨したことがあるが間もなく除名され、コロンビヤ大學に修學後國民黨に入り孫文の門下に活動した、武漢政府時代には顧孟餘と共に汪の下に工人部長、中央黨部政治主任として要職に活■し、武漢南京兩政府の合體後は汪精衛、顧孟餘、于右任等と共に南京に乘り込み、その後廣東における共產黨事件によつて汪及び顧、曾等と共に香港に逃れ次いでそれ〴〵相前後して渡歐した

顧孟餘はベルリン大學で經濟學を專攻し北京大學教授をしたこともある、一九三一年汪行政院長就任と共に鐵道部長に顧、實業部長に陳を擁ゐ汪内閣の重要推進力たらしめた汪の側近にあつて彼の高級副官役にあるものは褚民誼である彼は前清末日本に學び、次いで佛國に赴き本國の革命を國外より援助したが一九三一年から三六年迄國民政府行政院秘書長として汪内閣の全盛時代汪を補佐し陳公博、顧孟餘について汪夫人陳璧君、彭學沛、曾仲鳴、柏相生等と共に汪の側近にあつて共に智謀をめぐらす汪ブレーントラストの一人である、國民黨員としては陳、顧、褚及陳璧君夫人は何れも中央委員であり、曾仲鳴、彭學沛は候補中央監察委員である、彭學沛はブラッセル大學で經濟學を修め、南京中央大學、北京大學、廣東中山大學の教授を勤め、南京中央日報主筆を經て汪のもとに内政部次長、行政院政務處長を歷任し現在交通部次長の椅子に在るが今回汪の脫出に飛行機の便宜をはかつた廉で抗■派に捕はれたとの報がある、汪幕下の小壯組にして共に異色あるは林伯生と曾仲鳴である、共に本年三十九歲、林はモスコー中山大學を卒業し、曾はパリ大學に學んでゐる、曾つて林は汪派の機關紙上海中華日報の編輯長を、曾は香港の汪機關紙南華日報の編輯にそれ〴〵當つてゐた曾は汪の往くところ影の形に添ふ如く常設秘書長とし或はスポークスマンとして行動してゐる汪の腹心である、曾はフランス文學に通じ著書も多く林は文筆の士であり共に汪の代辯者として縱橫の活躍をなすが林は汪の行政院長當時滿洲事變後の日支關係調整に關して「二筋の對日路線」を執筆發表し徐道鄰が「日本は敵か友か」の論文を發表して滿洲返還を以て日支關係調整の先決問題だと論じたのを反駁「それは痴人の夢に等しい」と極めて現實的な外交策を主張したことがあるが「日本は敵か友か」が蔣介石の命により徐に執筆され「二筋の對日路線」が汪精衛の命令によつて林により執筆されたのだと當時傳へられ注目を惹いたものである

此等汪派の智囊達が今後如何に汪を助けて反蔣反共の大旆を進めて行くか極めて興味ある所である、敗戰に動搖する蔣政權に眞向から反擊を開始した汪とその衛星達は今や世界史的な舞臺の上に脚光を浴びつゝある

三寒四温

松岡滿鐵總裁の心臟の強さは既に國際外交場裡でも試驗濟で定評があるが彼の脫線癖も亦相當のものでうつかり總裁を訪問して默つて彼の喋舌るのを聞いてゐるとこちらの用件を切り出す暇のない内に時間が過ぎて了ふので有名だ先達つても或人が總裁から「わしは少年時代は熱心なクリスチャンで十四のときアメリカに渡り…」と飛んだ昔話を聞かされ何が何だか要領を得ずに歸つて口惜しまぎれに大津關東局總長にその話をすると總長ニヤ〳〵笑ひ乍ら「君ィ滿鐵に脫線は禁物と昔から相場が決つてゐるのに松岡さんが脫線の名人とはこれ如何に」とやつたので一同どつと吹き出し「流石に松岡さんは鐵道だけでおさまる人ではないのかも知れぬ」と云ふ事に衆議一決した

五ヶ年計畫の進捗により
大工場地帶多數出現
注目される滿洲國濱海地方

五ヶ年計畫も既に第三年度を迎へて計畫各部門並にこれに■■する各種近代工業が續々勃興しつゝあるが、これらの工場建地として平地面積、動力源、原料並に販路及びその輸送關係、工業用水等各種條件に就て調査、檢討、進捗の結果は各地に殷盛なる新興大工場地帶の出現が豫想されるに至つた、しかして奉天、錦州等は既に工場地として隆盛を極めてゐるがそのほか吉林、錦州、安東、葫蘆島、遼東半島東岸、東邊道等の各地があり、特に最近政府當局者並に企業家の眼が製品並に原資材の■日輸送の條件から海岸地帶に注がれてゐることは極めて注目すべき傾向で、その■果安東より關東州に至る遼東半島東部海岸と言ふ興味ある新候補地まで出現するに至つた、右の各地について各々特長並に現在の狀況を見れば左の如くである

一、奉天鐵西　全滿にその比を見ざる優秀なる工業用水、滿洲國の中心にして物資集散地たる地理上の利便等よりこの地は既に既成工業地となつてゐるが、最近における各種工業の目覺しい發展は新工業地帶の第一位に列せしめられる

一、吉林　第二松花江ダムの建設によつて豐富な電力を供給されるこの地は既に滿洲電氣化學工業會社のカーバイト工業及び野口系の石炭液化工業が豫定されてゐるがこれに附隨した各種電氣化學工業が隆盛を極めるものと見られる

一、錦州　阜新に設立豫定の滿洲合成燃料の液化工業用水の關係で錦州へ移つたことは有名であるが、その他現存セメント、■粉等の工場も新設されてをり海港に近く鐵道各線の集中點たる交通の便と阜新、北票兩炭礦を背後に控へてゐることにより各種計畫が目下樹立されつゝある

一、安東　安東下流の鴨綠江河口は鴨綠江水電と東邊道鑛產資源を近くに持つてゐる關係で、工場地として有望視され朝鮮側多獅島築港計畫との關係上安東港築港問題が鮮滿合同會議■催にまで立至つたがその結果築港計畫決定、工業用水に就ても大體調査ずみである、既に工場建設中のものには滿洲輕金屬會社のアルミニユウム工場がある

一、東邊道　東邊道鐵鑛資源に就ては餘りに有名であり既に滿業子會社として東邊道開發會社が設立され通化北方に製鐵所候補地の買收も終つたが平地の少いこと及び交通、治安の不便等よりして將來の工場地としての規模に就てはなほ研究の對象となつてゐる、然し鐵鑛のほか鉛、亞鉛、金、銀、銅、石綿等の資源も賦存するのでその開發に就ては極めて注目されてゐる

一、葫蘆島　海港であることは錦州以下の條件を備へてゐる譯で、製品全部を日本へ送り出す滿洲硫安工業會社はこゝに工場を建設することゝなつてゐるが、此處の廣大なる鹽田候補地を埋立てゝ工場地とする計畫が目下進められてゐる

一、遼東半島東岸　この地はまだ計畫にまで立至つてゐないが一萬噸級の入港可能な海岸が隨所にあり而も全部不凍であるので築港並に工場地として着目されるものと見られるが特に接岸地帶鎮重の最近の傾向よりしてその將來は極めて興味あるものである、電力としては近くに鴨綠江水電があり石炭に就ては鐵道輸送を不利とする場合は葫蘆島よりの海上輸送等方法は容易である

產業五ヶ年計畫の
再檢討不可避
新情勢に對處して

產業部五ヶ年計畫實施第二年度の實績に關しては來月初め新京に於て開催される官民合同經濟懇談會席上關係各部代表より詳細に報告されることになつてをり、目下產業部、經濟部、交通部等事務當局に於て關係各會社より報告を徵し鋭意集計を急ぎつゝあるが昨年度に於ては今次事變の長期化に伴ふ内外情勢の目まぐるしい變轉により所要基礎資材の取得困難、技術勞力の不足、輸送機能の不圓滑等各種不測の被害にわざはひされ一部產業には年度目標に達せざる部門もあり今後も現在の如き客觀的諸情勢がこのまゝ繼續するにおいては新情勢に對處すべき計畫自體の根本的再檢討が行はれることは今や不可避と見られるに至つた、しかして過去の實績に徵し今後特に考慮すべき點は右障害事項の根本的是正は勿論

一、鑛工業部門における各種產業の併行的計畫を修正し直ちに效果を擧げ得るが如き軍需工業に重點を置くべきである

一、各種資材に關する日本の對滿供給餘力が極度に縮小された結果、例へば機械部分品、ベルトの如き重工業の各種補助產業は成可く現地に起し、現地調辦力を强化することが急務である

一、關係企業と政府との關係を緊密强化すると共に現在の行政機構を五ヶ年計畫遂行の基本線に即應して改編する必要がある

一、外貨取得國際收支の是正は益々重要性を加へて來たので輸出產業特に大豆增產に對しては■極的助成策を講ずべきである

一、技術者の養成補給については特別の方策を講ずると共に日本に■し理工科系諸學校學生の大量增員を要望する必要がある

一、最近における滿洲國計畫資本の飛躍的急增に伴ひ、この際日滿物動計畫に即應する國資金調達につき徹底的措置を講ずべきである

等の有力意見が官民當局者間に根強く主張され、これが成行きは各方面より至大の關心がよせられてゐる

匪首三江好等
第一審公判近く開廷

康德二年七月九台縣土們嶺で國際列車を襲擊したのをはじめ部落襲擊、官民殺害など暴行の限りを盡し建國直後の滿洲國の治安攪亂、武力的抗日運動に躍起となり、滿洲の野を縱橫に荒れ狂つてゐた匪首三江好こと羅明星（四一）、北斗こと孟■慶（二七）の兩名は康德五年正月龍江縣の行商人を裝ひ今次の日支事變勃發と共に後方攪亂の機を狙つてゐたが、村民の密告により惡運盡きて遂に九台縣警察署員に逮捕され爾來吉林高等檢察廳で犯罪事實につき取調中であつたが、この程證據歷然證人傍證も確實となり戰慄すべき犯行事實が明白となつたので、愈々この程吉林高等法院次長中野俊助氏は兩名を中央法衛高等法院に起訴、中央法衛治安廷で來る二月初旬宮本審判長係で第一審公判に附せられることになつた、吉林檢察廳によつて白日下に曝された匪首羅明星の犯罪事實左の通りである

□

羅は大同元年陰曆三月友人宋海山の匪團に投入、各地を橫行してゐたが、同年陰曆五月宋が戰死するや自ら匪首となり、匪名を三江好と稱し建國直後の滿洲國より日本勢力を驅逐し、東三省恢復を企てる反滿抗日團を組織し

一、大同元年陰曆八月十三日部下劉萬金以下約六百名を率ゐて德惠縣張家溝を襲擊、軍■機關銃、小銃合計約八十挺、砲彈約十三箱、彈丸約一萬發を掠奪

一、同年陰曆十一月磐石縣樺甸山驛構内にて■■決發の際日本軍佐伯中佐以下七名を殺害

一、大同二年陰曆八月衛東北抗日軍要人と密議のため天津、北京に赴き當時東北抗日救國軍總司令幹部韓香閣、于止興、李則仁等と會見、武力的抗日運動の密議を凝す

一、同二年陰曆七月廿九日九台縣土們嶺で部下約四百名を率ゐ國際列車を脫線せしめこれを襲擊、旅客日滿人二十餘名を殺害し、二十數名を拉致し、旅客所持金を掠奪

一、同年陰曆十一月單身上海に赴き同地に隱匿してゐた■東北抗日分子王德林、■嘗明、李杜等に面接、抗■運動につき密議を凝す

一、同三年陰曆五月濱民政府首席蔣介石、何應欽等に面接、滿洲■現情、抗日運動の情勢を報告し蔣より東北抗日救國軍總司令に任命され、抗日運動に■する重要指令を受け旅費一萬五百圓の交附を受く

一、孟和慶は大同元年陰曆七月匪首合財の匪團に投入し翌陰曆八月同匪團が羅の匪團に合流するや同人の部下となり、匪名を北斗と稱し羅より前記思想の訓育を受け共鳴、爾來同人と行動を共にし犯行を致行してゐたが、兩名共康德四年五月頃より龍江縣泰安鎮で良民を裝ひ前記活動の時機を狙つてゐるうちに村民の密告により逮捕されたものである

本年度所要
入滿苦力
九十一萬人

政府は十八日午後二時より國務院第一會議室において勞務委員會を開催、副島民生部補導科長、伊吹、高津總務廳參事官以下各委員出席、今年度苦力需要を各部門別に集計の結果、今年中に九十一萬人の入滿苦力を要する旨の報告並に入滿後の割當は勞工協會をもつて行はしむる方針につき說明あつて後國内勞働者補給に關し種々協議を遂げ午後四時散會した、之を昨年度の入滿苦力四十七萬人に比較すると大體二倍近くの激增を示してゐるが、右は五ヶ年計畫の進行に伴ふ自然增加の外治安上の必要から入滿苦力に或程度の制限を加へてゐた從來の方針を一擲し北支に於る情勢の變化に應じ苦力の入滿を助長すると共に或程度の福利施設をも考慮するに至つた當局の方針の變更に基くもので現在の情勢では果して九十一萬の苦力を入滿せしむるか否や注目されてゐる

昨年中の
坂井部隊討匪

坂井部隊■■＝昨年十二月中における討匪戰果左の如し

出動回數　一六〇
戰鬪回數　一七
銃殺、捕殺匪首　揚北、蔣德智
遭遇匪數　約一六〇
敵に與へし損害
死　三六
鹵獲品
小銃　二
同彈藥　三七〇
拳銃　九
同彈藥　二四
馬　一
人質救出　二
わが損害
戰死兵　一
戰傷　下士官　一
兵　一
投降匪及び通匪者逮捕並に押收兵器次の通り
投降匪　五
逮捕　三
通匪　八五
押收兵器
小銃　一五
同彈藥　七〇三
拳銃　二七
同彈藥　四三
洋砲　八
山寨覆滅　一四

第二軍管區

第二軍管區司令部發表＝十六日■■縣○○方面を掃蕩中の李部隊十名は午前十一時半四一八高地において共匪見高團長■約百と遭遇、交戰二時間半にしてこれを東方に擊退した

匪損害
遺棄死體　九
小銃　四
拳銃　一
手榴彈　一
小銃彈　一五〇
その他食糧品多數
わが方損害
戰死　一（少士蘇通昇）

開拓村を模範に 技術研究に主力

今後の農業五ケ年計畫

五ケ年計畫農業部門の第二年度までの實行は作付面積の增加による增產が主として行はれて來たが、今後は技術的研究に主力が注がれ農事合作社、土地問題等に關する政策的進展と相俟つてその效果を期待されてゐる、而して目下當局において考究されてゐる技術的研究並に指導の方法は左の如きものである

一、土性調査　從來公主嶺農事試驗場を中心に土壤に關する豫察調査を行つて來たが、今後は詳細なる土性調査を行つて適地作物についての精密な研究を完成する必要がある、本年度豫算では從來通り公主嶺農事試驗場が主としてこれに當ることゝなつてゐるが、近く何等かの積極的努力が行はれるものと見られてゐる

一、灌漑　肥料を使用する前提として灌漑は必須の條件で米國では小麥生產に就て土地代金と略同樣の費用を灌漑にかけてゐる程であるが、滿洲國では殆んどこれが行はれてゐない、今後は政府と農民と協力して先づ井戸の掘鑿より始めねばならぬ

一、肥料　掠奪農法により年々作柄の低下を來してゐる滿洲では肥料に依る對策を講ぜねばならぬが、先づ自給肥料より始めついで金肥を考慮するのが適當とされてゐる、自給肥料製造法としては今まで燃料に使つてゐた農作物の莖殼を家畜の飼料に當てゝ家畜の增產延いてその糞の增加を圖るを最も適當としそのためには燃料に木材を當て造林を行はねばならぬ、即ち農畜林の三者を併行してはじめて完全な農業が成立する、この遂行については合作社その他指導機關の協力に俟つ

一、勸農模範場　政府は各縣に勸農模範場を設置して農村の技術的指導の中心とする方針を樹てゝゐる、而してこの模範場に對して指導的地位に立つべき技術的研究機關たる農事試驗場の設置についても既に具體的方針を確立してゐる

一、拓士　今後は農業に關する技術的研究の結果をまづ開拓村において實行して試驗すると共に一般農民に對する模範とする、なほ農村形態、訓練等農村に關する一切の事象につき開拓村を模範の地位に立てるべくこれを生育する方針である

一、農事指導員　各縣に配置せる農事指導員は從來量質共に不足してゐたのでこれを擴充し、合作社協和會分會と協力して農村指導並に地方的技術研究に當らしめる

日滿農政研究委員會近く設立

政府は農產物の積極的增產を期するために一方において技術的改良に重點を傾注すると共に他方近く日本政府と打合せの上日滿農政研究共同委員會を設立することゝなり、本年度豫算に右委員會に對する經費二萬五千圓を計上、日滿を一體とした農政の確立に乘り出すことゝなつた、即ち右委員會は昨年日本で開かれた日滿農業懇談會の結果、恒久的機關として設置を見たもので同委員會においては農產物の消費配給關係より生產部面にわたる一切の農政に關して日滿ブロックの見地から緊密な聯絡を保持して對策を檢討し兩國競合關係を除かんとするものである、しかして委員は日滿兩國の官廳關係、民間の權威者を網羅してゐるが、政府は委員會に對して積極的指示を行はず委員會は自由な立場で公正なる政策の研究を行はんとするものである

日滿農業技術委員會も計畫

一昨年新京において開催された農業政策審議委員會は日滿兩國の權威並に當局者を網羅して討議を遂げ爾後の滿洲國農業政策に關して見るべき政策を確立したが、滿洲國政府では五ケ年計畫農業部門の今後の成否が農耕に關する技術的研究に俟つところ多大なるものあるに鑑み、さきの農政審議委員會に倣つて日滿農業技術委員會を開催すべく目下その計畫を進めてゐる、右委員會は日滿の技術者を集めて土性と適作、及び肥料、品質の改良、機械の使用その他各種の技術的問題を討議して今後滿洲における農業の進むべき方向につき決定的意見を作成せんとするものであり、新京において開催される豫定であるがその成果は多大なるものと期待される

合作社完成により農業政策確立

昨年春行はれた產業五ケ年計畫の修正に際しては農業部門については鑛工業部門と異り品目に大豆を追加した以外には當初の計畫に變更を加へなかつたが、計畫實行上について生きた人間と自然とを對象とするものである關係上、一定の目標數字を掲げて嚴格にその實行を圖ることに對して反省が行はれた、即ち五ケ年計畫遂行上の重要機關たる農事合作社の□□□□□□□□□□合としての機能を充分發揮出來ず五ケ年計畫作物を各地に割當てゝ實行する上において諸種の矛盾に逢着したのを主として計畫實行上幾多の困難が感ぜられたので、その結果として五ケ年計畫は一應樹立し置くもその實行についてはあくまで無理を避け農業政策の根幹は農民の更生を第一途に置き、それによつて農作物の增產を圖るといふ方針をとることゝなつた、しかしながら康德五年度中において縣單位合作社の下に實行合作社の設立が相當進捗し、なほ目下着々進捗しつゝあるので合作社業務も追々と地についたものとなり、なほ農業政策實行上の根底に橫たはる土地問題が講ぜられるものと見られるので從つて農業五ケ年計畫の遂行についても他の部門と同樣の實行性を豫想する傾向に漸次立向ふものと推察される

產業開發五ケ年計畫 完成後の滿洲〔中〕

鈴木啓示

化學工業

元來工業は重工業體系と化學工業體系とに二大別されるが、前者は巨大なる資源と現在既に一應の基礎設備が出來上つてゐる強味を有するのでこれがどこ迄發展して行くかは時期の問題である、これに對し化學工業部門は曹達、硫安、石炭液化、パルプ等は既に華々しく着手され、更に昨年十月滿洲電氣化學工業會社が設立されるに及んでこの部門こそは滿洲新興產業の花形として時代の脚光を浴びてゐる狀態である、けれども硫安、曹達、パルプの各工業は化學工業としてはまだ初步の段階で、將來滿洲において有望なる眞の化學工業は電氣化學工業、輕金屬工業及び合金工業の三つであらう、このうち輕金屬工業は滿業の子會社として滿洲輕金屬會社が設立され小規模ではあるが、アルミニュームやマグネシュームの製造に着手してゐるが、アルミニューム原料たる礬土頁岩の推定埋藏量は約一億二千萬キロトンの巨額に達するので□ケ年後には相當の發展を遂げるであらう、合金工業も製鐵をはじめ銅、亞鉛、鉛、アルミ、マグネ等の非鐵金屬工業が五ケ年計畫後ほゞ自給の程度に發展し、更に水力電氣事業が本格的活動を開始するに至れば世界的規模の大工業となる可能性が充分ある、以上の二つは現在では重工業部門に屬する工業として滿業の經營下に配置されてゐるが、本來ならばこれ等は純然たる化學工業であるから滿洲電氣化學工業會社と相並んで一聯の化學工業開發機構下に再編成さるべき時機が來るであらう

次に電氣化學工業であるがこれは日本においてもまだ完全なる電氣化學工業は確立されてゐない、特に滿洲に於ては全くの處女地である、日本におけるこの部門が歐米の技術水準に比し特に立ち遲れてゐるのは電氣化學工業にとり最も重大關係を有つ電力政策の無定見と特許政策の放慢とに基因するものであるが、滿洲においては既に水電國營が實施されてをり、特許政策も第三國人が徒らに特許權を濫用し得ない□な特殊な特許プール制度の如きものが研究されてゐるといふことであるから此の點の心配はない、更に電化工業の三大原料たる電力、石炭、石灰石は共に豐富であり、特に重大要素たる電力は一キロ四厘五毛程度で安價に供給出來るといふのであるからこの部門の發展は期して待つべきものがある

そこでさきに滿洲電化工業會社設立の當時においても內地企業の夥しい參加希望があつた位で、重工業部門が滿業の獨占的經營下に委ねられてゐる今日においては、この部門における日本資本の進出が最も期待されてゐる

ところで滿洲の電化工業は差し當つてどんな形態を採つて發展するかといへば、まづ滿洲電氣化學工業會社は專らカーバイト製造を行ひ、これから得られるアセチリン瓦斯を各種の電化工場に共給するといふ方針であるから水電五ケ年計畫完成と共に同社が操業を開始するに至れば直ちに同社を中心として人造ゴム、人造羊毛、人造樹脂、カーボン、石灰窒素等一聯の製造會社が次々に設立されるであらう、目下の推算ではこの設備資金だけでも二億乃至三億圓の巨額に達すると言はれてゐるが、他方これ等諸會社が本格的活動を開始するに至れば現在その需要量の全部を海外から仰ぎ、□防上ならびに工業上最も重要な原料たるゴムに對する日滿自給も充分可能と見られ、また現在十五萬□の硫安需要に對しても僅にこれをカバー出來るし、また羊毛に對する補給力も相當增大する見込である、なほ無煙炭コークス、天然黑鉛並に電力を主原料とするカーボン工業は一般化學工業の基礎となるものであるが、これも目下關係各機關において研究中であるので早晚設立の運びに至るであらう

特產加工業

特產中央會の調査によれば輸出大豆三百六十萬瓲(豆粕豆油を含む、建國基準前後十年平均)の使途別數量は□料百八十萬瓲、□料九十萬キロトン、食料七十萬キロトン、その他二十萬キロトン、の□合である、勿論飼料及肥料としても大豆がそのまゝ使用されるのではなく、大豆を搾油した油糟が使はれてゐるのであるが、現在歐洲各國の大豆輸入は工業用原料としてゞはなく飼料乃至肥料補給の目的をもつて輸入してゐるのである

これをもつて觀れば純粹に工業用原料としての特產需要は現在のところ未だ殆んど言ふに足らないものと見て差支へないであらう、然らば滿洲大豆の輸出は今後も飼料乃至□料として永久に繼續されるであらうか

□料乃至肥料としての滿洲大豆の輸出餘力はなんといつてもその値段が安いといふことが第一條件である、然るに最近においては爲替關係及び日本の□價高、その他歐米における競爭的油脂原料の出現等の諸原因に依り結局滿洲大豆の割高を招いてはその輸出伸力を相當鈍化せしめてゐる現狀である

即ち滿洲大豆の需要が飼料乃至肥料として止つてゐる□は、結□歐米市場の動きに百%の支配權を握られる結果となり、延いては滿洲經濟そのものが全く歐洲に依存してゐなければならない破目に陷るのである

そこで政府は建國以來大豆加工業を獎勵助成し、同じく大豆を輸出するにしても原料としてゞはなく製品として輸出する方策を研究しつゝあつたが、最近滿鐵中央試驗所、大陸科學院等の研究により漸くこれが企業化の段階に達したといはれてゐる、そのうち一、二の例を擧げれば、豆粕を處理してカゼインを採り、これから人造羊毛を製造するもので、これは現に日產系の□□產業で試驗工場を造り好成績を擧げてゐるが、滿洲においては何んといつても原料たる大豆に惠まれてゐるので、これが完成後は最も有望なる近代工業として各方面から囑目されてゐる

次に油脂工業であるが、歐米の油脂工業は最近滿洲の□坊工業などに比すれば格段の發達を遂げ硬化油、マルガリン(人造バター)等の如き高度な製造工業が續々と設立され、從つて油脂原料の如きも最近では七百五、六十萬キロトン程度を印度、アフリカ等の植民地から輸入してゐる狀態である、そこで日本及び滿洲の各會社方面でもかねてからこの方面に着目し、熱心に研究を續けて來たが、今後二三年後には必ず企業化される時機に到達することは確實とみられてゐる

蘇子出廻停滞

政府、總局の善處要望さる

特產物中でも高級乾燥性塗料ならびに塗料原料として殆んど全部米國に向け輸出され百%の外貨獲得をなす蘇子(小蘇子、胡麻などの製油原料悉く然り)の如き殊に出廻り甚しく遲れ發送寄託後數ヶ月を經過して尙ほ到着せず、この狀態は今日に至るも改善されず最近の大連到着高は一日平均五、六車に過ぎず、これが爲め相場暴騰し八圓卅錢見當であつたものが、一月中旬の今日では九圓七、八十錢見當となり一圓四、五十錢方の高値を示し海外との新規商內に杜絶したのみならず現約定の履行も不可能となり、而も違約金の支拂さへ要求せられることゝなり□□□く滿洲國、關東州日本內地の輸出商は困惑し蘇子搾油工場は操業休止に近き窮境に陷つてゐる、蘇子の海港地への出廻りが如何に不良であるかは昨年十二月末の沿線在荷が六萬五千キロトンに達し前年同期(十二年度產)在荷一萬五千キロトンに比し五萬キロトンと言ふ大量增加であつて六萬五千キロトンのストックの中五萬キロトンが既約定品であるに徵して餘りに明白であり、斯くては十三年度產蘇子が余收穫九萬キロトンで今後の輸出餘力二萬キロトンを有してゐるに拘らず、次第に亞麻仁その他の代替品に海外市場を蠶食されつゝあるので蘇子の完全な輸出は不可能となるべく、國內消費稅は昨年八月半額に引下げられたが製品のそれは禁止的高率の儘据置き滿洲製品輸入阻止の態度を改めず、米國向の輸出に懸命の努力を試みてゐる當業者は拱手傍觀の外なきに至るものとして悲觀して居り滿洲國農產計畫遂行の爲め、又日滿產業開發の上からも外貨獲得に利する必要からも蘇子蘇子油の海外輸出の□義は無視すべきでなく、その爲めにすみは先つ港頭在荷を豐富にすることが先決條件なので出廻り促進に鐵道のみならず政府方面へも周到の考慮方を期待してゐる

新京小麥粉配給組合結成

吉林西部小麥粉配給業者が行政地域別の配給を主張した爲め結成に意外の問題を起してゐた新京小麥粉配給組合は、今回懸々經濟部、市公署の斡旋で結成を見るに至つた、即ち三井、三菱、明治、石崎洋行、三泰棧、福昌公司等の日本人卸業者並に滿人業者の昌源、會發合、天增銓、新盛久等十四社を以て結成、配給地域はこれ等業者の既得權益を認めて新京、吉林西部、龍江二縣とし聯合會よりの配給數量は三百四十萬袋に決定、これが內譯は新京二百五十萬袋、吉林西部九十萬袋と決定した、吉林省西部業者は新京と合同して組合を結成するときは希望の配給數量を得られない懼れがあるので行政區域的に新京と獨立して新組合を結成せんとしてゐたが、今回小麥粉配給の大局的見地から新京と合同して右組合の結成に同意したものである、尙新京の消費量は百六十萬袋、吉林西部は百八十萬袋である

鐘紡間島省で亞麻栽培計畫

滿洲國重要產業統制法に於ける指定亞麻栽培に關し、鐘紡に於ては豫ねてより咸北羅南に七町歩の試作場を設けて試作中のところ、滿洲國が氣候風土の關係上頗る好條件に惠まれてゐるため、鐘紡系開山屯東滿パルプ工場長專務取締役河村浩逸氏並に□紡農務課開山屯出張所主任大場廣由氏の兩氏はこの程省公署と交渉のため延吉へ出向した、耕地は本年度五百町歩から千町歩の栽培を爲す豫定で同社より農民に給付し□耕法を指導、收穫は同社に於て買上を爲す事となつて□り二毛作の出來る關係上□□のため頗る□音として實現期待されてゐる、因に同社に於ては差當り間島省で着手し將來は通化省、安東省にも及ぶ計畫である

處女林開發に內地技術者入滿

【東京國通】滿洲を蔽ふ六千萬町歩の處女林開發のため滿洲國では十四年度豫算として十餘萬圓を要求してゐるが、わが國の各營林署の現職技術者百五十名、四百名の中等學校卒業者並に五百名の現業員を滿洲へ送ることゝなつた、先づ現職者中から赴任する高級技術者は高等約十名、その他は判任官級で國營林署から詮衡、直ちに月中に農林省山林局の手で滿洲國林野局を通じてそれぞれ現地へ向はしめ中等學校卒業者は三月初旬迄に決定し早々から半年間東北地方、九州、四國、その他の□有林で實地指導をなした上今年中に滿洲へ送り現業員五百名もこの秋頃までに全國から集めて家族同伴で渡滿せしめる管

バス運轉に關し訴へ (一市民)

投書歡迎　中傷不可

寒風の中に四十分も一時間も立たされるバス運轉に對し、千萬言改善を要求し耐へ忍んで來たが、全然誠意を認め難し、本問題は最早交通會社を相手とするには餘りに問題が大きくなつて來た、廣漠たる市街の計畫に依り點在居住を餘儀なくせらるゝ市民の此の苦痛を當路者は何と見て居るのであらうか、自家用又は會社、官廳の自動車を乘り廻すエライ人には何等の痛痒はないかも知れぬが、自分に不自由がないからとて此の狀態を知らぬ顏して居る監督官廳なり、市の當路者は冷淡なのか、無能であるのか、無限に伸行く國都市民の足である大事なバス運轉を、百や二百萬圓の小會社に獨占經營せしむることが當局者の無能を物語つて居るのではあるまいか、宜しく鐵路總局か市直營とし、公共□□としての機能を發揮して貰ひたい、此の國都の一大恥辱であるバス問題を充分檢討せられん事を敢て關係當路者に訴へ、市民の困苦を除去し、明朗なる國都市民とせられんことを切に要望するものなり

商況欄 十九日後場

●大連株式(短期)

五品	寄付	大引
東新	一三五、三〇	一三五、三〇
滿取	一三〇、九〇	一三一、二〇
同新	—	—
鐘紡	一四五、五〇	—
滿鐵	—	—
大新	七二、八〇	七二、九〇
豆新	—	—
土木	—	—

●奉天株式(短期)

	寄付	大引
滿取	—	—
東新	一二一、一〇	一二一、一〇
大新	七二、〇〇	—
滿業	七二、〇〇	—
同新	—	—
日產	[illegible]	—

新京取引市況

五品		
滿鐵	六〇、三〇	—
同新	—	—
鐘紡	—	—
電甲	二九、〇〇	—
電乙	二七、〇〇	—

●大豆

先物	寄	引	出來高
一月限	六、三三	六、三三	三六車
二月限	六、三〇	六、二七	三〇四車

手形交換高(十九日)　六四〇枚　一、三二五、七六二、九七錢

家庭

どこから出て來る？ お相撲さんの力
○デカイお腹も伊達ぢやない●

○●……お相撲さんは何故、腹がデカイかといふと、これは凡そ三つの條件が考へられます、その第一は

遺傳的な要素であり、第二には細い神經を使ふ仕事でなく、體の太い筋肉ばかりをつかつて、卅貫も四十貫もあるものを相手に力業ばかりしてゐることゝ、第三にはその結果、大きく呼吸をするので、自然と胸廓が上へ擴がる、その爲お相撲の胸廓は普通人か八〇糎なのに、一一一糎あり身長の六割三分となつてゐます

○●……この大きい呼吸を必要とする猛稽古を續けてゐるうちに、胸廓が段々とせり上つて肋骨は上へ上へと上り、遂には腹の中の空氣が稀薄になる、すると

腹の血液は早く心臟へかへつて、また出てくる、結局血の循環がよくなる、從つて腹の消化力は強くなる食べたものは殘らず榮養として吸收されてしまふといふ譯で、どん／＼腹が肥つてゆくのです

然しお相撲の中でも、武藏山などの樣に腹の出ないのもありますがこれは矢張り遺傳であるかも知れません

○●……そんならお相撲さんは一體どの位の力のあるものでせうか、勿論あはれな體格の持主と比べれば段違ひですが、力士四十人平均の

背筋力は一七一キロで、これを他の運動家とくらべると、柔劍道家三段以上八十人の平均が一六七キロ、投擲選手の強い者では一九二キロあります、ですから一番強いのが投擲選手で次が相撲といふことになります、この背筋力といふのは人間の體の三百程の筋力を代表するものだと見られてゐるものです

○●……言ふ迄もなく人間の力は身長とも關係が、あるのですが力士の平均身長は一七六糎（大凡そ五尺八寸）柔劍道家は一六八糎、投擲選手は大きい方が一七三糎、小さい方の人でも一六八糎となつてゐます、また日本の壯丁の身長は一六〇糎です、つまり相撲も、これでみると力ばかりではなく、相應に體と技が要るといふことが分ります

○●……彼等は朝食にはお粥をたべ、午前中はどしん／＼と猛稽古を續けるので、晝食には大體十二杯位のめしをくひますが、これは我々常人の一日分以上に當ります勿論これで晩めしも相當にくふので前に言つた腹の出る理窟と相俟つて、どん／＼

重さがついて、平均廿六貫七百八十匁（一百キロ）といふデカイものになつてしまひます

○●……尻がデカイのは、四肢をふんだりすることも一つですが、何しろ敵よりも重いことが一つの勝つ要素となるのですから、それに體が適應してお尻が大きくなるのですつまり尻が出て、腹が出れば立つても坐つても一番體の安定がよいからです、結局人間の體はその狀況に適應するものですが、力士も力士業に適應した結果であると申せませう

體質と環境で 子供にも神經衰弱
大人のみではない

神經衰弱は大人ばかりの病氣の樣に見られてゐますが、これは間違ひで、子供にも神經衰弱があります、どんな子供がさうか氣むづかしやで意志が弱く、注意力がなく忍耐心に乏しく女中などにあたり散らしたりするやうなのがこれですが、また今まで嬉々として遊んでゐたのが突然痙攣を起して倒れ、意識を失ふ子供に醫學的診察をしてみると癲癇でもない、即ち小兒ヒステリーと診斷し得るものがありますが、これも[illegible]の神經衰弱といへませう、概括的には神經滲出性體質として取扱はれてゐます、かういふものは家庭の環境により

或は體質異常が原因で濃厚に現れて來たりします、たとへば獨り子だとか澤山兄弟のゐる末つ子、老人に育てられた子供などがさうで、ともするとさういふ素因をつくりやすい、またこれを榮養關係から見ると母乳榮養のものにもあるが、それにもまして人工榮養のものがこれになりやすいそんな子供は食物に對しての好き嫌ひが強い、子供は元來あまみの多いものを好くのを、大人の酒飲みが好くやうな鹽辛だとか、うに、のり、たくあんでお茶漬を食べるのを好むといつた傾向があります、これが

進んでは異嗜症といつて唐辛、わさびなどがすきになり、甚だしいのは炭、灰、壁などを嚙るといふところまで行く、日本人の習慣として哺乳期から普通食に移る離乳時代には間食として齒もないのに鹽せんべいなどを食べさせるが、その結果こどもは自然あまみの多いものを嫌つて偏食となり、精神的にも過敏症となり僅の刺戟にも引きつけ、或は氣むづかしく神經衰弱に陷るといふことになるのですから家庭での環境、食事などは常に注意して神經衰弱症に陷らせぬやうにしなければなりません、教育的には經驗のある教育家に依託して嚴格に指導するがよいが、これには兩親が理解を

持たねばなりません、しかし症狀のひどいものは[illegible]師の診察を受けて全く生活環境をかへるなり適當の措置をとる必要があります

卓上科學 お茶の成分と
飲用の起源、種類

嗜好品としてばかりでなく、精神修養の道として茶は日本人の生活に深く根をはつてゐます、茶は學名をテア・シネンシスといつて支那並に本邦原產の常綠灌木で古代支那では醫藥として用ひてゐましたそれが紀元五百年頃から

帝王が高官の功勞に對して茶を與へたといふ記錄があり、饗應にも使はれる樣になつたらしい我が國で喫茶のはじまりは判然としてゐませんが、聖武天皇の御代には既に飲用されてゐます。茶の栽培は桓武天皇の御代に、最澄が支那から種を持つて來て近江に植えたのが最初と云はれてゐます。茶には綠茶、紅茶、ウーロン茶等の種類がありますが、これは凡て製法に依る品名で原料は同じものです。紅茶やウーロン茶は綠茶のやうに蒸さないで日光で水氣をとり、焙爐で乾燥させたもので色が黑いのはそのためで、主に

台灣で生產されます台灣のウーロン茶が初めて海外に輸出されたのは、明治二年で、ジョン・ドットといふ英人が初めて紐育へ輸出し好評を得たことから、次第に台灣茶の眞價が認められ、現代では內地は勿論[illegible]鮮、滿洲、更らに遠く海外に輸出して優良なる外[illegible]品を壓倒しつゝあります。

茶は特殊成分の一つとしてテインといふアルカヒイドを含んでをりその爲に多少の苦味があり、綠茶や紅茶には大體三、二%含まれてゐます。このテインが神經系統を刺戟するので疲勞が癒り、眠氣が拂はれ氣分を爽快にするのです、この他に

澁味を與へるタンニンが大體一〇%含まれ、更らに芳香を發する揮發油を微量に含んでゐます新茶の香氣はヘキセノールといふ香油が小量存在してゐる爲で、貯藏法が惡いと直ちに發散して了ひます。綠茶にはまたヴイタミンCが相當含まれてゐますから、壞血病の人などには効果があります。

健全生活館
二月一日より開館

全滿の家庭に健全生活の指標を與へようと滿洲結核豫防會では新京錦町一丁目一三地內に建設中の健全生活館がこの程竣工萬端の準備が整つたので愈々二月一日から店開きをする運びになつた、館內の機構は保健相談、榮養指導、宣傳普及住宅相談、身の上相談庶務の六部に分れてをり、各部とも夫々機能に應じて今年度から本格的な健全生活運動に乘出す筈であるが、館長には社會保健問題にも造詣の深い滿大法醫學部の田中武助教授が招聘され、榮養指導部長には滿大の安部淺吉博士、住宅相談部長には新京特別市公署の益邑義夫技佐が夫々囑託となり、また身の上相談部長には前大連沙河口青年學校長船山榮七氏が就任をみてゐる

なほ各部の事業目的は次の通り

健康相談部 滿洲における日常生活の改善を基礎とした保健問題の研究指導を行ふ

榮養指導部 本年下半期より榮養學校を開設榮養士の養成を行ふほか工場榮養、家[illegible]榮養方面の指導を行ふ

宣傳普及部 健全生活叢書を刊行するほか保健指導の各種出版物を公刊する

住宅相談部 保健住宅建設、改築等の指導を行ふ

身の上相談部 各種身の上相談に應ずるほか精神修養機關として精神道場を開設する

十七日館長に就任した田中氏は語る

私は元來法醫學の方が專門なのですが社會保健方面の研究も興味を持つてやつて來てゐるので、今回の就任を機會に今迄考へてゐたことを實行に移したいと思つてゐます、健全生活館はひとり新京のみの機關ではなく全滿の機關ですから今後地方に開設される各支部と相俟つて廣く利用して戴き度いとお願ひする次第です

サージ類の垢ずれを直す法

サージ服は古くなると膝や背などが垢ずれて光つてきますが、これを直すには、まづ刷毛でよく塵を拂ひ、アムモニヤの極薄い液（コップ一杯にアムモニア五、六滴）を霧吹きで、その部分に吹きつけ、きれいな布を其の上に當て、よく熱したアイロンで火のしをかけます

厄年の醫學的說明

我が國で昔から言はれてゐる厄年の厄といふのは、本來の意味は決して災厄といふことを言つたのではない、ずつと昔の支那の醫書「素問」といふ本に書いてあることから來てゐて、厄とは人生の季節を意味するものだとしてあるそれが災厄の意味になつたのは、我々人間社會の長い間の經驗から來たもので、その厄年近くの年頃に達すると、よく事件が起ることがあるといふので、初めは災難を招ねかぬために、特に警告的意味で一般に使用されたものであるところが次第に年代が進むに伴つて、神秘を好む人間の本性として、これにいろいろの意味をつけ、災厄といふ文字の幻影に捉はれ、これを忌み嫌ふやうになつた。

◇

先づ人生最初の厄年は離乳の時期といへる。

死亡率も甚だ多い、併し、またこの端までは男女共通の厄年であるが、女性が初潮を見る頃から結婚する頃までは、精神的にも肉體的にも危險に臨み、婦人特有の厄年に遭遇してゐることになる、即ち女性が初潮期は一寸したことにも感情的な氣持になり反抗的、冒險的になつて、ともすれば生涯の針路を誤り勝ちなものである、これが結婚期になると今度は女としての煩惱、苦悶があり、誘惑による危險も伴つてくる、この時機も又厄年として警戒する必要がある、婦人の三十三歲を大厄といふのは、この年頃になると結婚して凡そ十年あまりの時日が經過してゐるので夫婦の間に倦怠が襲つて來るときである、それに

肉體的にも疲勞狀態に入り身體全部の組織が弛緩して、分娩のときなどよく出血を起し、危險狀態を呈することもあるので、從つて婦人一生の大厄として、昔から恐れられ警められるやうになつたのである。

次に月經の閉止期になるといろ／＼の變調や異常が生じて神經痛又は精神病になる者が少くない。さうでなくとも淪落に伴ふ孤獨の淋しさからいろ／＼の間違を起しやすい時である。

◇

男子が青年になるのは十八歲頃で、統計の示すところに依れば、酒を飲み習つて生の大厄の種子を蒔くのもこの時機だし、遊里に足を向けて生涯の苦悶の因を作るのもこの年頃である。二十五歲になる迄はずつと厄年の連續と考へて差支へない、いよ／＼學校を出て社會に踏み出すまで、即ち社會の活動場裡に入る頃になると、十中の十迄理論を實地に應用できないため、色々の精神的煩悶を起して

早發性痴呆症のやうな[illegible]氣になつたり、厭世病患者になつたりする。

男子四十二歲の厄年といふのは結婚と生活の倦怠期にあたるのも勿論だがかの恐るべき酒精中毒や、古い梅毒から來る麻痺性痴呆がこの年頃になつて發病することである、甚いのはそのために壽命を縮める。つまり男子の四十二の厄年といふのは、青年時代の惡の清算期である、だから若い時代に放埒な生活をしたことのない人は、この厄年をさほど恐れる必要はない

六十一歲は還曆といふやうに、曆法の干支が一廻りして元に還る意味だから、赤い着物を着て祝ふが、その實は老衰の初めであつて、精神作用は著しく鈍つて子供みたいになる。過去の激しい活動に原因する疲勞が一時にどつと押し寄せて來て老衰するものもあれば、又壽命を終るものもある、これが人生の厄年の最後で、これをうまく切り拔けた人は、まそれから十年、二十年、三十年と長く安泰な生活をつゞけることが出來る

けふの番組
「M・T・C・Y 新京放送局」二十日（金曜日）

◇朝◇

七、五〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
八、一〇 ニュース
八、一五（大連）初等滿洲語講座 秩父固太郎
八、四〇（大連）朝の音樂
管絃樂
二、管絃樂 スラヴ狂詩曲 フリードマン作曲
三、ヴアイオリン獨奏 ツイゴイネルヴアイゼン

◇晝◇

一〇、三五（奉天）家庭メモ
一〇、四〇（大・新）經濟市況
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一 晝の演藝「レコード」
一、管絃樂 ボレロ ラヴエル作曲
肺炎に就て
一〇、二五（奉天）料理獻立 梅宮次郎

◇夜◇

〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大・新）經濟市況
三、〇〇（東京）經濟市況
三、二〇（東京）ニュース
四、〇〇（東京）ニュース 氣象通報・ニュース
四、三〇（東京）大相撲春場所實況（九日目）＝兩國國技館より中繼＝ 市況・ニュースの時間には中斷す
四、四〇（大・新）經濟市況
五、二〇 ニュース「鮮語」
六、〇〇（札幌）子供の時間 お話と錄音 山の熊 農學博士 犬飼哲夫
六、二〇（東京）コドモの新聞 關屋五十二
六、二五 趣味講演 レトアニア植民地見聞記 沖野喜資
七、〇〇（東京）ニュース
七、〇〇 ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇（大阪）國民歌謠
一、早春の物語 獨唱 鈴木富美子
二、希望の船 齊唱 大阪音樂學校生徒 伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 指揮 編 喜多鐵雄
八、〇〇（東京）講演＝未定＝
八、〇〇（東京）管絃樂 日本放送交響樂團 指揮 ヨーゼフ・ローゼンシユトック 解說 牛山充
交響曲第四番 短ニ調 シユーマン作曲
第一樂章 稍々緩徐に…活潑に
第二樂章 ロマンツエ
第三樂章 スケルツオ
第四樂章 緩徐に…活潑に
四、管絃樂 ハイル・ウイーンナ接續曲 サラサーテ作曲
八、四〇（東京）爐邊叢談 解說 岡鬼太郎 落語 歷火事 桂文樂
九、一〇（東京）時事解說
九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解說・氣象通報・ニュース・告知事項 明日の番組
一〇、三〇 ニュース再放送
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間
アナウンサー田中（新）上養、池谷（晝）荒井、渡邊（夜）

少年俱樂部
（二月號）

◇新しい企劃で一頭地を拔いてゐる少年俱樂部は二月號に「靖國神社の光榮に捧げる文」の大募集を發表してゐる「愛讀者[illegible]大進軍」と相並んで少年讀者に精神的訓練と慰安の兩面を與へてゐる。

◇「負けない和尙」小牧近江—も面白い、吉邨二郎畫伯の揮毫も更に面白い、氣の利いた特輯は「少年寫眞新聞」である「おもしろ繪とき學校」もよい。

◇おもしろページの「珍らしい話、おもしろい話」もその表題にそむかぬ內容が愉快だ、戰線通信「これが日本の將兵だ」西澤晋道、時事問答「これぞ正義日本の進む道」澤田謙の二篇は時局と戰地常識を少年讀者に與へる點で有意義である。

◇特別計畫として「進む科學伸びる日本」の特輯にも思ひ付きのよいところがあり「ダイヤモンド島」も亦新年號以來ます／＼精彩を放つてゐる、創作では「潮潮」佐藤紅綠「花丸小鳥丸」大佛次郎など、新しいものにも大ものが少くない。

學藝

新年文藝・佳作

猪官兒 (五)

東　桂　造

寛福は奉天で故郷の家や畑や家畜を思い出すともう堪らなく歸りたかつた。

農家の子寛福には農家を離れた此の生活には堪へられなかつたのだ。

同僚の一人はもう給仕を四年やつてると言ふ、自分は之から後此んな生活を何年しなければならないのだらう。

寛福はさう考へると父の命にたつた一つ之だけは逆らつて蔡家に歸りたいと思つた。

「父さん!」

寛福は堪らなくなつてさう大きな聲を上げて見た。

正房に寢て居る父の病に苦しむ姿が頭に浮んで來た。

母の顔。弟妹の顔。親戚の人々――皆懷かしい人達である。

それ等の人々が次々と頭に浮ぶ。

さうして何故か菊芬の顔が妙にはつきり思い浮べられた。

一年振りで菊芬にも遇へる「菊芬」と今度は小さい聲で言つて見た。

どんな娘になつてるだらう自分とは二つ違ひの菊芬は今年十六の筈だ。

寛福はさう思ふと急に何か知ら氣恥づかしいやうな思ひがして冷たい雨の降つて來る灰色の空へ顔を仰向けて見た。

雨は未だ降り續けて居る。

秋の雨の暮れ方は早い。

もうあたりが薄暗くなつて來た頃やつと寛福は我が家についた。

我が家は深い楊柳の繁みの中に有つた。

大きな門は一年前と同じやうに黒いペンキがはげて居る。

寛福はもう夢中で門の隅に垂れ下つた紐を引いた。

「おうん/\」

懷かしい我が家の鈴の音である。

力まかせにもう一遍引つ張つた。

前より高い音がした「おうん/\」

門内から召使の聲がした

「誰ですかな」

「曹寛福だよ」

「嗳呀お歸りか、皆今日か明日かとお歸りを待つて居ますだよ」

門が開いた。

寛福の姿を見ると泥に汚れた犬が跳びかゝつて來た。

召使は大きな聲で「お歸りだ、お歸りだ」と叫び乍ら知らせに庭を走つて行つた。

寛福は門の所に立ち止つた儘涙がほろ/\出て來た。

都會の家とは違ふ土造りの我が家――

薄暮の中に浮び上つた我が家――

正房の紙貼りの窓に灯が見へる我が家――

一年振りで見るすべてが寛福には只涙が出て懷かしかつた。

自分は何故こんな我が家で暮さないのだ、もう自分は奉天に歸らない。

野に放たれた自分だつたではないか。

寛福には忘れて居た土に育つた野生への性質が翕然と蘇へつて來た。

「兄さーん」正房の入口の所で弟妹が呼んで居る聲に我に返つて中庭を通り歩いて行つた。

正房に入ると蒲團の上に寢て居る父が見えた、廣い部屋に油燈が三つ鈍く光つて居る

寛福は父の枕邊に寄つた。

父は意外に重態だつた。

油燈がその血の氣の無い父の顔を照らして居た。

父は眼を開いて寛福を見た

寠れて居る譯だが何と輝いた瞳であらう。

「寛福よく歸つて來た――奉天の會社では――どうだい!」喘ぎ乍ら途切れ途切れにさう言つた。

「父さん」

自分の事より息子の樣子を氣遣つて居るのだ。

此の父の前で奉天の生活は堪らなかつたとは言へなかつた。

「うんーどうだ」

父は自分の返事を待つて居る。

寛福は「え會社と言ふ所はとても凄いですよ」と言ふと父はその意味が分つたかどうか滿足氣にうなづいて。

「お前は立派な此の村の先覺者だ――もつともつと奉天――の會社でえらくなつて…」

父はさう言つた儘口をとぢて疲れたのだらう又深い眠りに落ちた。

母が寛福の耳許で小さな聲で「もう十日程何も喰べずにこうして眠つてるだけなんだよ」と言つた。

父は術なさそうに息をして居る。

此の父の寠れ方――「父は死ぬかも知れぬ」さう云ふ考へが決して妄想では無いやうに思はれた。

そして此の父の最後の望みであるかも知れぬ自分が再び奉天に歸り會社に勤める事だけは許して下さいとその寢顔に心の中で言つた。

「さあ飯は未だゞろ、熱いのを用意したからな」と母に促がされ父の枕許を離れ廂房に飯を食べに行かうと中庭に出ると雨が何時の間にか止んで居てあんなに降つてた空に星がはつきり二つ三つ見えた。

庭には高粱や玉蜀黍がいつぱい積み重ねてある。

農村は忙がしい收穫時である。

父が寢て居ても雇人達は皆畑に出て働く。

農村は何時も躍々として働いて居る。

寛福は何時迄も空を振り仰いで居た。

二つ三つの星が瞬く間に四つ五つと增えて來た。

雨雲がどん/\走り過ぎて行くのだらう。

「よしつ―明日は自分も秋晴れの空の下で久し振りに畑に出て見よう」

一年振りに見る故郷の一夜の星は美しい。

隨筆

東邊道の春

公島德衛

雪深き東邊道通化の町の元旦である。黒いかさゝぎが低い軒を掠すめてゐる。凍つた途を二頭立の馬車が往く。正月の休みを山から歸つた討伐隊の將校の靴に軍刀の鞘が鳴る。

門松も雪に埋もれ朝鮮妓女の青いチョクサンだけがたつた一つの色彩を路上に投げてゐる。討伐司令部の在る南關の十字路、通化の銀座である その交叉點の一角を占めるカフエー明星の表入口の眞ん前の路上に井戸が在る。三方を板で圍んだ共同井戸、大晦日の晩大同劇團の藤川研一君が便所と間違へて危く落ちた井戸である。東邊道颪しとでも云ふのか山から吹き降す皮肉も破る寒風がバタ/\と井戸の板圍ひに貼られたビラを叩いてゐる。奥地の慰問に來た大同劇團の公演ビラである。その隣りに綠色の細長い紙に司令部の名文のビラが貼つてある。

「殲起殺賊精神　完成最後討伐」

何かこのビラは現地の生々しさと異常な緊迫感を與へる。

醉人の影も無い通化の町の空を、今日も討伐軍のそス機がガタ/\の翼を鳴らして匪國を探しに山の方へ飛んで行つた。

「須用國軍的力量安定防共陣營的基石」

衛兵所の正面に貼つてある國軍の告示を見ながら討伐司令部の門を這入る。

共匪の蟠踞する山嶽地帶をピンで指示した通化の大地圖を後ろに、石井顧問殿は靜かに話される。『國軍をして防共陣營の一翼たらしめよ、これは國内の掃匪を終らんとしてゐる國軍が更に國防軍としての段階に進まんとする強い發展の意志を語つてゐるのだ 今通化省には約千五百近くの匪賊が殘つてゐるがこれも今年中には片付けてしまふ、もう通化の討伐も今年限りだ、一日討伐が遲れゝばそれだけ尨大なる東邊道の資源の開發が遲れるのだ。見給へ其處に黒い塊りが有るだらう、鐵鑛だ、右側のが六十パアセント、左側のは八十パアセントだ。八十パアセントの鐵鑛は日本には無い、世界でも有數の物だ。それが此の東邊道には〇〇噸近く埋藏されてゐる。此處だ』

石井顧問殿の指は通化の山脈の上を數十キロに亙つて指し示される。その場所の上には匪團が居る事を示す赤いピンが刺してある。『判つたら、我々は速やかに根ごそぎ共匪の姿を地上より拂ふ。討伐隊は正月も山に居る、君の從軍する中川遊擊隊も、もう明日は山に這入るのだ』

顧問室を辭し乍ら「あゝ東邊道の巨億の富は大亞細亞建設の爲めの大きな役割を果すだらう その速やかな達成は現在のところ國軍將士の悲慘な討匪行の蔭に隱れてゐる」と私は感慨する。

古く崩れた城門を出ると鐵筋の新らしい通化橋である。楷が有るので下は河なのかとも思ふが今はその河の上を牛車が轍を連らねて驛迄四キロの途を軋轢と續いてゐる。材木、食糧、雜貨。之等の夥たゞしい牛車の群を追ひ越し乍ら十二日間の討匪行より歸つた私達は馬車を走らせてゐる。フト熊切上尉が感慨深く云ふ。『變つたなあ、二年前はこの町さへ匪賊の奴等に襲はれたんだ。それがたつた二年でこれだ、食糧でも何でも今ぢや安心して運べるんだ』

限りなく續いてゐる牛車の群を優しい眼で眺めてゐるこの人を見て、私は昨夜の大平溝の戰鬪で命壁部隊の先頭に立つて共匪の露陣に襲ひかゝつた熊切上尉とは別人なのでは無いかと思つた。困苦に耐え死線を越え乍ら猶和平を喜ぶ日系軍官の心に、私は解らぬ樣にソツと指で目を押さへる。

夜に成ると風は無く、黄方部隊の兵營の前には、今夜も三個の戰死者の遺骸を衛る篝火が燃えてゐる。(一月十四日、東邊道討伐司令部にて記)

バリケード欄

題材と表現の成功

―羅家富士夫「異鄉」(『新天地』一月號)―

滿洲に住むわれ/\にとつてまことに身近かに存するやうな事實がこゝには取り上げられてゐる。大學時代に一人の愉快な支那青年を友人に持つ。やがて今度の事變になり、その青年は色々苦しんだ末「やはり自分は祖國と運命をともにしたい」さう言つて離れ去つてゆく。もう一人の友人は應召されて出征することになる。

この題材を作者は珍しく無駄のないきび/\した筆致でがつちりと書き上げてゐる。材料の峻嚴さがおのづから作者にこのやうな作風をとらせたものであらう。これはこの作者の良い仕事のし方を見せた一作であつた。(御垣衛士)

小田内通敏著『風土日本の研究基準』を評す

田口　稔

我國の地理學は混沌として統一するところがない。それには二つの原因がある。一つは地理學そのものゝ本質が最近に於て分裂を來したことであり、他の一つは、高次の位置に立つて諸學説を統合整理し各地理學者をして首肯せしめるだけの人が出てゐない事である。然し只こゝに斷言し得ることは、自然科學の面に臨んでゐた從來の地理學の部分が退散して、其文化科學の面に對してゐた部分のみが高潮し不退轉の姿を堅持して來つゝあることゝ、所謂アカデミックな講壇地理學者を尻目にかけて內部生命の熾烈な眞正地理學思想の持主が勇ましく登場しかけて來たことである。こゝに地理學は峻嚴な自己批判と他科學からの容赦なき檢討とを受けつゝも猶一脈の生氣を持し、雄々しく立上つて來たわけである。

その新學説の先頭に立つて炬火をかざし得る學者こそ我等の小田內通敏氏その人である、氏こそ現代の新進地理學徒の心をキャッチし、その科學的はた哲學的地理思想は洗練に洗練を重ね、日と共に新らしく月と共に進むエスプリを高く把持する。寔に近代地理學界の金字塔たるの比喩にはぢない。氏こそ正に日本の持つ精神的な誇の一たるを失はぬ。

茲にその多年來の論文を蒐めて新著『風土日本の研究基準』を世に問はれ、迷へる我が地理學界に正しき導標を寄與された。日本の姿は本書によつて、その風土觀を通しつゝ確認され、又東亞の現實の動向はその地理觀を經て把握された。斯くて島國日本と大陸東亞の風土の特質の明徵に大いでは人口問題と土地との結付が闡明せられ、更に許多の國土計畫の地理學に依倚すべき部分が示唆される。地理學はかくしてこそ生きた科學として甦生し得るのである。

地理學的理論に貧困な識訓に於ては本書は特に大きな指導原理を讀者に投ずるであらう

(叢文閣刊行、菊判總クロース製、本文四七六頁、索引一四頁、定價四圓九五錢)

新年文藝・詩・選外

療養の日々

加瀨美枝子

白いベットの上に散つてゆく
わくら葉のやうな病み疲れた
身をおこして靜寂を守る病室を見る
療養所にも黄昏が笑はぬ顔
顔の氾濫にせめて黄昏の
空でも愛そう、そしてその雰圍氣にひたらう
フォルマリンの臭ひが鼻をつく
深紅の花を抱きしめて鋭い皮下注射の
角度を描いてくらすひねもす
思出の唄も遠く去つていつた
むしばまれた胸と失はれた熱情
焦燥と思慕でそれが歸るものなら
白い椛が今日も行く、渚に打上げられた
鳥のむくろにひそやかな默禱を
捧げて私は今日も濱邊を歩んで來た

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局究一部宛御恵投相成度し(係)

△滿洲良男(三一號)「更始一新の構へ」その他の記事(關東軍司令部)

△東拓三十年の足跡(北崎房太郎著) 新聞人としての著者が外部から眺めた東拓の歴史を人と出來事を中心に回想して書いた一書、興味を以つて讀まれる、四六判二六頁(東京市神田區駿河台、東邦通信社、二圓五十錢)

△ユダヤ人の對日攻勢(武藤貞一著) 近頃は武藤貞一先生の大著もあまり讀まれなくなつて來たさうである、調子のいゝ名文はいゝが人はやはりその底にしつかりとしたもののあることを求めるのであらう、精力家の彼がまた書き上げたこの一書、ユダヤ人問題の入門書としてはいゝかも知れぬがそれ以上の研究には足りぬやうである、四六判三七四頁(東京市本郷區春木町二ノ五六內外書房、一圓五十錢)

家庭医学

日本人の常食に三つの缺陷

一、白米食によるビタミン缺乏
一、蛋白質の不足と過剰
一、老人に多い常習性下痢

『命は食にあり』と古諺にもある様に食物は我々の生命を保持する根本のものでありますから、これの適否如何は健康上に大いに影響いたします。

元來日本人の常食には三つの缺陷があると云はれます。

第一は白米食の缺陷によるビタミンB缺乏であります。これは我國に年々十數萬人の脚氣患者を出すことにみても明らかでありますが、この

ビタミンB缺乏

は、單に脚氣の原因となるばかりか、最近では胃腸の機能を弱め、發育を阻害し、抵抗力を減退させる等のさまざまの害を及ぼすことが判りました。學者によつては脚氣よりむしろこの方の害が大きいとさへ唱へてゐる位です。

第二は蛋白質の過食と不足であります。蛋白質を多く含む物と言へば獸肉や魚類ですが、これは富裕階級の人達にはむしろ過剰と思はれる程多量に攝られて居り、反對に多數の下流階級には不足してゐます。そして過食の場合に腎臟炎や糖尿病が起り易く、不足すると筋肉の力が衰へ體質が低下して結核とか貧血の様な病氣を招きます。

次に第三の問題として注目されるのは老人の常習性下痢であります。我國では昔から野菜食が盛んで用ひられてゐますが、これも過度に攝れば害があります。特に老人では

胃腸の消化吸收力

が衰へてゐますので、纖維が多く消化の悪い野菜の過食はよく下痢を起させます。これが長引くと腸內は不消化物のために異常醱酵を起して、たえず下痢症狀を繰返し身體の衰弱をますます早める様な結果となります。

ところで之等の缺陷のある人、または現在結核や脚氣、胃腸病などに罹つてゐる人は、日常食餌の缺陷を榮養素の上から適當に補ふ必要がありますが、むしろそれよりも胃腸を丈夫にして、どんな食物からでも充分榮養を攝取出來る様にするのが肝要であります。その意味から誰方にもお勧め出來るのは複合ヘーフェ劑若素（わかもと）であります。

この藥は、根本から胃腸機能を强める點、また榮養の寶庫とも云ふべき

多種の榮養素

を含む點において、眞に國民的榮養劑と云はれ、廣く賞用せられてゐるのであります。卽ち脚氣や胃腸病の原因となる豐富なビタミンB複合體をはじめ、優秀な脂肪、蛋白質、無機物等を含み、なほ衰弱した胃腸機能を丈夫にし、榮養を强める消化酵素や各種ビタミン、ホルモン性物質も綜合的に補給します。

ですから結核や脚氣、腸カタルの治療に効果があるばかりでなく、日常保健としてこれを用ふれば、食餌の缺陷も防がれ、體質も强化されて、種々の病氣にも罹り難くなるのであります。

白米毒の害

執務中ペンを持つ手が震へて氣持がイライラする、脚がだるくなる、疲れ易く、根氣が無くなるといふ様な現象は、執務家がよく經驗する處です。

こんな日が續くと『神經衰弱ではないだらうか』などと思ひ悩む人が多い様ですが、これは矢張り白米中毒から來た一種の神經衰弱で、その抗毒素たるレシターゼBや、ビタミンBその他種々の新陳代謝促進、機能强化の成分を含有する複合ヘーフェ劑若素（わかもと）を用ひて毒素を中和分解し衰弱してゐる機能を速に直すことが急務です。

肺炎で「死亡する赤ちゃん」

★大部分は榮養不良の子供が罹り、而も經過は惡い

最近發表された昭和十年度の乳兒死亡統計をみますと、出生後一箇年未滿の赤ちゃんの中、四萬一千三百人餘りが肺炎で死亡して居り、特に冬の死亡數は他の病氣に比べて一番多いのであります。

どうしてこんなに死亡率が高いかといひますと、最も注目すべきことは大部分の赤ちゃんが

榮養

不良に罹つて居ることです。そのため著しく抵抗力が衰へて肺炎に襲はれ易く、また罹れば概ね經過は不良で、死亡する率も非常に多いと云ふ譯であります。日赤大阪支部病院の大久保博士も『生後二年以內に肺炎で死ぬ赤ちゃんの中、九〇%までは榮養不良を起してゐる』とある座談會で申されましたが、赤ちゃんの榮養がいかに肺炎の治療上重大であるかゞこれによつてもうかゞはれます。

それで肺炎の手當法としても、從來必ず行はれてゐた部屋の溫度を高めて寒氣を防ぐとか、濕布を施す等のことは、一應必要ではあつても、遣り方によつては安靜の妨げともなりますので、現在ではむしろ身體の

安靜

と豐富な榮養によつて、體內抵抗力を强めることの方が、遙に大切である事が認識されてきました。

しかしこの際御注意申上げたいのは、何分にも體質の弱い赤ちゃんには、どの榮養も充分に利用されるとは申されませんので、適當な榮養劑を興へてやる必要がありますが、この點若素（わかもと）は最も好都合な藥劑であります。

前にも述べました様に、若素（わかもと）には、人體に必須の各種榮養素が網羅されてゐる上に、なほ十數種の酵素やビタミンB、ホルモン性物質等は、弱い赤ちゃんの體內機能に

活力

を興へ、その働きを旺んにする作用があります。これを學問上「細胞原形質賦活作用」と呼んで居りますが特に胃腸を丈夫にする作用が顯著ですから、まづ消化吸收が活潑になり、榮養が良く、抵抗力が强められてきます——從つてこの藥を服用させますと、榮養障礙から救かれ、體質も丈夫になつて肺炎の治癒は一層促進されるのであります。

この若素（わかもと）は東京芝公園の大門、わかもと本舖榮養と育兒の會（振替東京[illegible]）から[illegible]

實話 惡性の風邪から「腸カタルに」

（愛知）內山稻藏

別に大した病氣はしないのですが、生來胃腸弱く、少しの過飲食にも神經を尖らせる様な有様にて、不愉快なる日々は何物にも代へ難い程でした。思へば三ヶ月程前氣候の變り目に惡い天氣が續いたので、遂に惡質の風邪をひき、これが原因となつて腸を痛め、腸カタルと醫師から診斷されました。そして二ヶ月に亘る流動食養生が効を奏したものか快癒しましたが病後の衰弱甚だしく、種々の強壯劑を用ひました。しかし恢復は遲々として捗どらず、[illegible]に働く事もならず、寢たり起きたりの生活を續けて居りました。かうした病床生活中無聊の徒然なる儘に古雜誌をあさつて讀んでゐます中に『綜劑わかもと』が病後の衰弱に特効あり殊に胃腸病によい藥なる廣告をみました。とにかく一度服んでみようと思ひ、早速一瓶を求めて服み始めました。

服む中に、なんとなく食慾を増し血色を恢復し、非常に身體に元氣づいてくる様になりました。氣のせゐかと思ひ乍らもこれに勢ひづいて續服し現在では殆ど常態に復し、元氣に働くことが出來る樣になりました。

國都新京人は……魚より肉が好き

中央卸賣市場から見た 魚、肉類の消費量調べ

中央卸賣市場の魚介入荷情況から見ると國都市民の食膳に魚は餘り上らないと言ふ結果が現れた、即ち同市場に於ける十二月中の魚介入荷數は七千二百九梱（一梱百五十四入）一日平均二百四十梱、一月に入つて十六日迄は千八百二十一梱、一日平均百十三梱で新春と共に入荷減を示してゐるこれが原因は正月を控へてゐる關係から十二月に特に多量入荷したものと見られるが相對的に今年に入りぐつと減少したことは爭れはない事實で魚飢饉を現出する情況にあるさらに金額の取扱ひから見ると十二月は二十三萬五千百二十五圓、一月十六日までは五萬九千六百三十圓、卸値の平均は十二月が一貫に付き三十二圓六十六錢、一月は三十二圓七十六錢となつてをり入荷減に比較し卸値は僅かに十錢高で品は不足して高くないと言ふ狀態、業者側に言はせると新京市民の台所に於ける魚の消費量は少く、これに代つて肉の需用が多いためで魚の入荷減による魚飢饉の如き憂ひは斷じて招來せぬと安心してゐる

値上を撞くゲーム料に 南新京藝妓花代

何れも物價騰貴に應じ願出

諸物價は依然として騰勢の一路を辿りつゝある現狀に國都の歡樂街方面から經營困難を訴へ料金値上げ方を當局に申請してゐる、その一は順天署管内南新京料理店組合で花代酒代の値上げと言ふ遊野郎にとつては痛いものである、即ち花代では藝妓に於て晝夜花從來二十圓が二圓高の二十二圓、川花四十錢増が十錢高の五十錢増、旅行花十八圓が四圓高の二十二圓

酌婦では明花從來六圓が一圓高の七圓、晝夜花十二圓が四圓高の十六圓、川花三十錢増が十錢高の四十錢増、旅行花十圓がどんと上げて六圓高の十六圓で酒は從來地酒一本三十錢を五錢高の三十五錢と言ふのである

その二は中央通署管内新京撞球業組合で撞球業ゲーム料金の値上げである、この組合の願出た改正料金は左の如し（括弧内從來料金）

五十點以下十錢（八錢）百點以下十二錢（十錢）百五十點以下十四錢（十二錢）二百點以下十六錢（十四錢）七百點以下二十錢（十八錢）百點増ごとに五錢といづれも二錢高である、もつともこの改正料金は大連、奉天及び哈市に於てはもとより市内順天署管内に於ても既に實施しつゝあるもので同一にしてくれとの無理からぬ願出である、いづれも目下首警風紀股に於て審議中であるが今後かうした値上げ問題は各方面から要求されるものと見られ注目されてゐる

石炭の合理燃燒で 一千萬圓の節約

全滿各官廳が一年に

戰時下燃燒資源の節約と煤煙防止を目的に營繕需品局では一日より國都各官廳の煖房集中管理を實施、所管卅官廳を所在地域別に四區分して各區毎に作業區長を配置し、火夫を訓練しつゝ、燃料の合理的燃燒を圖つてゐるが國務院を始め在京の滿洲國官廳では從來一ヶ年に約四萬二千トンの石炭を消費してをり需品局ではこの卅%は節約出來ると見てゐるので金額からいふと新京だけで今年は七萬餘圓の金が浮びあがる譯である、なほ當局では新京を第一着手として奉天、哈爾濱等の大都市から漸次全滿官廳にこれの集中管理を及ぼす豫定であるが全滿官廳の石炭消費に實施の曉には九十餘萬トン（金額約一千二百萬圓）の石炭が節約出來やうといつてゐる

煤煙防止策 本格的着手

新京所在の滿洲國官廳煖房集中管理實施に呼應し、新京煤煙防止委員會では、今回日本から滿洲國側に招聘された燃燒問題の權威山崎喜一郎氏を顧問として特別市公署内に燃燒相談所を開設、民間一般の指導的立場に起つて煤煙防止による國都の明朗化と燃料節約の實效を期する案を目下計畫中であるが、また日滿商事、滿洲房產等でも中銀、電々、電業等の毎日多量に燃料を使用する特殊會社と連絡をとり燃燒の合理化を圖らうと寄々協議中で、此處のところ煤煙防止イタオール燃料節約問題も今年に入つてから愈々本格的な實行期に移つたといつた狀態である

協和會募集建國七周年 記念ポスター

入選者氏名發表

協和會中央本部ではかねて全滿より建國七周年記念ポスターを募集中であつたが、應募枚數は一般の部三百五十二枚、中等學校の部八百三枚、小學生の部六千二百四十一枚の總計七千三百九十六枚の多きに達し、十九日中央本部で審査の結果一般八枚、中等學校廿六枚、小學校廿六枚の入選者を決定した、入選者氏名は左の如し（寫眞は一等當選ポスター）

△一般入選者（一等）新京吉野町二丁目平本洋行内石井榮（二等）大連市櫻花臺一四四番地、嶺前莊南二五號山平忠一（三等）新京大平街七二番地趙秉處（佳作）北澤富夫（新京）田中詳湖（大連市）廣松正識（大連市）齋藤定（奉天）村塚健二（大連市）以上八名

△小學生入選者（鞍山）長谷川友子、足立惠美子、吉田暢夫、鎌田敏雄、小柳ミエコ、山内フミコ、橋崎フミコ、岩田益美、橘道子（新京）岡本倫子（齊々哈爾）岩澤昭（開原縣）關興中、丁國翼、杜春風（新京）劉雨亭（開原）田樹平（奉天）濱田守（喀喇沁左旗公營子村）楊文遠、趙恩波（西科前旗王爺廟）烏達巴其奇格（豐寧縣）任孝儒（龍鎮縣）畢桂雲、魏純志、馬儒斌（奉天小）盧誠投、大山功（以上廿六名）

△中學生入選者（奉天）郝世英、魏振亞（承德）朱廷芳（哈爾濱）楢田好三、有馬誠一、神庭善郎（軸嶺）鄒炳樺（奉天）艾順、魏尉民（錦州）杜奇文（新京）諏訪光宗（奉天）賜雁書、安部公房、有吉完弘、清水正典、古賀勝（鞍山）西原治郎、鄭邦夫、山下正一、入澤廣（哈爾濱）上野宮子（鞍山）仲野都、西謝惠子、望月美子、楢岡ミドリ（安東）坂口豐幸（以上廿六名）

舊正近し（城內所見）

住みよい都まで まだく遠い新京

家賃は全滿で第六位

計算器は正直者＝國都新京の物價高は過日中銀の調査係から發表された東京との比較に於ても明かだが、更に全滿主要都市との比較に於ても相當高位にあり殊に家賃がベラ棒に高いことが最近同係の計算器から割出され「新京よいとこ、住みよいところ」とは義理にも云へない實狀を示してゐる、即ち數字を上げるとかうだ、新京を基準（一〇〇）とした生活費指數

△飲食品で安い所は大連の九四・三%、安東九八・五%、營口九八・七%の順、高い所で黑河の一三六・一%、佳木斯一二八・三%、札蘭屯一二一・六%で吉林、開原、通遼、延吉は略新京並

△家賃では全滿調査都市廿都市中新京より割高なのは承德の一四五・四%、山城鎭一二七・七%、通遼一一六・九%、札蘭屯一一一・三%、佳木斯一一二・一%と僅かに五都市、他は安東の四五・六%と云ふ新京の半額から營口五一・二%、大連六三・九%、圖們六七・七%、延吉六七・〇%と何れも安く、最も新京に近いもので齊々哈爾の九四・五%となつて新京の家賃高を物語つてゐる

△光熱費では安い所で大連九五・四%、奉天九三・〇%、開原九三・四%、吉林九九・八%、延吉九九・七%、高い所で黑河一四二・八%、札蘭屯、佳木斯が夫々一二二・五%、一二二・〇%と大同小異だが圖們のみ飛び離れ一七六・三%の高値を示してゐるのはどう云ふ原因だらうか

△被服費では開魯九四・〇%、大連九六・四%、黑河一三〇・二%、延吉一二二・〇%、札蘭屯一一六・九%、富錦一一四・八%、山城鎭一一六・五%、圖們一一一・二%、通化一一七・二%、錦州一一三・一%、承德一一五・一%、他は一一〇%以下

△雜費では最高黑河の一二三・四%から富錦一二〇・六%、佳木斯一二二・九%、札蘭屯一一四・三%、承德一一六・九%で他は何れも新京に比し四、五分程度の割高で新京より廉價な土地は見出されない

そこで住居費を含んだ總指數を見ると最高黑河の一二三・四%、承德一二二・四%、富錦一二〇・四%、佳木斯一二一・〇%、後は一〇〇%以下のもの大連、奉天、吉林、安東、營口、開原の七都市、一〇〇%から一二〇%迄のもの十都市と云ふ工合で「新京の家賃さへ安かつたらなあ」と云ふサラリーマンの悲鳴が肯れる譯である

滿系警察官 學術補習實習

首都警察廳警務科教養督察股では管下警察官の素質向上については鋭意努めて來たが、時代の進運と共に、これが重要性は益す増大するものであり、同股ではかねて本年度の教養方針について愼重計畫立案中であつたが、この程左の如く滿系警察官に對する方針を決定した、即ち滿系警察官をして地方警察學校に全部入校せしめ學術科の全般的補習教養を實施し以て警察精神の振作更張を計り的確なる警察諸般の執行務に遺憾なからしめやうと言ふのである、この方法は丙種委任官は修業期間六ヶ月とし普通科第二部に、乙種委任官は期間二ヶ月として高等科第二部に入校せしめ常時同校の全收容能力百三十名を在學せしめんとするものである

時局下に相應しい 双城堡戰蹟參拜 長勇會で團体募集

本社後援

支那事變第三周年を迎へて今や全國民を擧げ非常時局打開の折から新京長勇會、滿洲歩四會では新京驛及びビューローと共同主催及び本社後援で双城堡戰蹟記念碑並に哈爾濱忠靈塔、志士之碑參拜團を募集することになつた、過ぎし滿洲事變に奮戰せし歩兵四聯隊が時これ昭和七年一月三十一日双城堡の激戰に肉彈となつて皇軍の威武を昂揚したる幾多英靈の眠れる地、又遠く日露の役に挺身敵中に潛入しよく使命を敢行中不幸敵に捕はれ哈爾濱郊外に壯烈な死を遂げた沖、横川兩志士の碑に詣でるこの意義ある旅行團體は全支の野に轉戰する皇軍將士の武運長久を祈るものとして相應しい好個の旅行團體として好評を受けるであらうが希望者は左記要項で申込まれたい

一、日程　三十日午後十一時五十分新京發、三十一日午前五時三十六分双城堡着、同八時四十分同地發、同十時十九分哈爾濱着、午後十一時三十分同地發、二月一日午前六時五十三分新京驛着

一、團費　六圓六十錢（三十一日朝、晝食を含む、夕食は自由とす）

一、人員　約五十名

一、集合　三十日午後十一時まで新京驛一、二等待合室に集合のこと

一、申込　二十九日まで長勇會（三—三七二八）ビューロー（三—三三九三）

堀日清汽船 社長復職

【東京國通】日清汽船では、さきに社長堀新氏病氣のため同社取締役村田省藏氏が代つて取締役會長に任じ、社務を秉掌して來たが、今回堀氏の病氣全快したので村田氏は會長を辭任し、再び堀氏が任務を執ることになつた

中銀行員夫人 新年互禮會

非常時型の中銀夫人連の新年互禮會が十八日午後一時から中銀クラブで開かれた、田中總裁夫人の虛飾排擊の趣旨から國務婦人會のエプロンを着用して夫人連百餘名參加、まづ田中夫人より

「昨年の正月は南京陷落の喜びに一般は戰爭は間もなく終るものと考へてゐましたが非常時は更に繼續し愈よ長期建設の時代に入り、世は物の經濟の時代となりましたので、自分達家庭を守る者の考へと實行が直ちに大局に影響するのですから御互ひは一層の工夫と實踐によつて、この國家體制に即應する樣努力し、國防婦人會の銃後の御奉公に關しては積極的に家庭の都合を繰り合せて御奉公しませう」

と挨拶があつて、今年度の種々打合せをして閉會の後、一同打揃つて直ちに陸軍病院を訪問し、白衣の勇士にそれぞれ初咲きのフリージヤの鉢を贈呈して慰問を行つた【寫眞は田中總裁夫人】

大相撲春場所星取表

（○勝●負△預や休）

東	成績	西	成績
双葉山	[illegible]	武藏山	[illegible]
前田山	[illegible]	鏡岩	[illegible]
名寄岩	[illegible]	綾昇	[illegible]
羽黒山	[illegible]	玉ノ海	[illegible]
笠置山	[illegible]	磐石	[illegible]
九州山	（應召）	旭川	[illegible]
鹿島洋	[illegible]	安藝ノ海	[illegible]
兩國	[illegible]	駒ノ里	[illegible]
龍王山	[illegible]	小島川	[illegible]
五ッ島	[illegible]	大和錦	[illegible]
大潮	[illegible]	大浪	[illegible]
和歌島	[illegible]	駿ノ里	[illegible]
楯甲	[illegible]	大邱山	[illegible]
綾若	[illegible]	海光山	[illegible]
幡瀨川	[illegible]	藤ノ里	[illegible]
神武山	[illegible]	肥州山	[illegible]
出羽花	[illegible]	鶴ヶ嶺	[illegible]
富士嶽	[illegible]	錦華山	[illegible]
土州山	[illegible]	金湊	[illegible]
高登	[illegible]	巴潟	[illegible]
青葉山	[illegible]	出羽湊	[illegible]
一渡	[illegible]	桂川	[illegible]
男女川	[illegible]		

春場所八日目

（勝）	決り手	（負）
佐渡ヶ島	打棄り	錦ノ谷
若浪	打棄り	富山
加古川	不戰勝	射水川
櫻錦	吊出し	陸奥錦
照國	寄切り	相撲川
佐賀花	寄切り	白鷲
源氏山	寄切り	千葉昇
清美川	外掛け	十三錦
嶺幟	寄切り	大八洲
四海波	吊出し	國光
倭岩	押出し	小松山
陸錦	寄倒し	若潮
綾錦	下手投	松ノ里
中入後		
松浦潟	上手投	一渡
番神山	突出し	土州山
富士嶽	打棄り	鶴ヶ嶺
桂川	寄倒し	神武山
青葉山	押出し	藤ノ里
綾若	上手投	海光山
高登	切返し	大邱山
巴潟	下手捻	和歌島
出羽湊	掬投げ	號ノ里
大潮	吊出し	出羽花
五ッ島	押切り	幡瀨川
金湊	掬投げ	大和錦
龍王山	叩込み	楯甲
大浪	寄倒し	兩國
鹿島洋	下手投	小島川
駒ノ里	寄切り	旭川
羽黒山	突放し	笠置山
肥州山	押倒し	玉ノ海
前田山	寄倒し	安藝ノ海
鏡岩	寄切り	名寄岩
双葉山	寄切り	磐石
男女川	掬投げ	綾昇

打出し六時三十五分

フィルムダイアリー

御影池内務局長官の「政府で近く滿洲國の行政全般に亘つて紹介、宣傳用の映畫を作成することになつたが、自分のところは產業、交通、移民のやうに華々しい場面の撮影が困難なので、餘程の腕利きが研究しないと見られる寫眞が出來ないだらう、どうも仕事が地味なのでネ」と言ふ▲如何な建國精神に燃ゆる副縣長諸兄の意氣込みもこれを實寫的に撮すわけに行かず、頭を抱へてゐる▲一つ思ひ切つて副縣長に撮影監督をやらしては如何？ロ八丁、手八丁、何でも來いの副縣長、商賣だから買つて出る人がないと言へませんよ

天氣

けふの天氣　南西の風晴後曇

きのふ氣溫　最高零下一八度三　最低零下二八度一

若殿膝栗毛 (二百三十七)

中川雨之助 作　竹□ 畫

無茶同志

そして間もなく番所へやつて来た市松。

「へい、お願ひの者でござんす」

「なんだ〳〵」

門番が、六尺棒を取直して、睨みつけた。

「あつしや、市蕎切でござんす」

「なにツ、市蕎切だ……？」

門番は、眼を圓くした。

「その市蕎切が、憑いと氣がつき、名乗つて出たんでござんす、どうか、お役人様に、お取次を願ひます」

「宜しい、暫らく待つてゐろ」

門番は、あたふた奥へ入つて行つた。暫らくして、市松は役人の詰所で、調べられて居た。

「疾風の市松といふ江戸の市蕎切だと申すのだな。それに相違ないか」

「へい、その通り、相違ございません」

「噓と、左様か？」

役人は、念を押した。そして、市松の顔をば、珍らしい物でも見るやうに、いつ迄もヂロ〳〵眺めてゐるのだつた。變な具合だ、と市松は、一寸首をひねつた。

「嘘を申せ」と、突然、叱るやうな調子で役人はいつた。

何が嘘だか、市松には、まつぱり分らなかつた。

「いえ。なにも嘘なんか申しません。まつたく、それに違えねえんで……」

「いや、嘘だ。なにが市蕎切だ。なにが疾風の市松だ。出鱈目もいゝ加減にしろ。此方は、御用繁多で目が廻るほどだ。下らんことを申し出て、暇潰しをさせるなよ」

「サア〳〵歸れ〳〵」

市松は、眼をパチクリやつた。

我身が分らなかつた。「夢では無え筈だが——」とソツと腿をつねつてみた。やつぱり痛かつた。

「離れといつたつて、離る隙が無えんでござんす。正真正銘掛値なしの市蕎切なんで、お城の大手前で、何とかいふ家老お侍の、ふところを掏摸たのも、あつしなんで……嘘だと思つたら、本町通りの桝屋といふ旅籠屋に、松平長七郎さまがお泊りになつてゐらつしやるから、長七郎さまに訊いてみるがいゝや」

「これ〳〵松平長七郎君を、まるで友達かなんぞのやうに申し居る。勿體至極もない……はゝあ、察するところ、其方狂人だな。あゝ狂人だ〳〵、狂人に違ひない」

市松は、二度びつくり、「違つきが、今度は狂人に陥つたぜ」と呆れながら

「冗談は、おつしやりこ無しにお願ひ申します。狂人どころか、正氣も正氣、ウント正氣なんでござんす」

しかし、何をいつても、役人は相手にならなかつた。しまひには、たう〳〵腹を立てゝしまつて

「えゝ煩さい。いくら申しても駄目だ。歸れ歸れ、歸らなきや、痛い目に遭はすぞ」

「そんな、無茶な話つて、あるもんぢやねえ。市蕎切でござんすと名乗つて出たものを追拂ふなんて何處の世界にそんな役人があるものけえ」

市松も遂に、喧嘩腰になつてみた。でも、やつぱり駄目だつた。

しまひには、たうたう寄つてたかつて多勢のために門の外へ押し出されてしまつた。

「サア、分らねえ」

市松、しきりに首を捻つて考へた。が微塵濃思、分らなかつた。

仕方がないので、またブラ〳〵歩き出した。すると、向うから、定廻りらしい役人、捕方の一隊が現れた。市松は、その方に向は、歩足で近づいた。